

---

# 猿投らしいまちづくりを 考えるアンケート調査 報告書

---



平成21年3月

豊田市



# 目 次

## I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の設計及び有効回収数	1
3	報告書の見方	1

## II 調査結果の分析

### 【平成 20 年度分】

#### 1 回答者の属性

1-1	性別	3
1-2	年代	3
1-3	自治区	4
1-4	猿投地域での居住年数	4
1-5	家族構成	5
1-6	職業	5
1-7	地域での役職	5

#### 2 猿投地域のまちづくり全般について

2-1	猿投地域会議の認知度	6
2-2	わくわく事業（地域づくり補助事業）の認知度	8
2-3	猿投地域の住みやすさ	10
2-4	住みやすい理由、住みにくい理由（具体的な意見）	12

#### 3 猿投地域観光交流振興マップについて

3-1	観光交流振興マップへの期待	13
-----	---------------	----

#### 4 バス利用について

4-1	とよたおいでんバスの認知度	15
4-2	猿投地域における将来のバス運行	17
4-3	バスの利用を高めるための有効な取り組み	19

#### 5 地域の防犯・防災について

5-1	地域の犯罪に対する安全性	21
5-2	不安を感じていること（具体的な意見）	23
5-3	犯罪を未然に防ぐために必要な活動	24
5-4	災害時の避難場所の認知	27
5-5	地震に対する家庭での備え	29

#### 6 地域のふれあい活動や福祉関係について

6-1	近所づきあいの程度	31
6-2	地域の福祉に必要なもの	33

#### 7 環境美化、ごみ問題について

7-1	地域の環境評価	36
7-2	ごみについての取り組み	38
7-3	ごみ問題に対する必要な取り組み	41

<b>8</b>	<b>自然豊かなまちの維持について</b>	
8-1	豊かな自然を維持するために必要な取り組み	44
<b>9</b>	<b>高齢者にやさしいまちづくりについて</b>	
9-1	高齢者にやさしいまちであるか	46
9-2	「やさしい」または「やさしくない」と思う理由(具体的な意見)	48
9-3	高齢者の安心な暮らしのために必要なこと	49
<b>10</b>	<b>猿投地域のまちづくりについて</b>	
10-1	猿投地域のまちづくりについての意見	52

## 【平成 18 年度分】

<b>1</b>	<b>回答者の属性</b>	
1-1	性別	55
1-2	年代	55
1-3	自治区	56
1-4	職業	56
1-5	猿投地域での居住年数	57
<b>2</b>	<b>猿投地域の印象について</b>	
2-1	猿投地域の誇りと思うこと(具体的な意見)	58
2-2	猿投地域の 10 年後の将来像	59
2-3	猿投地域の課題、問題点	62
2-4	猿投地域の課題、問題点(具体的な意見)	63
2-5	地域活動への参加意向	64
<b>3</b>	<b>猿投地域会議について</b>	
3-1	猿投地域会議の認知度	67
3-2	地域の問題点やまちづくりへの取り組み	69
3-3	猿投地域会議だよりの認知度	72
<b>4</b>	<b>公共施設利用状況について</b>	
4-1	猿投地域の公共施設の利用頻度	74
<b>5</b>	<b>猿投地域のまちづくりについて</b>	
5-1	猿投地域のまちづくりについての意見	77

## 資料編

調査票

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、安心して生活できる地域づくりに役立てるための基礎資料として、住民の意識、要望等を把握し、今後の猿投地域のまちづくりに反映させることを目的に実施しました。

### 2 調査の設計及び有効回収数

調査対象：猿投地域に居住する自治区加入者

標本数：【平成 20 年度分】 250 件

【平成 18 年度分】 2275 件

調査方法：自治区長・組長・区議員による配布、回収

調査時期：【平成 20 年度分】 平成 20 年 7 月

【平成 18 年度分】 平成 19 年 1 月～3 月

有効回収数：【平成 20 年度分】 173 件（回収率約 69%）

【平成 18 年度分】 1433 件（回収率約 63%）

### 3 報告書の見方

- ①比率は全てパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。このため、合計が 100%にならないこともあります。
- ②基数となるべき実数は、件数として掲載しました。したがって比率は、件数を 100%として算出しています。
- ③複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をします。このため、各項目の比率の合計は通常 100%を超えます。
- ④報告書中の文章、表、グラフ等の見出しの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。



## Ⅱ 調査結果の分析

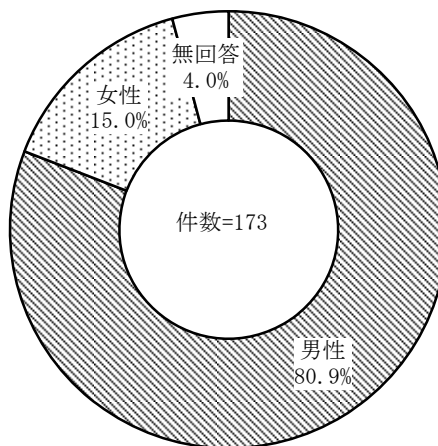
### 【平成 20 年度分】



# 1 回答者の属性

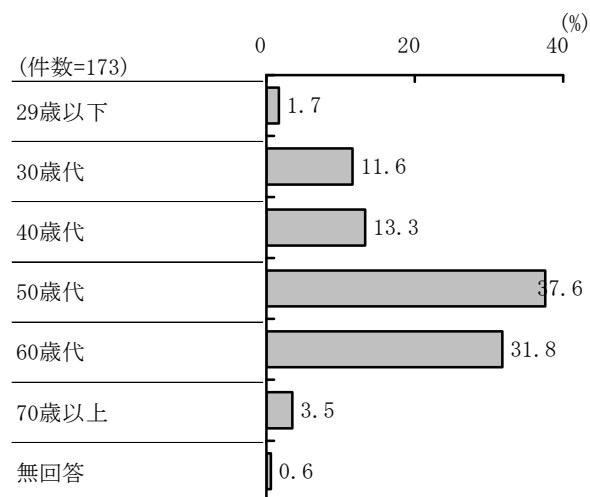
## 1-1 性別

- 調査回答者の性別については、「男性」が80.9%、「女性」が15.0%となっています。



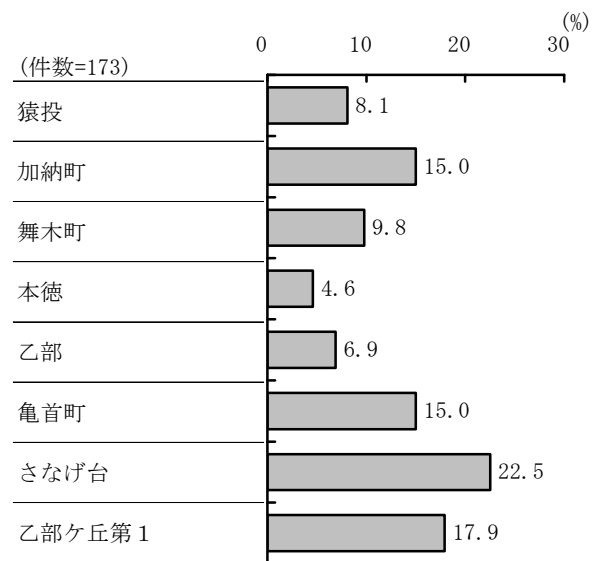
## 1-2 年代

- 調査回答者の年代については、「50歳代」(37.6%)が最も多く、次いで「60歳代」(31.8%)、「40歳代」(13.3%)、「30歳代」(11.6%)となっており、「70歳以上」(3.5%)「29歳以下」(1.7%)の回答は少なくなっています。



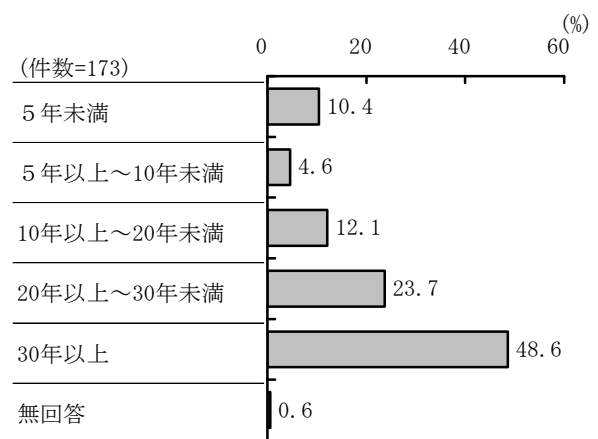
### 1-3 自治区

- 居住している自治区については、「さなげ台」(22.5%)が最も多く、次いで「乙部ヶ丘第1」(17.9%)、「加納町」(15.0%)、「亀首町」(15.0%)、「舞木町」(9.8%)となっています。



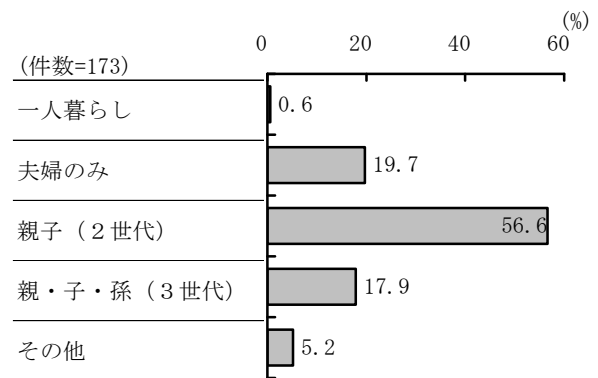
### 1-4 猿投地域での居住年数

- 猿投地域での居住年数については、「30年以上」(48.6%)が最も多く、次いで「20年以上～30年未満」(23.7%)、「10年以上～20年未満」(12.1%)、「5年未満」(10.4%)、「5年以上～10年未満」(4.6%)となっています。10年未満をあわせて15.0%です。



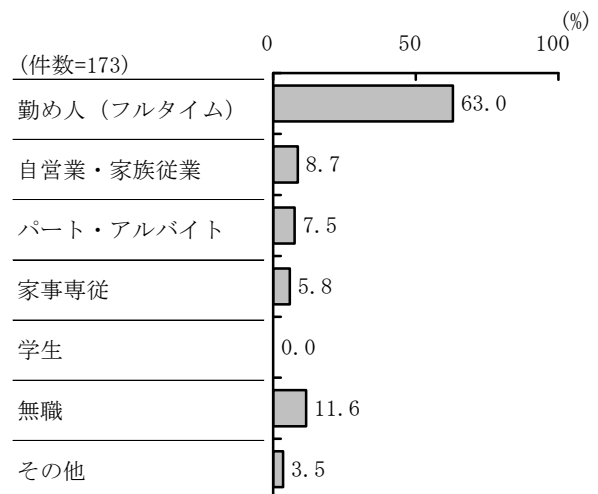
## 1-5 家族構成

- 家族構成については、「親子(2世代)」(56.6%)が最も多く、次いで「夫婦のみ」(19.7%)、「親・子・孫(3世代)」(17.9%)、「一人暮らし」(0.6%)となっています。



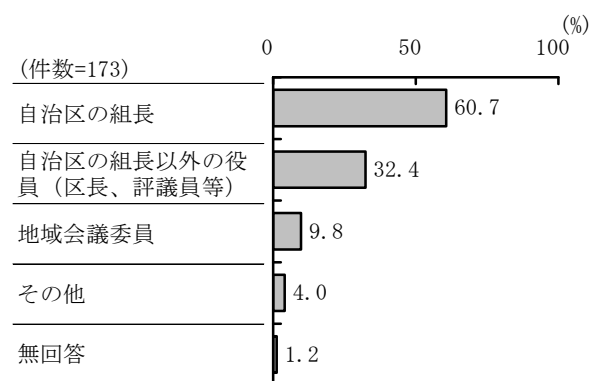
## 1-6 職業

- 職業については、「勤め人(フルタイム)」(63.0%)が最も多く、次いで「無職」(11.6%)、「自営業・家族従業」(8.7%)、「パート・アルバイト」(7.5%)、「家事専従」(5.8%)となっています。また、「学生」は0.0%となっています。



## 1-7 地域での役職

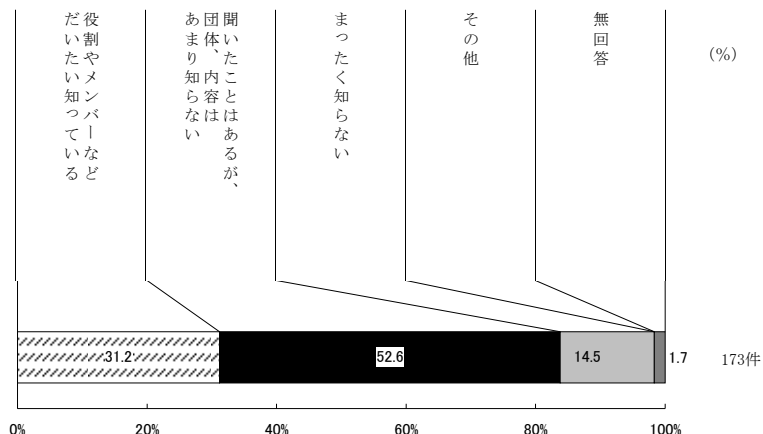
- 地域での役職については、「自治区の組長」(60.7%)が最も多く、次いで「自治区の組長以外の役員(区長、評議員等)」(32.4%)、「地域会議委員」(9.8%)となっています。



## 2 猿投地域のまちづくり全般について

### 2-1 猿投地域会議の認知度

問8 あなたは、猿投地域会議についてどの程度知っていますか。 (○は1つだけ)

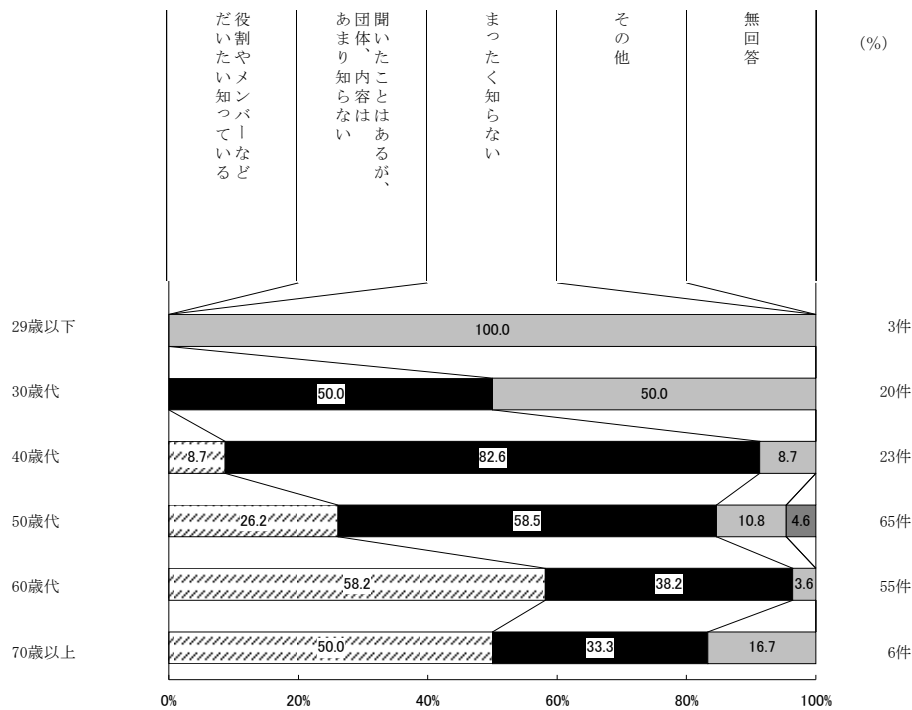
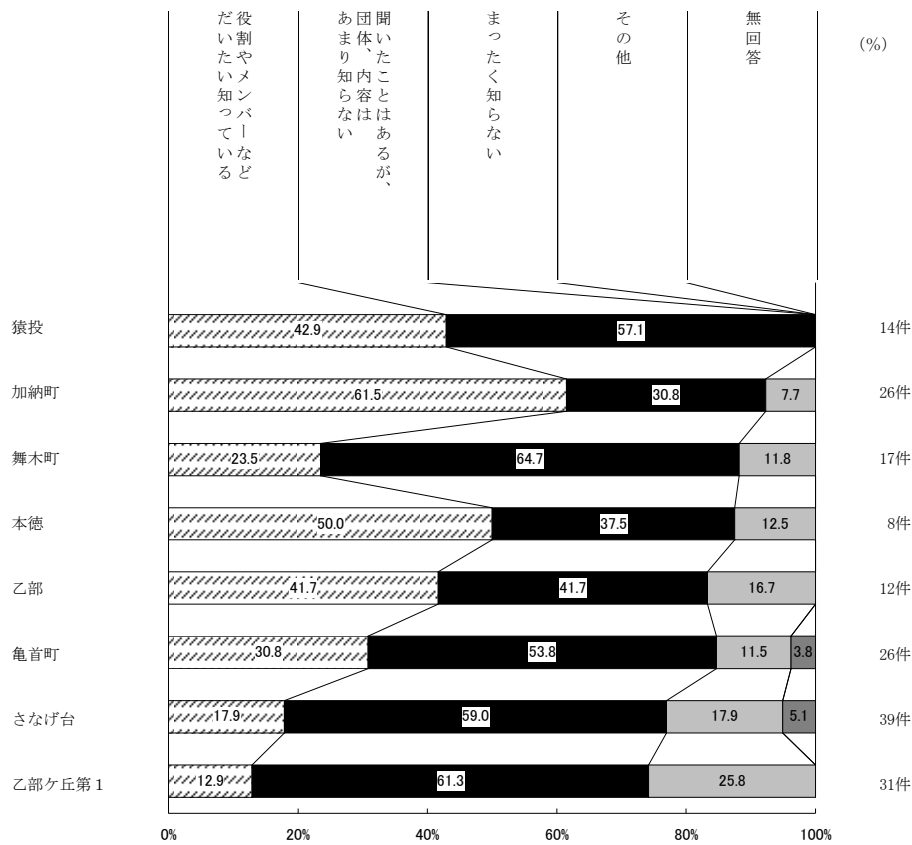


- 『猿投地域会議の認知度※』は、83.8%で、うち、「役割やメンバーなどだいたい知っている」が31.2%、「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」が52.6%となっています。一方、「まったく知らない」は14.5%となっています。

※「役割やメンバーなどだいたい知っている」「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」の計

#### 猿投地域会議とは

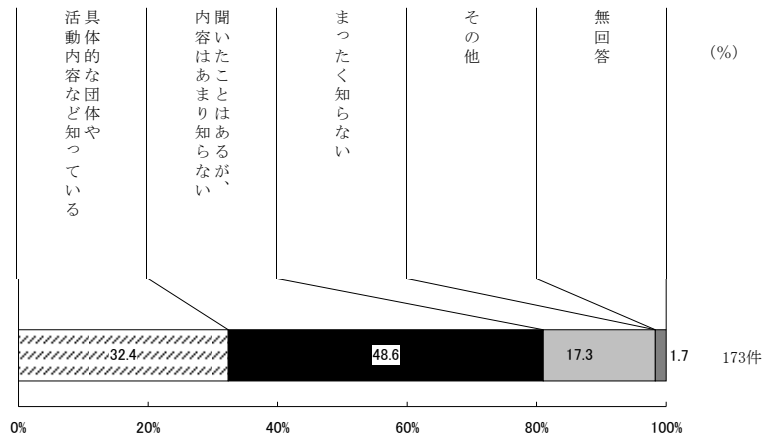
地域会議の主な役割は、①地域の課題解消に向けて住民参加のもと解決策を検討 ②市長からの諮問に対する審議・答申 ③わくわく事業の審査 ④情報(地域会議だよりなど)の発信です。



● 年代別で『猿投地域会議の認知度』が最も高い年代は「60歳代」で9割以上を占めている結果となっています。一方、「29歳以下」では全ての方が「まったく知らない」と回答しています。

## 2-2 わくわく事業（地域づくり補助事業）の認知度

問9 あなたは、「わくわく事業（地域づくり補助事業）」についてどの程度知っていますか。（○は1つだけ）



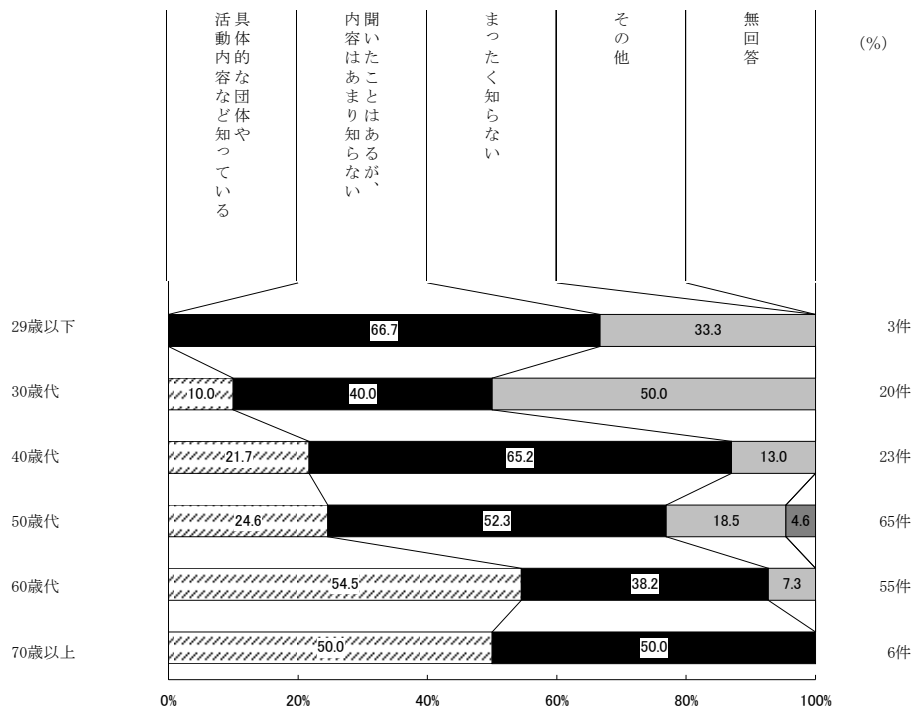
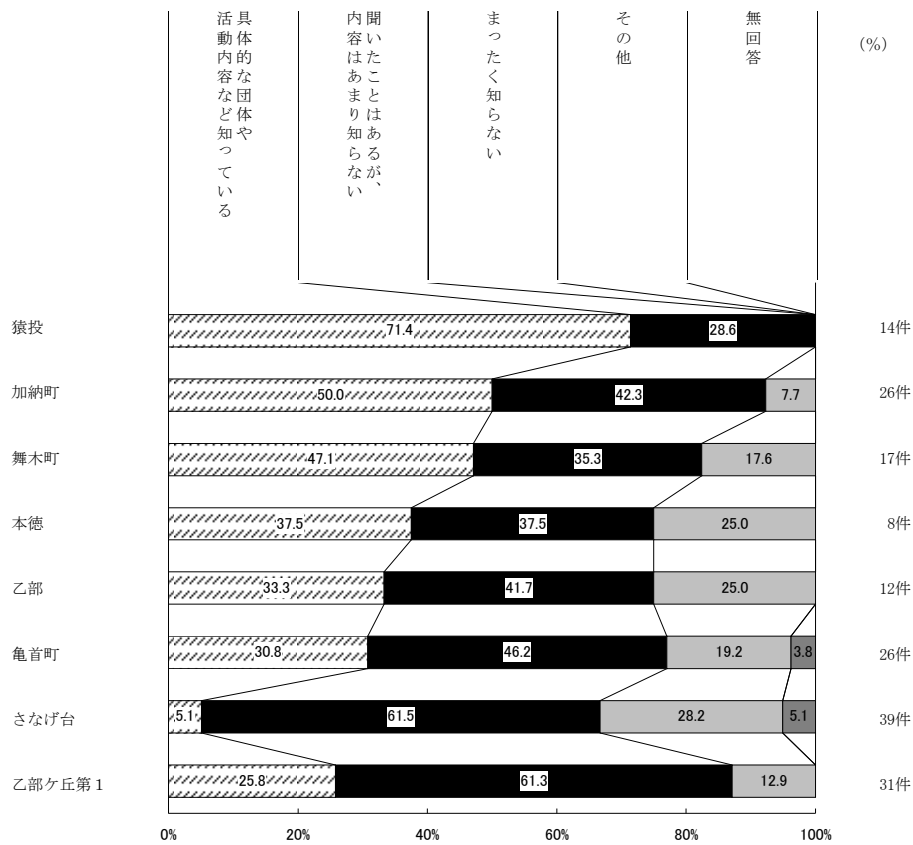
- 『わくわく事業(地域づくりの補助事業)の認知度※』は、81.0%で、うち、「具体的な内容などよく知っている」が32.4%、「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」が48.6%となっています。一方、「まったく知らない」は17.3%となっています。

※「具体的な内容などよく知っている」「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」の計

### わくわく事業(地域づくり補助事業)とは

自信と誇りのもてる地域を目指し、住民が主体となって実施する地域づくり事業「わくわく事業」に対し、市が助成を行う地域活動支援制度です。補助内容等の審査は、地域会議が行います。

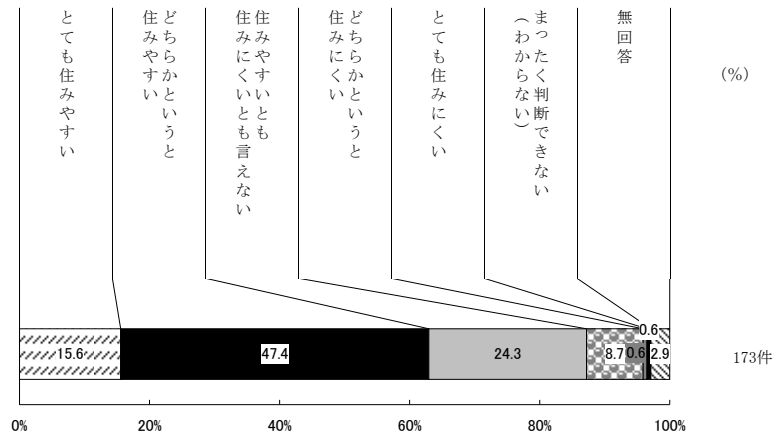
助成対象は、5人以上で組織された団体で、活動が地域から支持される団体です。



● 年代別で「わくわく事業（地域補助事業）の認知度」が最も高い年代は、「70歳以上」で100%を占めている結果となっています。一方、「30歳代」では半数が「まったく知らない」と回答しています。

### 2-3 猿投地域の住みやすさ

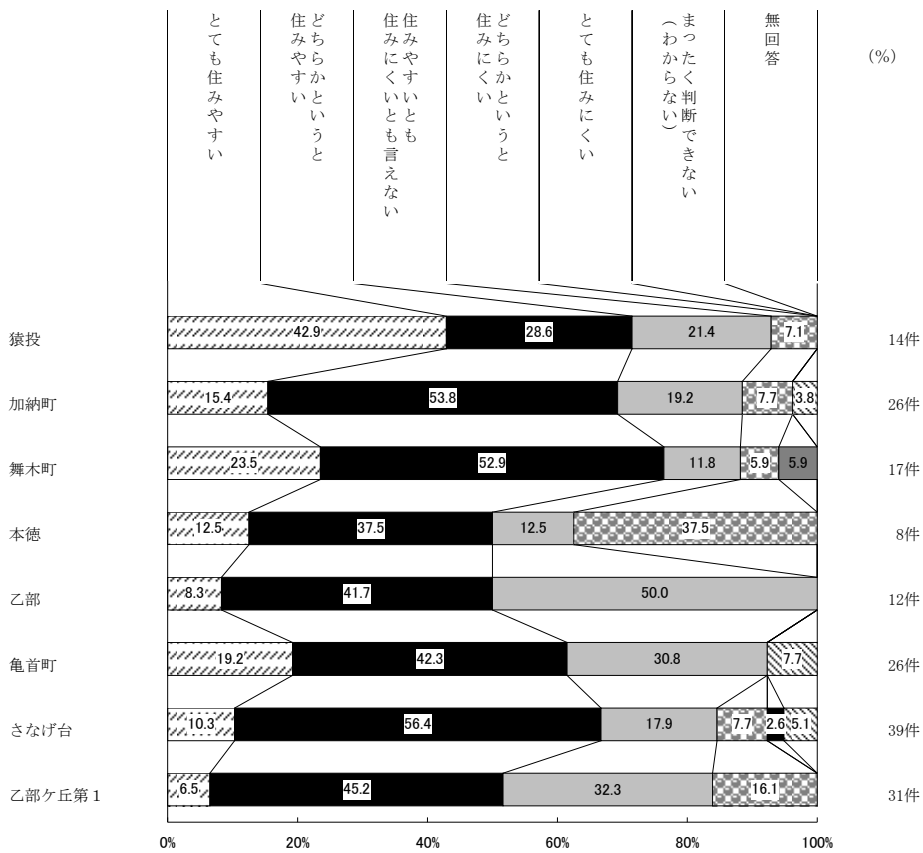
問10 あなたは、総合的にみて、猿投地域は住みやすい地域だと思いますか。  
(○は1つだけ)

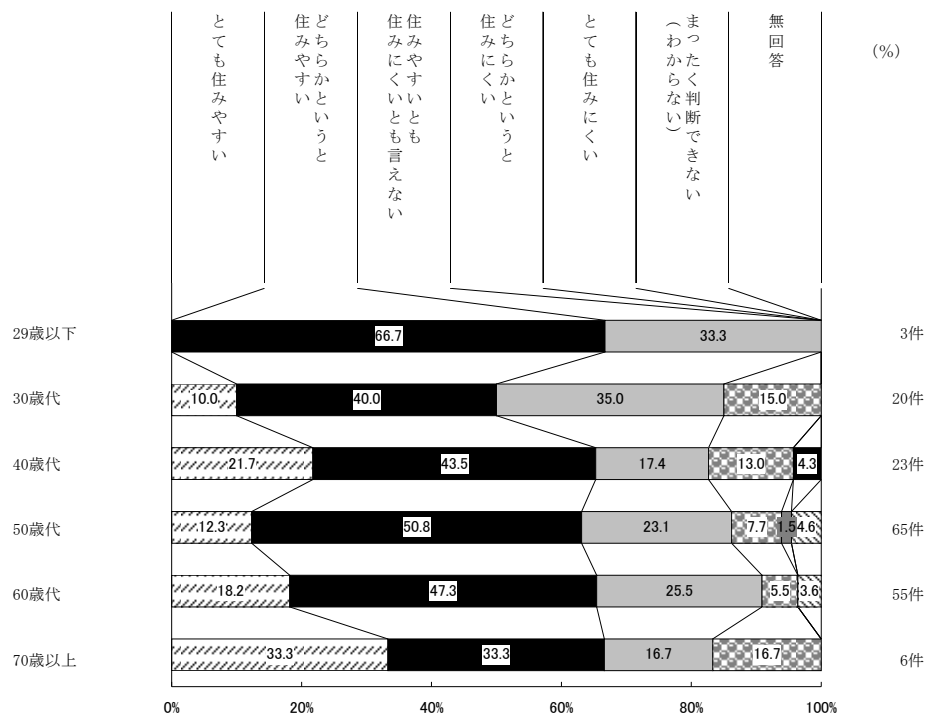


● 猿投地域の住みやすさについては、『住みやすい※1』と感じている人は63.0%となっており、『住みにくい※2』と感じている人は9.3%となっています。

※1 「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の計

※2 「どちらかというに住みにくい」「とても住みにくい」の計





● 年代別でみると、『住みやすい※1』と感じる人は、いずれの年代でも5割以上を占めています。

※1 「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の計

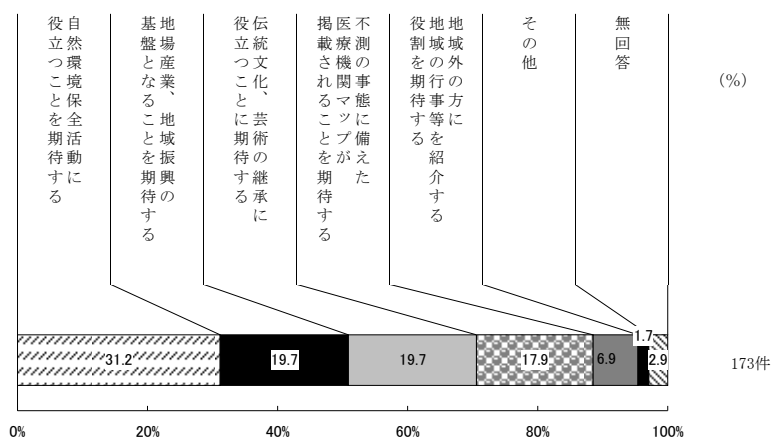


### 3 猿投地域観光交流振興マップについて

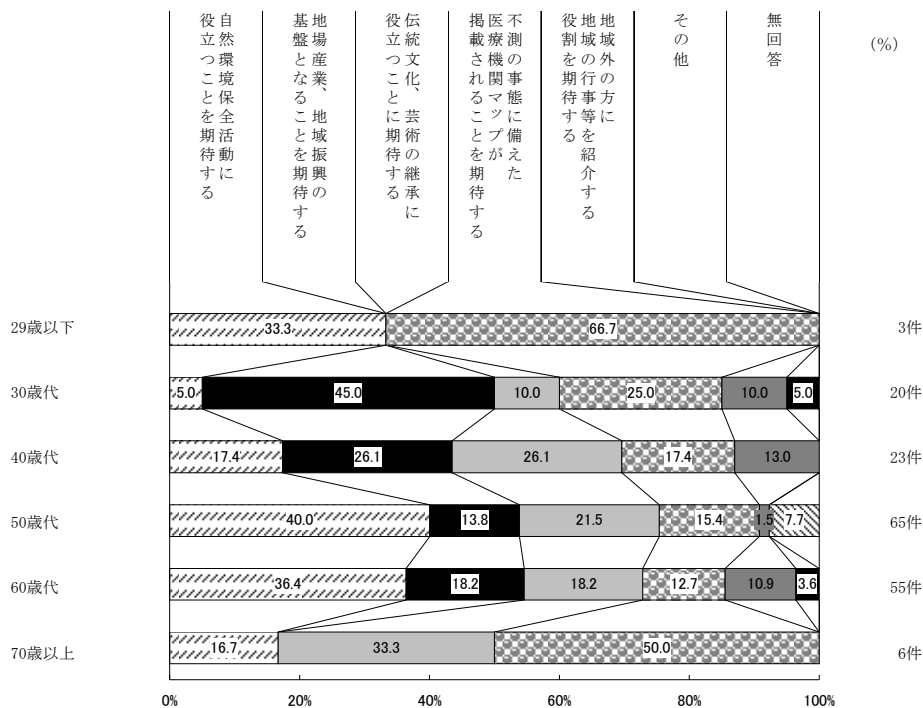
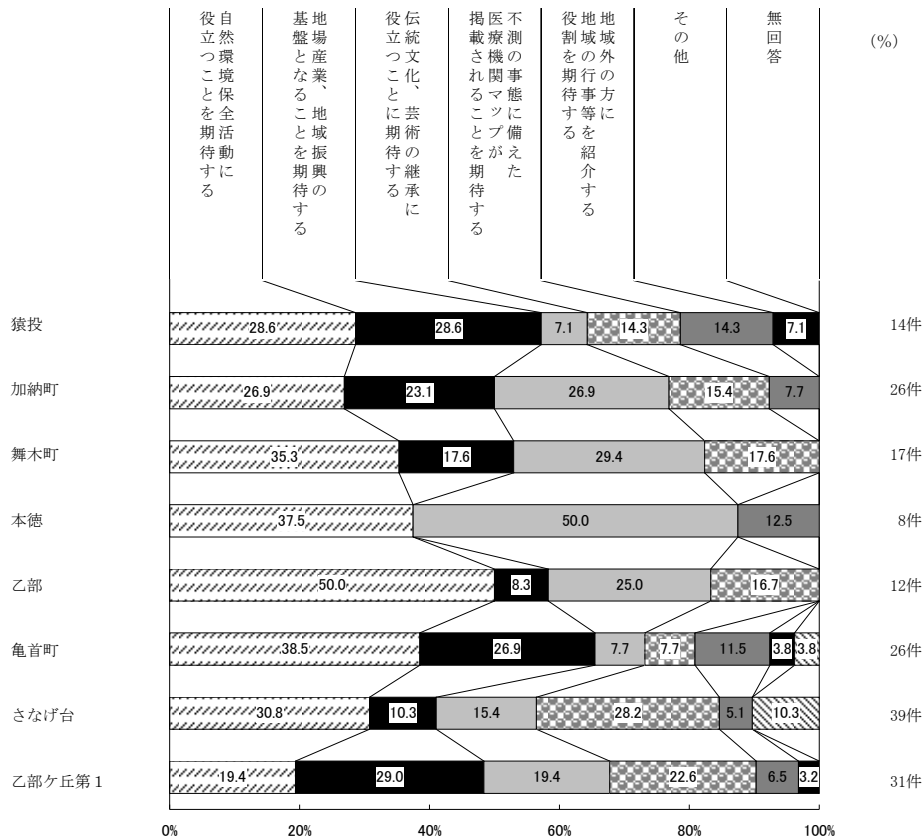
#### 3-1 観光交流振興マップへの期待

問 11 猿投地域会議の提言により、今年度猿投の名所、旧跡など地域資源を盛り込んだ観光交流振興マップを作成します。マップの活用方法に何を期待しますか。

(○は1つだけ)



- 観光交流振興マップの活用方法に期待するものについて、「自然環境保全に役立つことを期待する」(31.2%)と回答した人が最も多くなっています。次いで、「地場産業、地域振興の基盤となることを期待する」(19.7%)、「伝統文化、芸術の継承に役立つことを期待する」(19.7%)、「不足の事態に備えた医療機関マップが掲載されることを期待する」(17.9%)となっています。

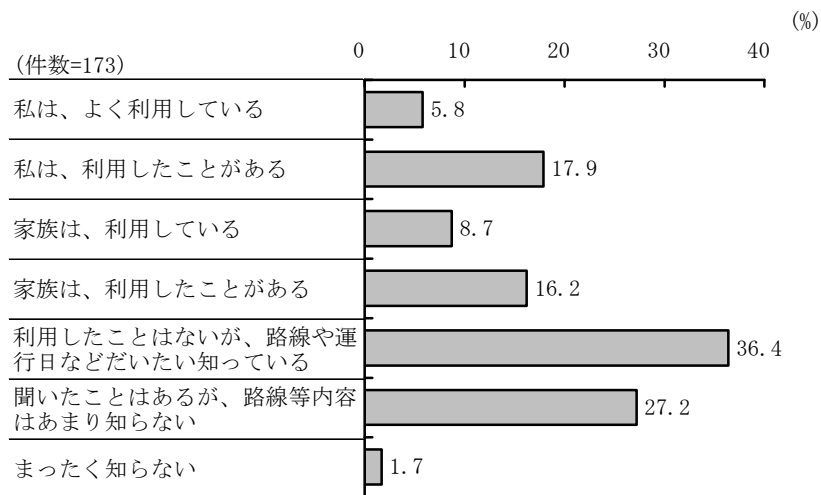


- 年代別にみると、「自然環境保全に役立つことを期待する」では「50歳代」(40.0%)が最も多くなっています。「地場産業、地域振興の基盤となることを期待する」では「30歳代」(45.0%)が最も多くなっています。

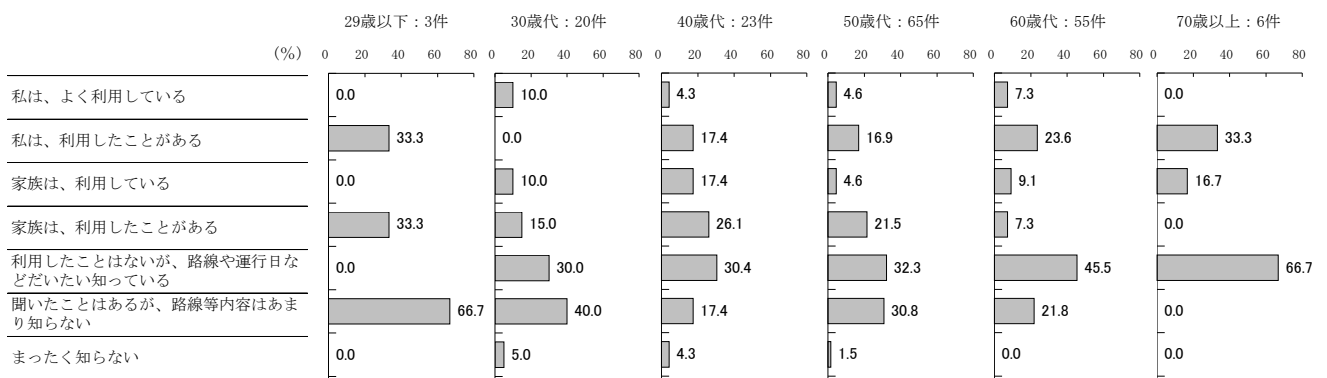
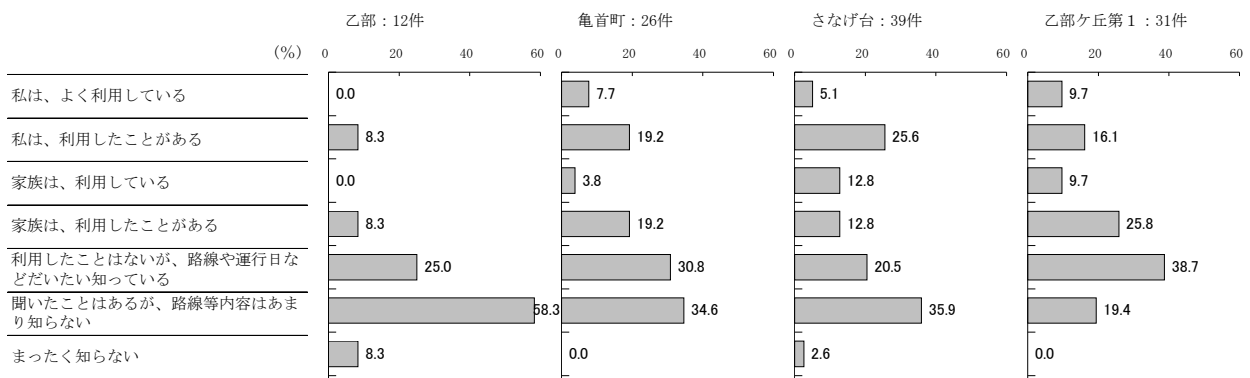
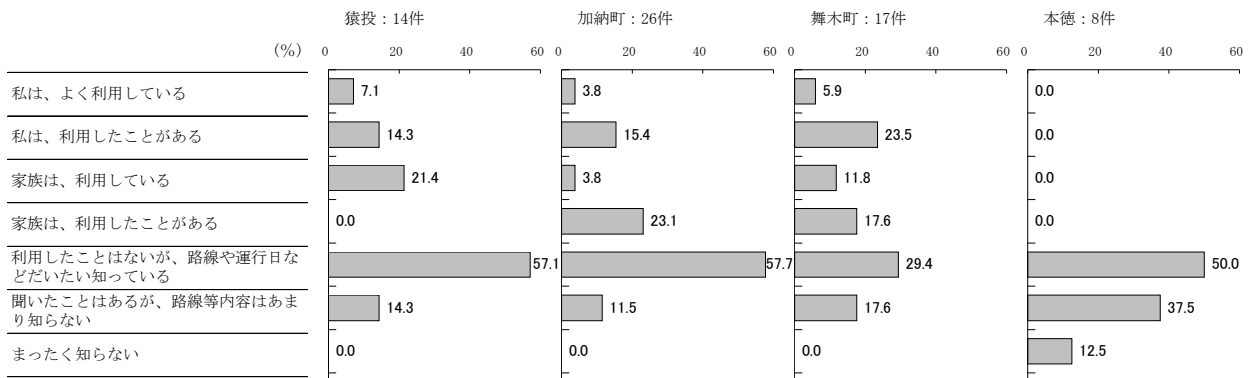
## 4 バス利用について

### 4-1 とよたおいでんバスの認知度

問 12 猿投地域では、とよたおいでんバスが運行しています。あなたは、「とよたおいでんバス」をどの程度知っていますか。 (あてはまるもの全てに○を)



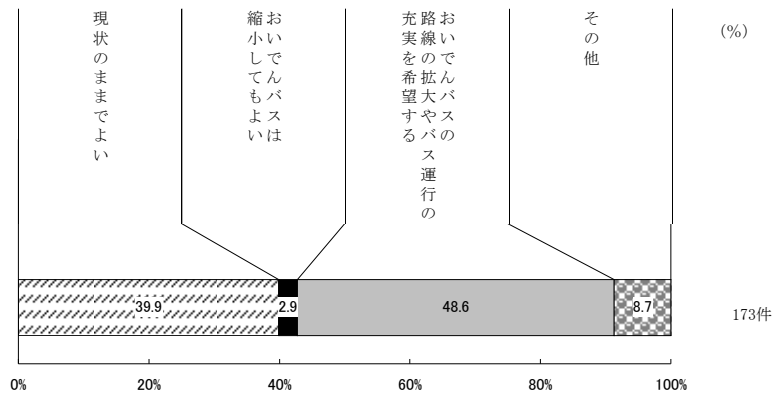
- 「まったく知らない」は 1.7%となっており、知っている人または、利用経験者が多く、認知度は非常に高くなっている。



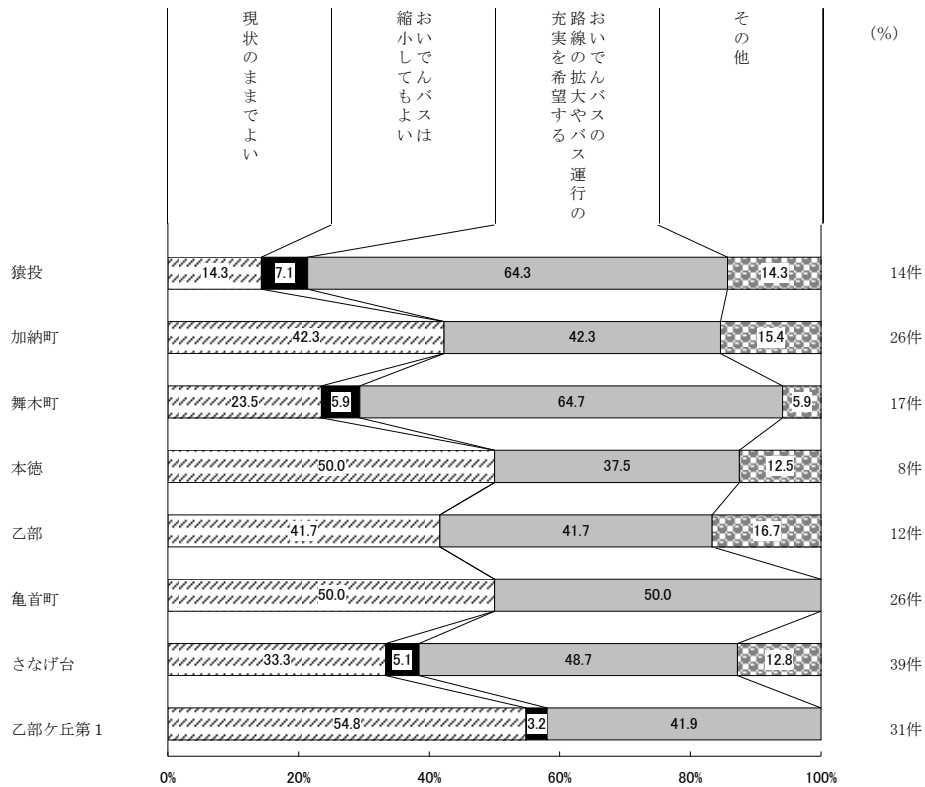
● 年代別で見ると、「まったく知らない」が30歳代と40歳代で多くなっている。また、「聞いたことはあるが、路線等内容はあまり知らない」が20～30歳代で多く、若年層で内容の詳細までの認知は低くなっている。利用未経験だが、詳細を知っている（利用したことはないが、路線や運行日などだいたい知っている）と答えた人は年齢が高くなるに連れて多くなっている。

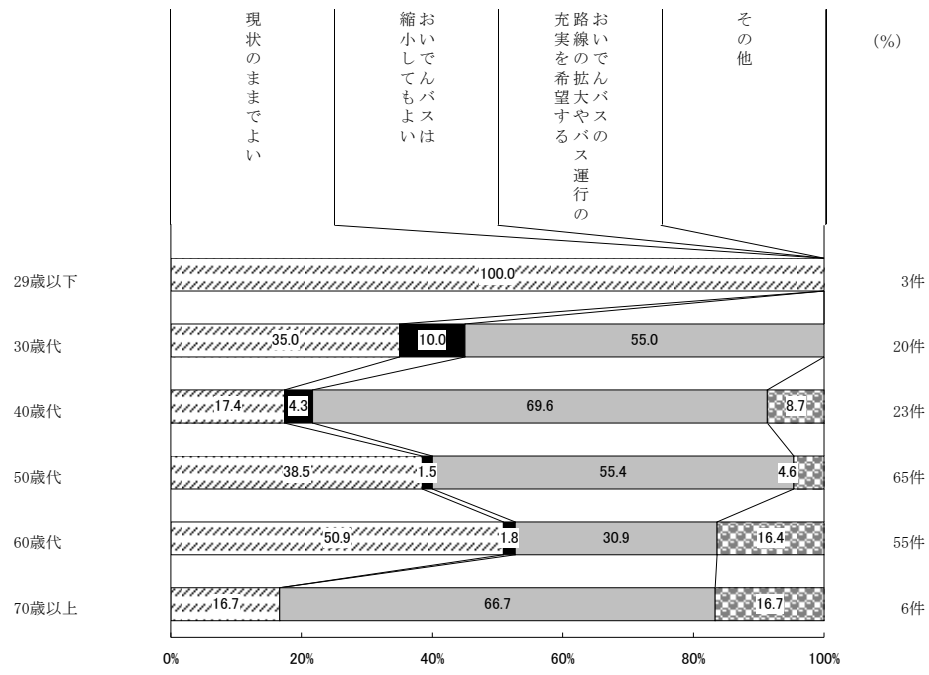
## 4-2 猿投地域における将来のバス運行

問 13 猿投地域における将来のバス運行についてどのように思いますか。(〇は1つだけ)



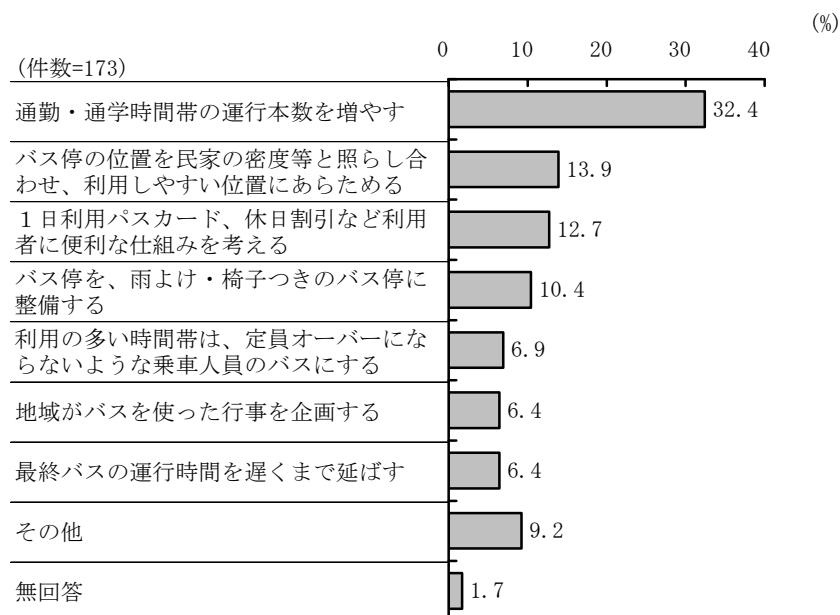
● 猿投地域における将来のバス運行について「おいでんバスの路線の拡大やバス運行の充実を希望する」(48.6%)が最も多く、次いで「現状のままでよい」(39.9%)となっています。一方、「おいでんバスは縮小してもよい」は2.9%と少なくなっています。



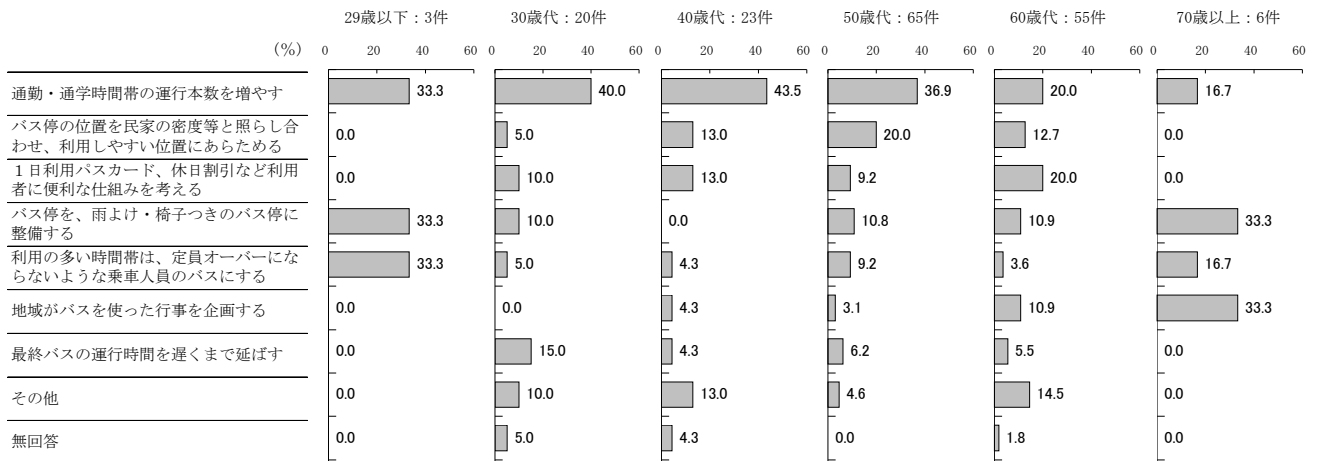
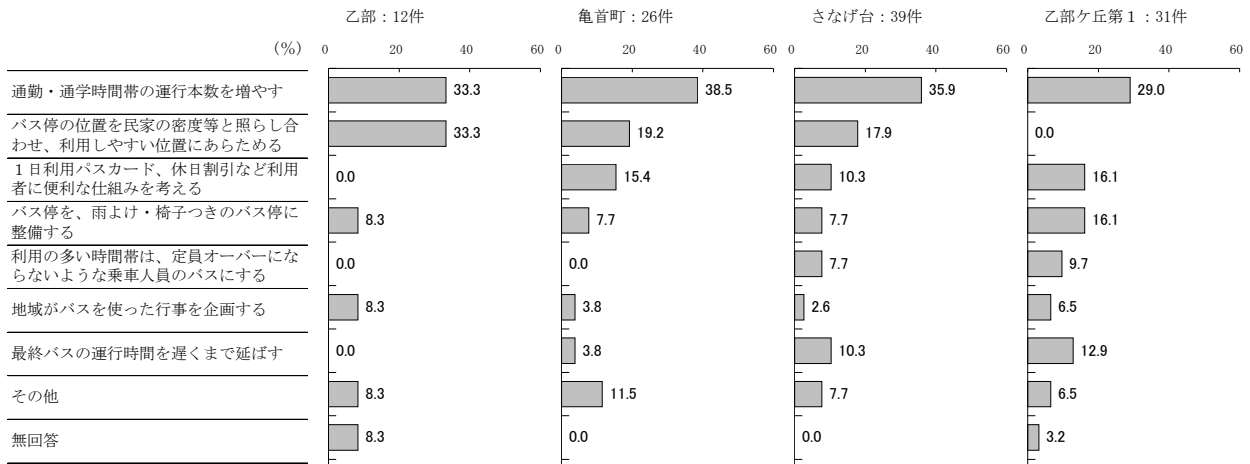
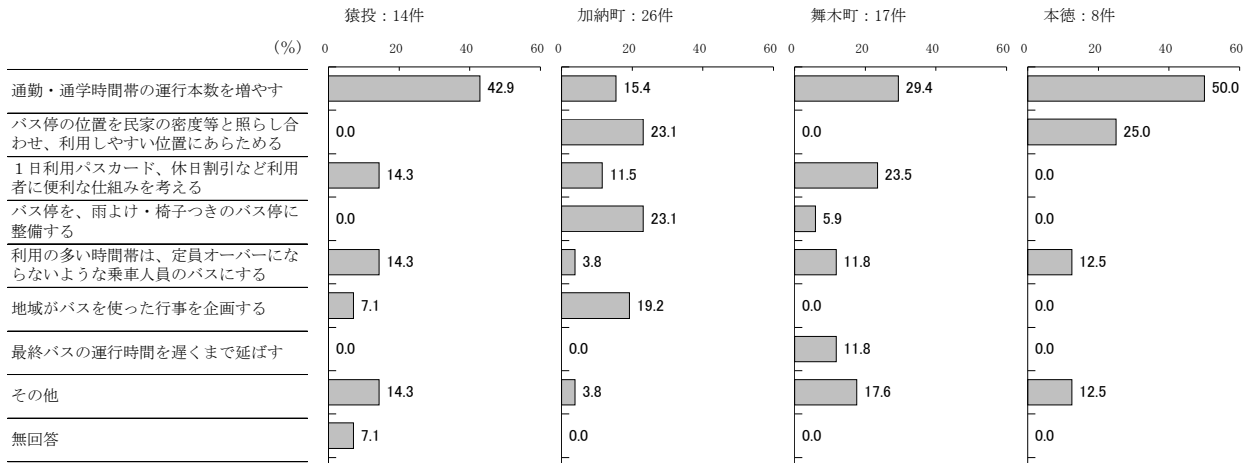


#### 4-3 バスの利用を高めるための取り組み

問 14 猿投地域を運行するバスの利用を高めるために、どんな取り組みが最も有効だと思いますか。  
(○は1つだけ)



- バス利用を高めるために必要だと思う取り組みについて、「通勤・通学時間帯の運行本数を増やす」(32.4%)が最も多く、次いで「バス停の位置を民家の密度等と照らし合わせ、利用しやすい位置にあらためる」(13.9%)、「1日利用パスカード、休日割引など利用者に便利な仕組みを考える(12.7%)」となっています。

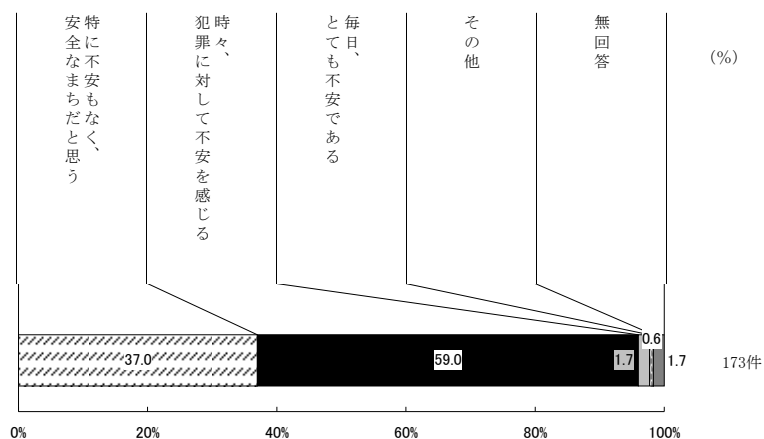


## 5 地域の防犯・防災について

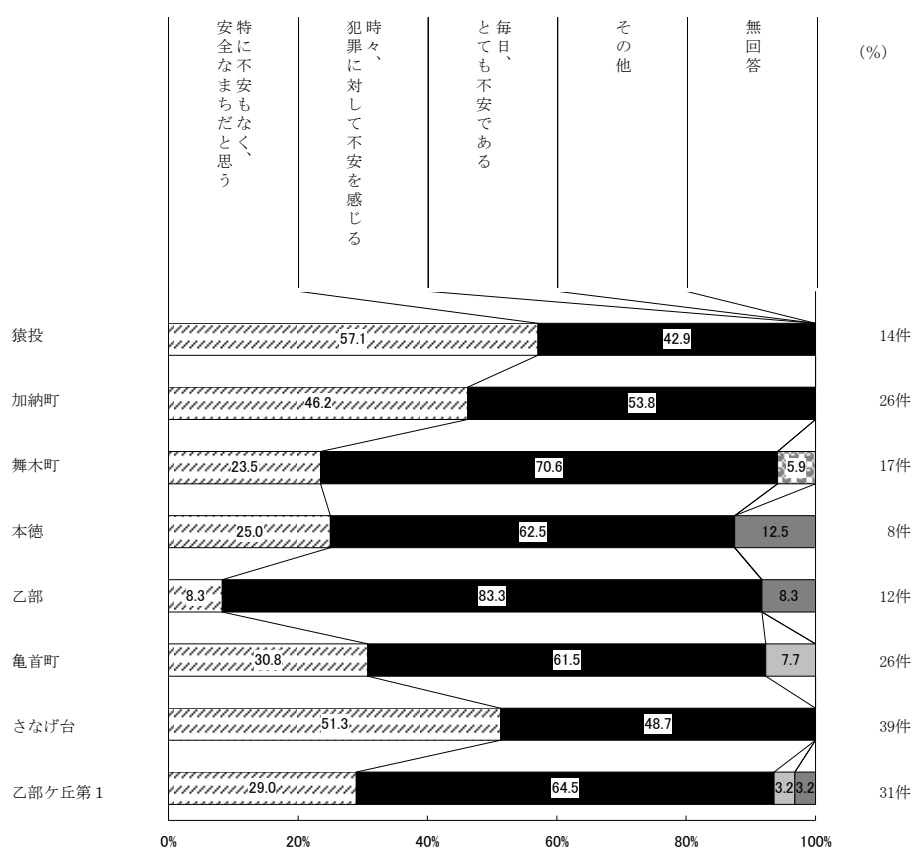
### 5-1 地域の犯罪に対する安全性

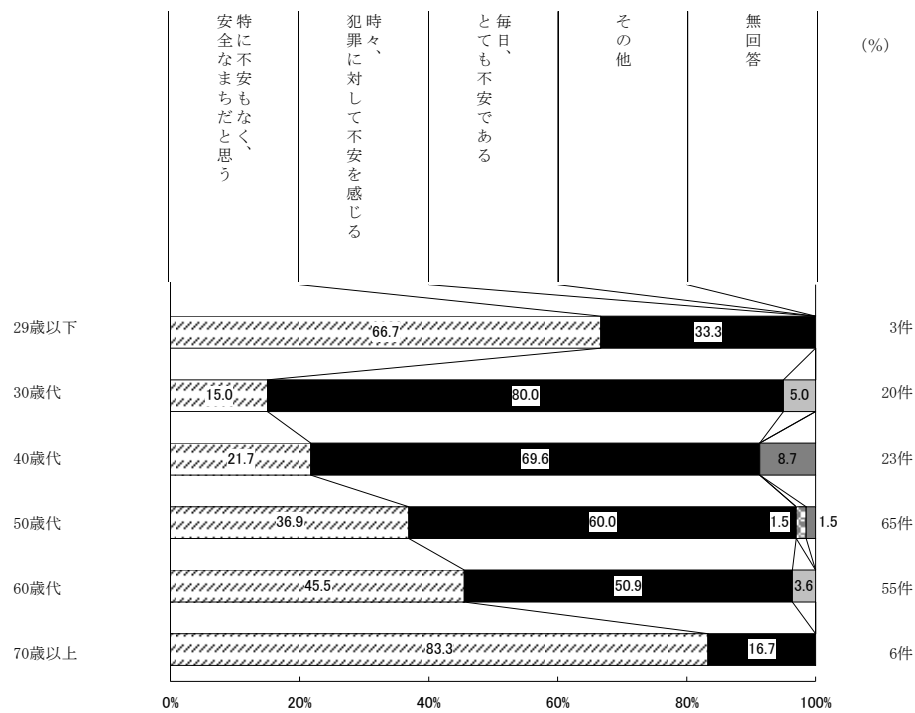
問 15 あなたの住む自治区は、犯罪に対して安全なまちだと思いますか。

(○は1つだけ)



- 地域の犯罪に対する安全性については、「時々、犯罪に対して不安を感じる」が59.0%で最も多く、次いで「特に不安もなく、安全なまちだと思う」が37.0%、「毎日、とても不安である」が1.7%となっています。





- 年代別でみると、「特に不安もなく、安全なまちだと思ふ」については「70歳以上」(83.3%)、「29歳以下」(66.7%)で多くなっています。「時々、犯罪に対して不安を感じる」については「30歳代」(80.0%)で最も多くなっています。

## 5-2 不安を感じていること(具体的な意見)

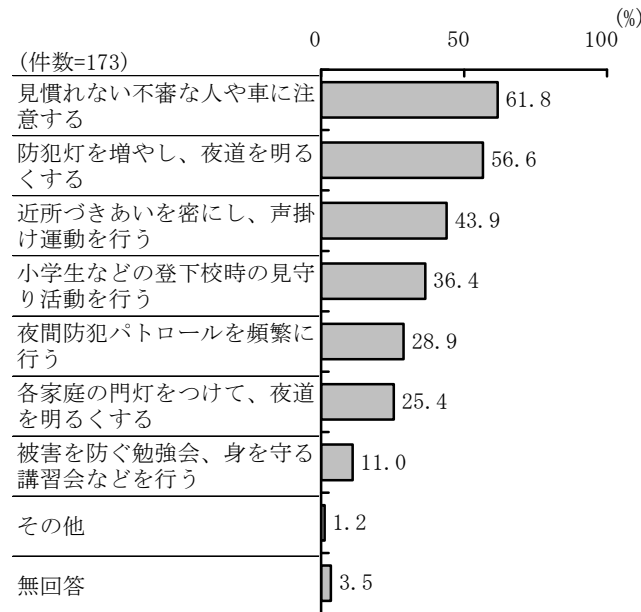
問 15-1 あなたは、どんなことに不安を感じていますか。具体的にお書きください。

- 不安を感じていることをたずねたところ、100 件の意見が得られました。以下に主な意見を掲載します。

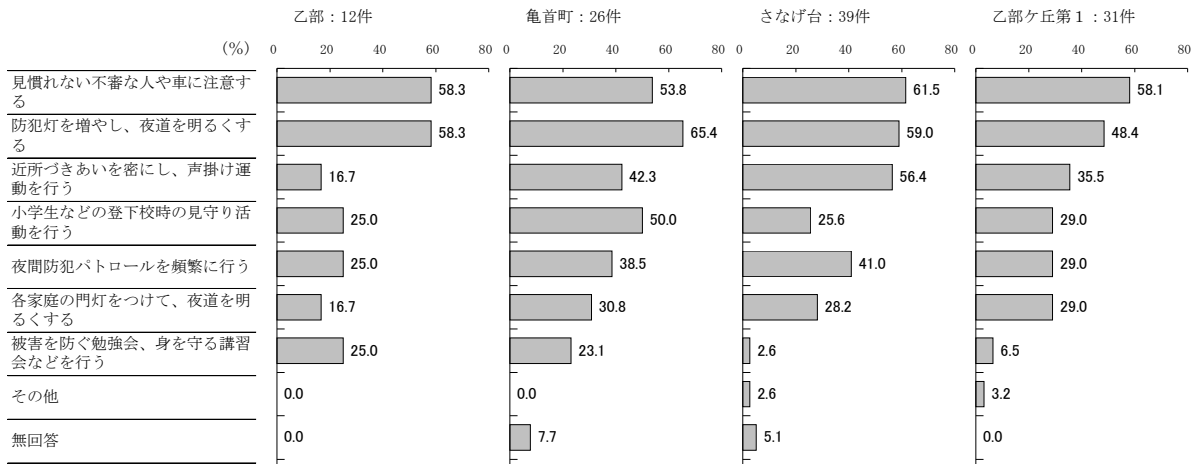
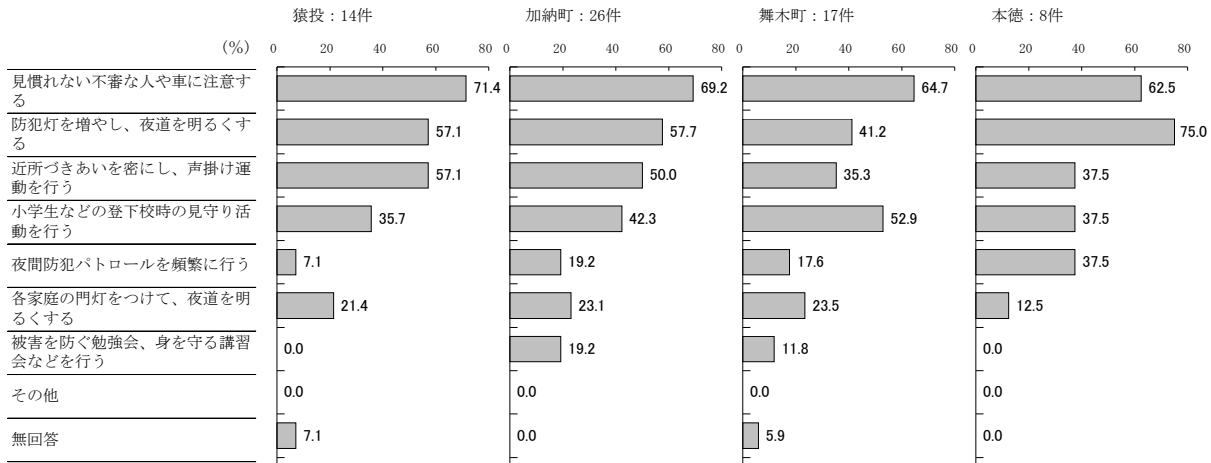
分類	主な理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不審者や不審車両について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他自治区よりの不審な人や車の流入。</li> <li>○不審者、車両等の情報を時々耳にする。</li> <li>○登校拒否、ニートなど若者の引きこもりが及ぼす、ストレス、妄想による身勝手な犯罪。</li> <li>○地区外の方が道路に長時間車を止めている。</li> <li>○小学生通学時の不審者。 など</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き巣や強盗について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空き巣被害などをよく聞く。昔は施錠なしでも安心であった。</li> <li>○空き巣、泥棒の被害にちよくちよく遭っている。</li> <li>○車上ねらい。 など</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治安の悪化について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国人及び犯罪の増加を感じる。特に若者の意識が低下している。</li> <li>○保見団地で犯罪が時々あり、身近に感じている。</li> <li>○全国的に多発している犯罪がこの地域でも発生しないか心配である。</li> <li>○ホームレスらしき人が河原で生活していることがあった。 など</li> </ul>

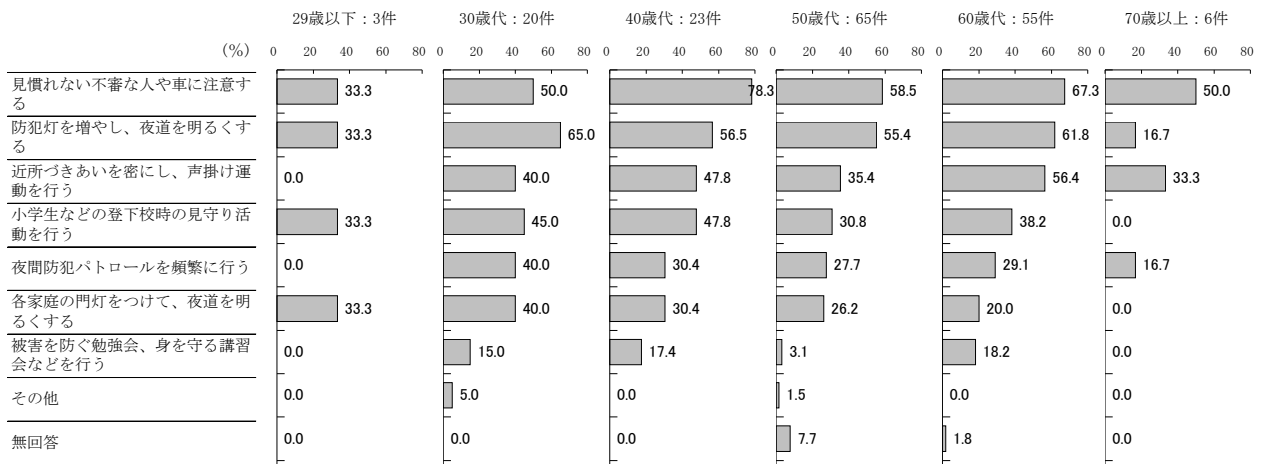
### 5-3 犯罪を未然に防ぐために必要な活動

問 16 犯罪を未然に防ぐために、あなたの住む自治区でどのような活動が必要だと思いますか。  
(当てはまるものすべてに○)



- 犯罪を未然に防ぐために必要な活動については、「見慣れない不審な人や車に注意する」が61.8%で最も多く、次いで「防犯灯を増やし、夜道を明るくする」(56.6%)、「近所づきあいを密にし、声掛け運動を行う」(43.9%)、「小学生などの登下校時の見守り活動を行う」が36.4%となっています。

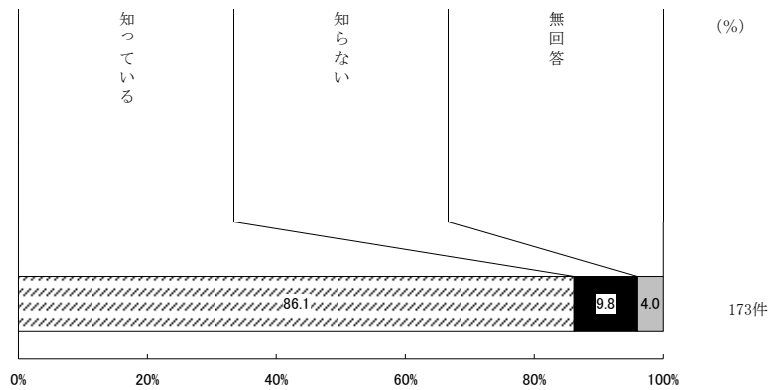




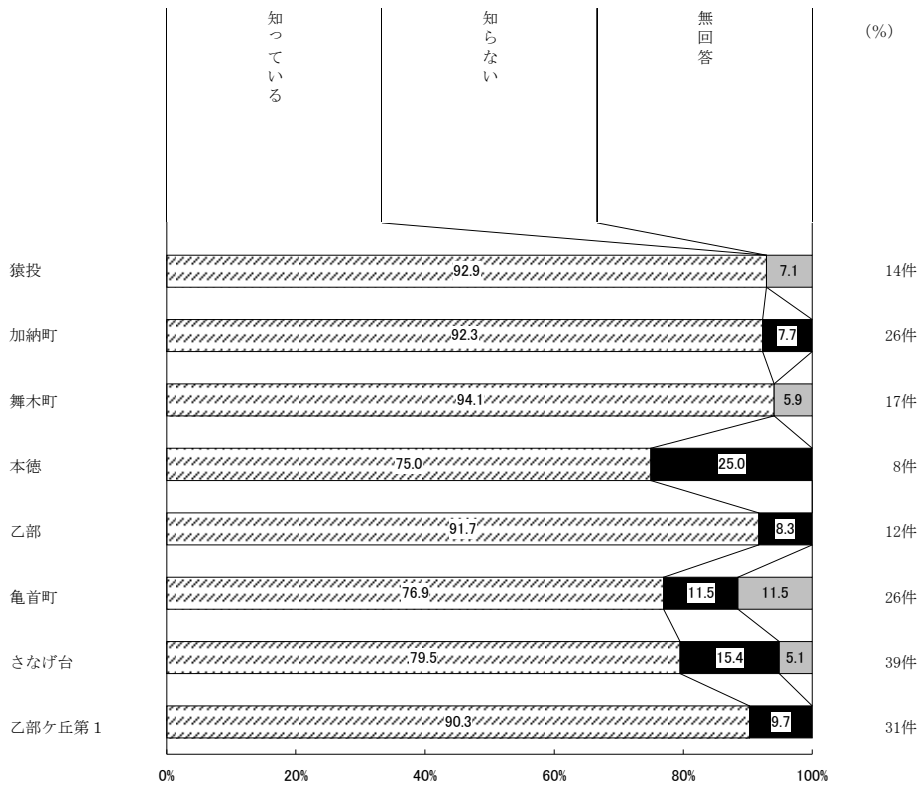
- 年代別でみると、「見慣れない不審な人や車に注意する」は「40歳代」(78.3%)で多くなっています。「防犯灯を増やし、夜道を明るくする」は「30歳代」(65.0%)、「60歳代」(61.8%)で多くなっています。「近所づきあいを密にし、声掛け運動を行う」は「60歳代」(56.4%)で多くなっています。

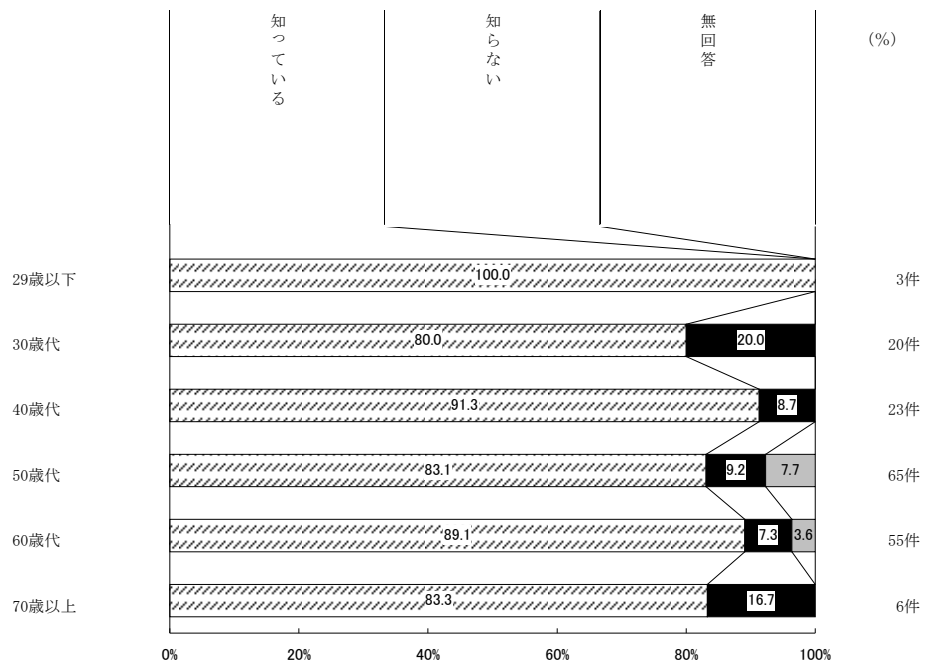
## 5-4 災害時の避難場所の認知

問 17 あなたの家庭は地震等の自然災害が起きたときに、どこに避難すればよいか知っていますか。 (○は1つだけ)



● 被災時の避難場所の認知については、「知っている」が86.1%となっていて、「知らない」が9.8%となっています。

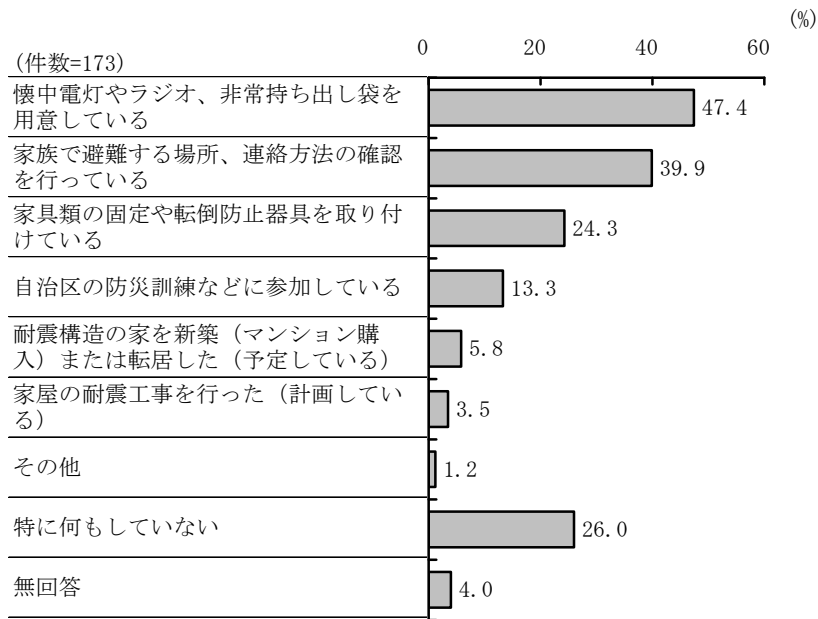




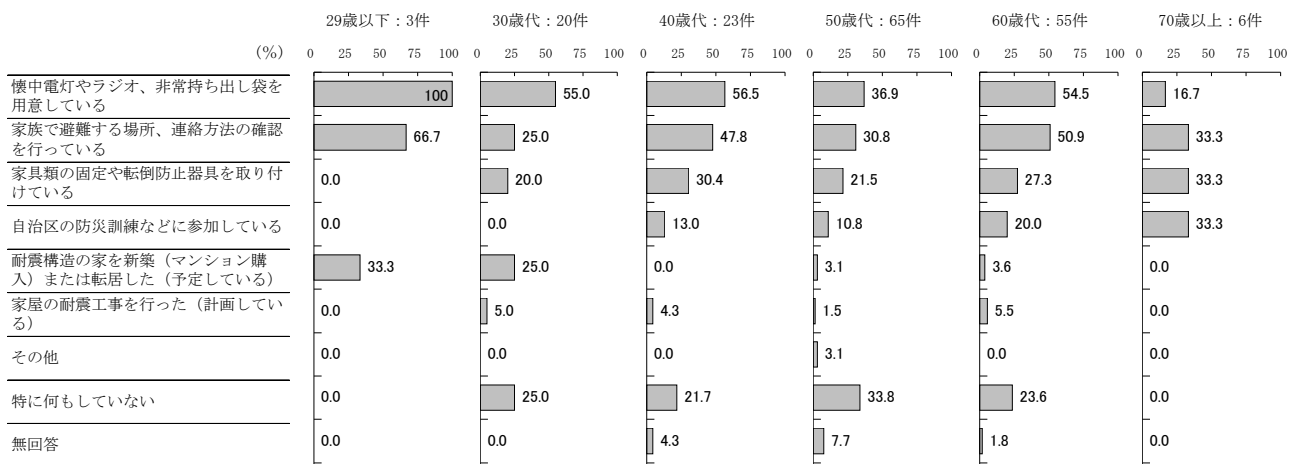
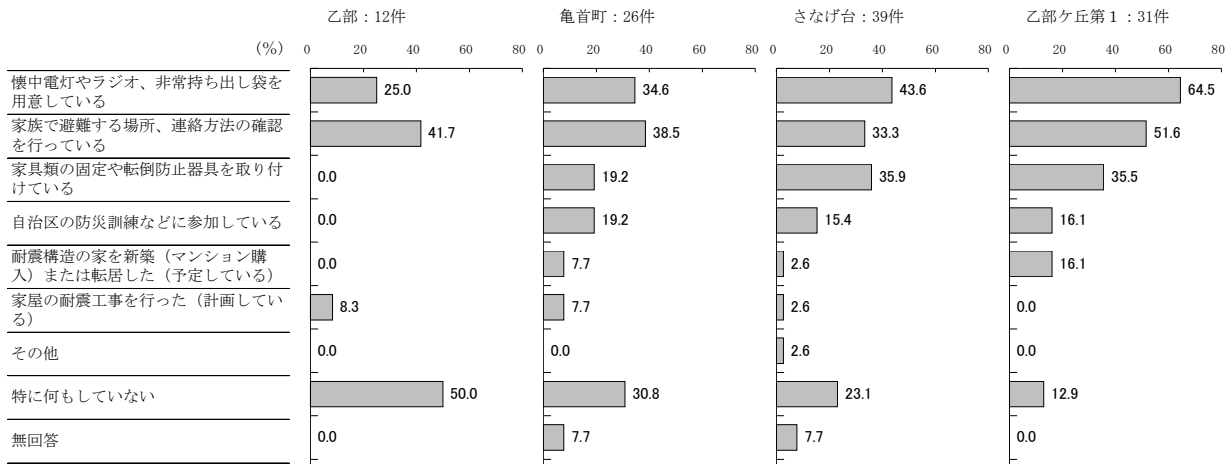
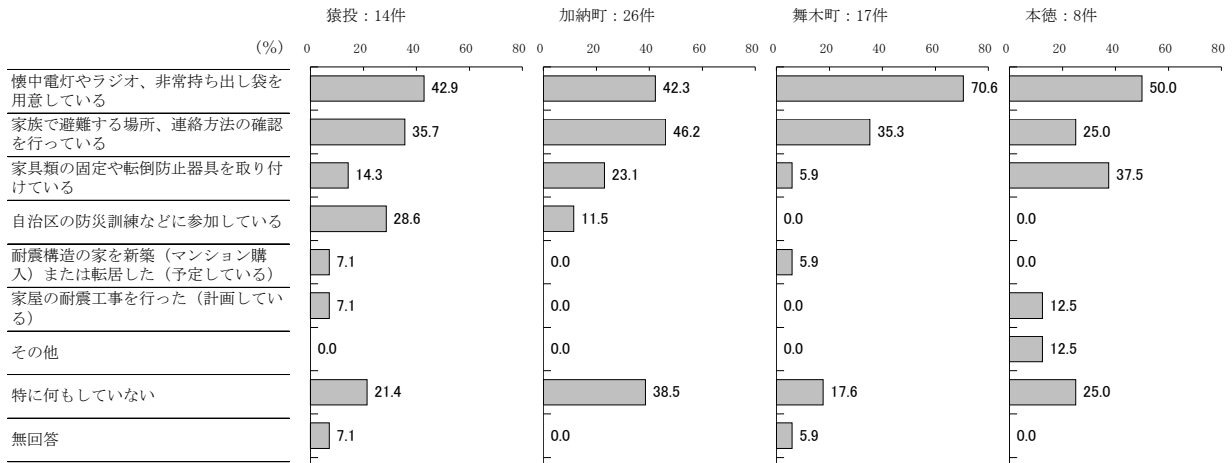
- 年代別でみると、「知っている」はどの年代でも8割以上を占めています。

## 5-5 地震に対する家庭での備え

問 18 近い将来、大規模な地震の発生が予想されていますが、あなたの家庭では、地震に備えてどのような準備をされていますか。 (あてはまるものすべてに○)



- 地震への備えについては、「懐中電灯やラジオ、非常持ち出し袋を用意している」が 47.4%で最も多く、次いで「家族で避難する場所、連絡方法の確認を行っている」が 39.9%、「家具類の固定や転倒防止器具を取り付けている」が 24.3%、「自治区の防災訓練などに参加している」が 13.3%となっています。一方、「特に何もしていない」は 26.0%となっています。



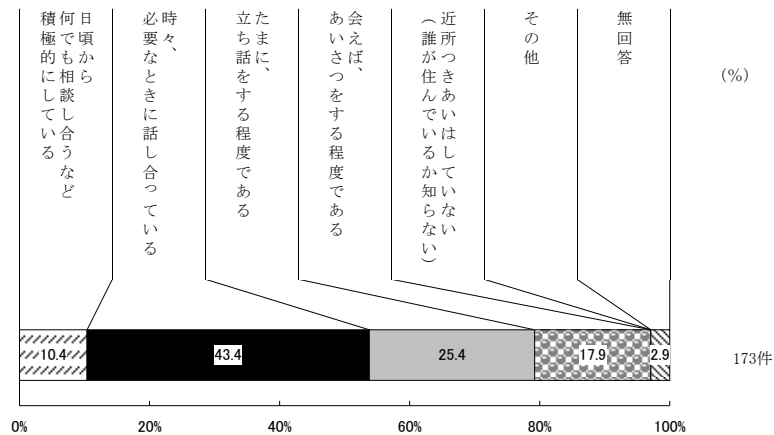
● 年代別でみると、「懐中電灯やラジオ、非常持ち出し袋を用意している」、「家族で避難する場所、連絡方法の確認を行っている」は「29歳以下」で最も多くなっています。一方、「特に何もしていない」については「50歳代」が33.8%で最も多くなっています。

## 6 地域のふれあい活動や福祉関係について

### 6-1 近所づきあいの程度

問 19 あなたのお宅では、ご近所のおつきあいをどの程度していますか。

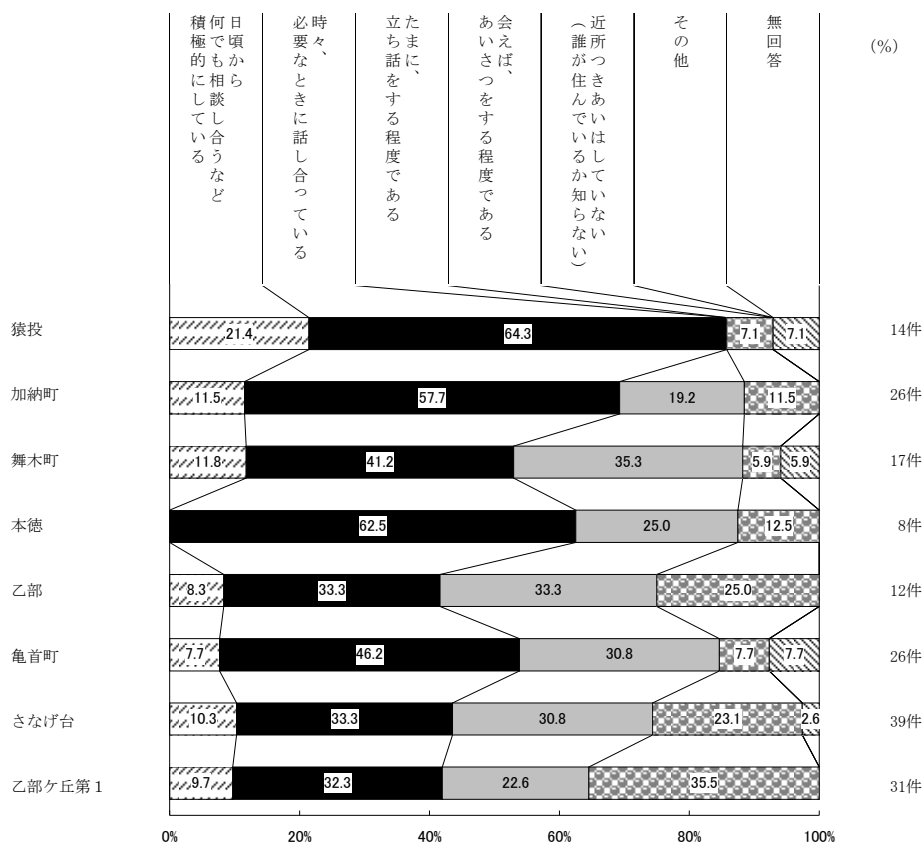
(○は1つだけ)

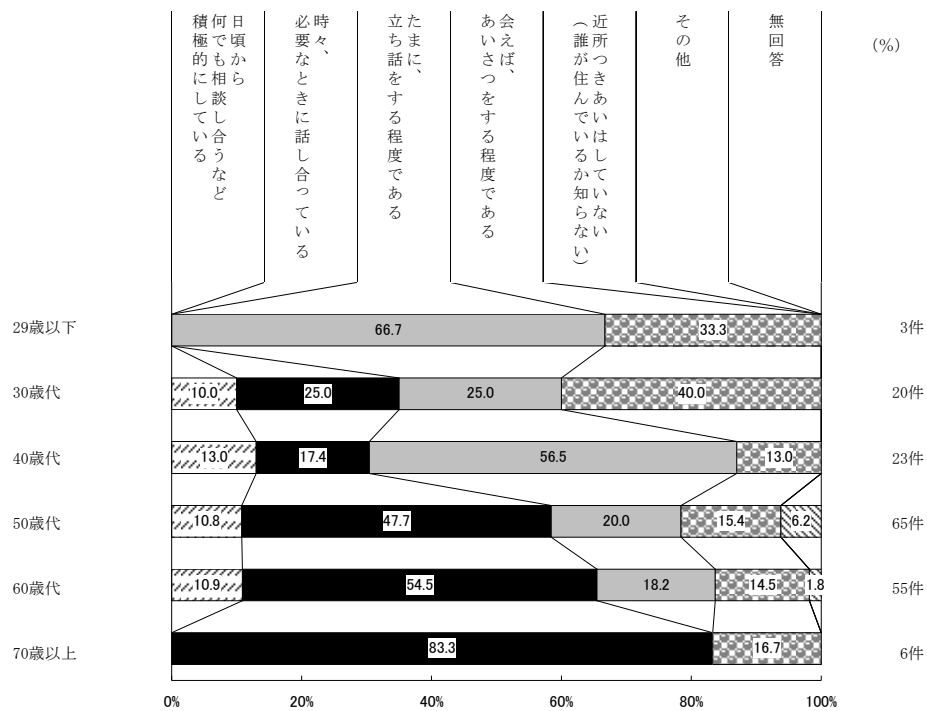


● 近所づきあいの程度については、『親密※1』が53.8%で最も多く、『出会った時に交流する※2』は43.3%となっています。一方、「近所づきあいはしていない(誰が住んでいるか知らない)」は0%となっています。

※1 「日頃から何でも相談し合うなど積極的にしている」「時々、必要なときに話し合っている」の計

※2 「たまに、立ち話をする程度である」「会えば、あいさつをする程度である」の計





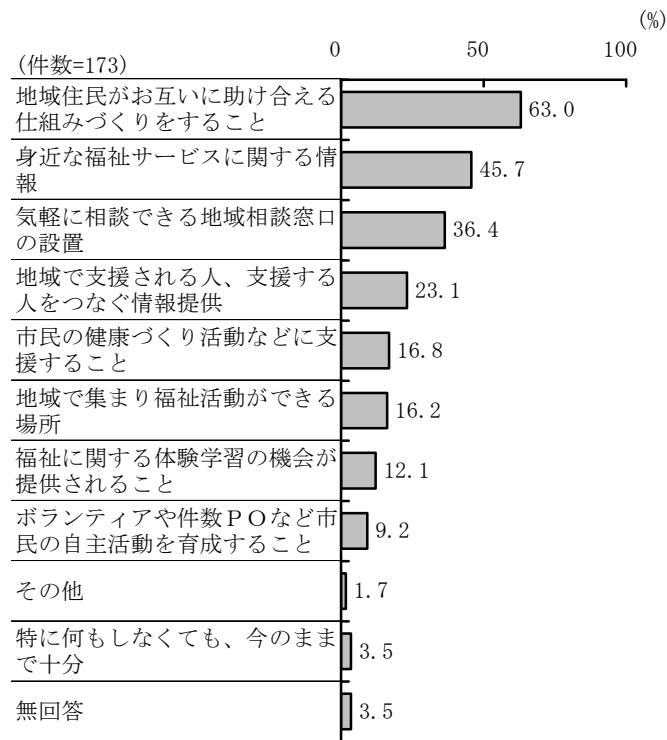
- 年代別でみると、『親密※1』は30歳以上で3割を超えており、特に「70歳以上」は8割以上を占めています。一方、『出会った時に交流する※2』は「29歳以下」(100%)で最も多くなっています。

※1 「日頃から何でも相談し合うなど積極的に行っている」「時々、必要なときに話し合っている」の計  
 ※2 「たまに、立ち話をする程度である」「会えば、あいさつをする程度である」の計

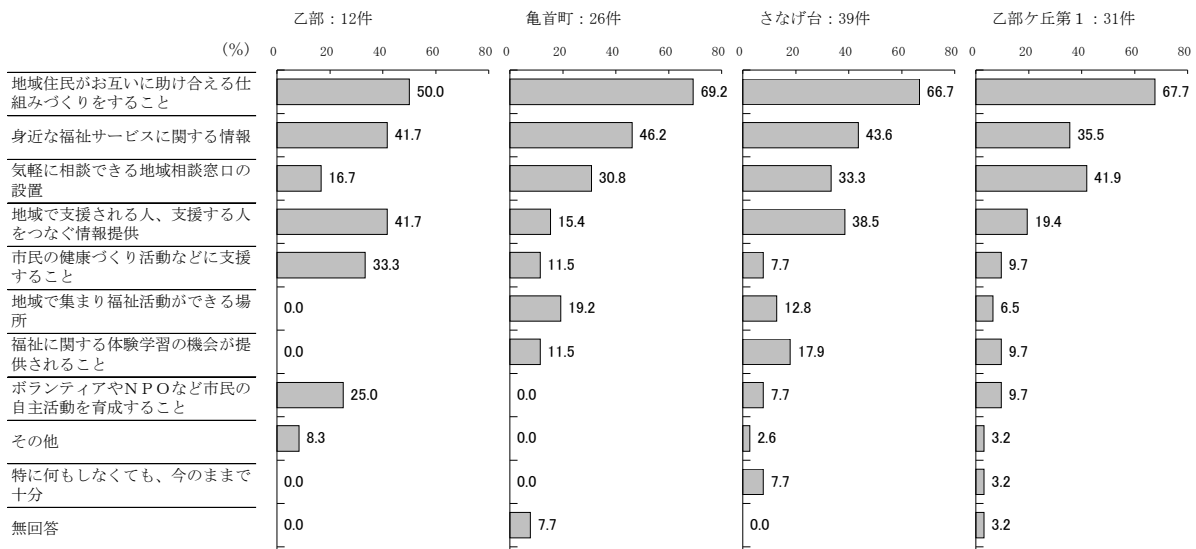
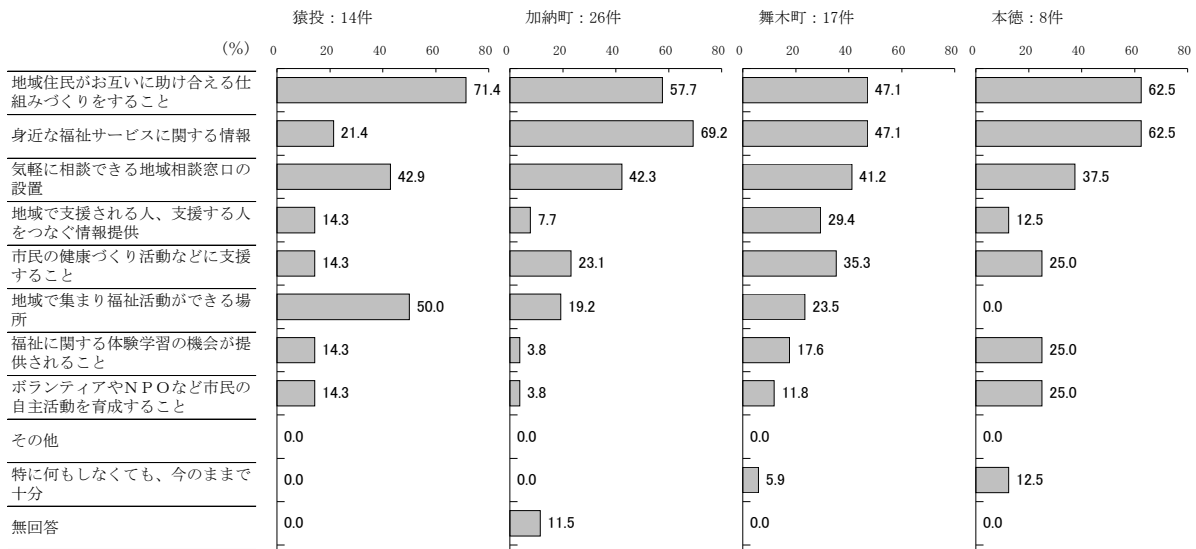
## 6-2 地域の福祉に必要なもの

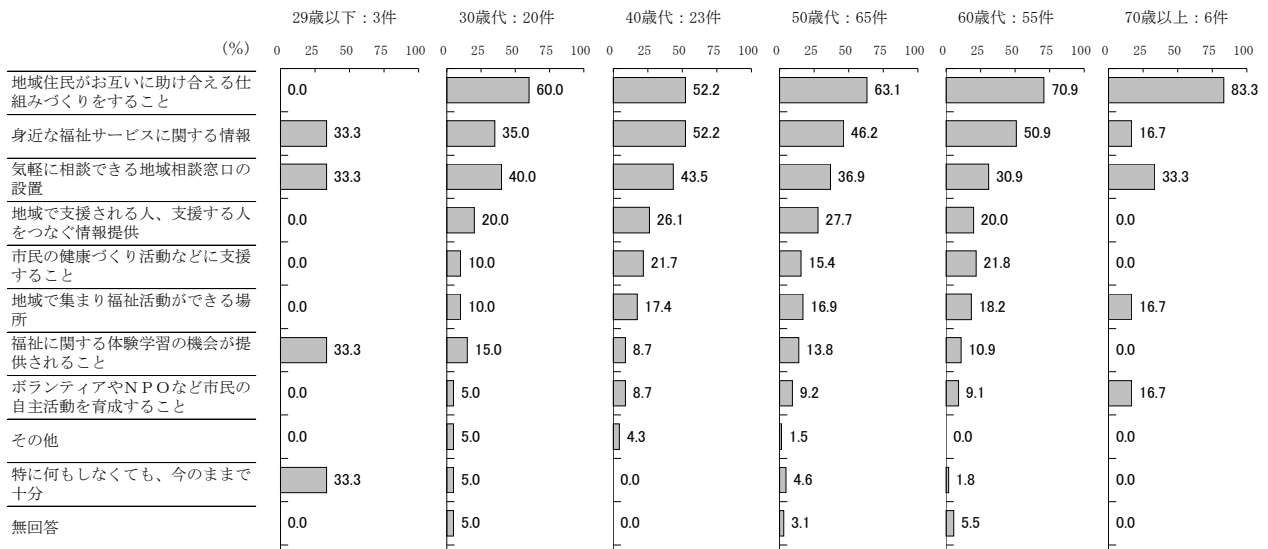
問 20 あなたは、地域の福祉で特に何が必要だと思いますか。

(主なもの3つまで)



- 地域の福祉に必要なものについては、「地域住民がお互いに助け合える仕組みづくり」が 63.0%で最も多く、次いで「身近な福祉サービスに関する情報」が 45.7%、「気軽に相談できる地域相談窓口の設置」が 36.4%、「地域で支援される人、支援する人をつなぐ情報提供」が 23.1%となっています。一方、「特に何もしなくても、今のままで十分」は 3.5%となっています。





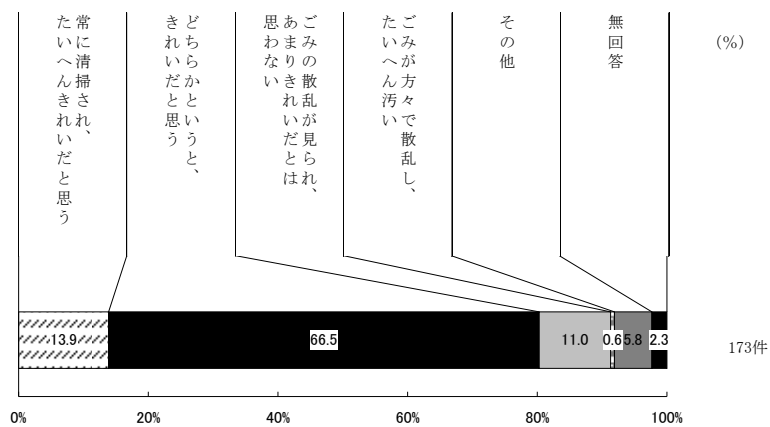
- 年代別でみると、「地域住民がお互いに助け合える仕組みづくり」は「60歳代」(70.9%)、「70歳以上」(83.3%)で多くなっています。「身近な福祉サービスに関する情報」、「気軽に相談できる地域相談窓口の設置」は「40歳代」で最も多くなっています。一方、「特に何もしなくても今のままで十分」は「29歳以下」(33.3%)で最も多くなっています。

## 7 環境美化、ごみ問題について

### 7-1 地域の環境評価

問 21 あなたの住む自治区は、きれいだと思えますか。

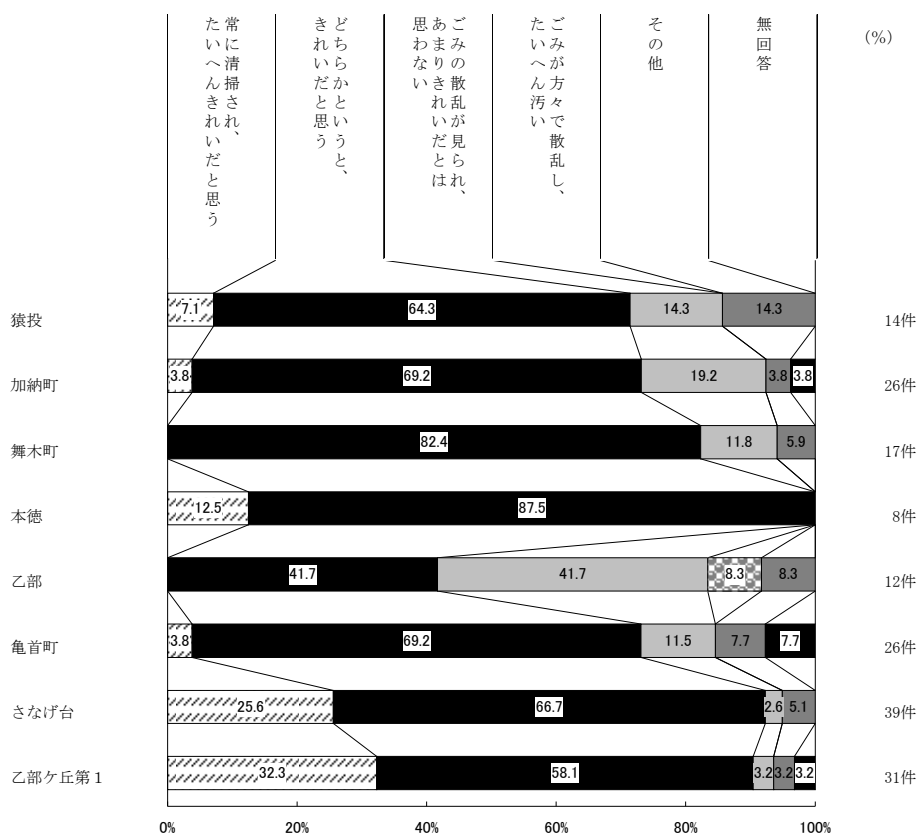
(○は1つだけ)

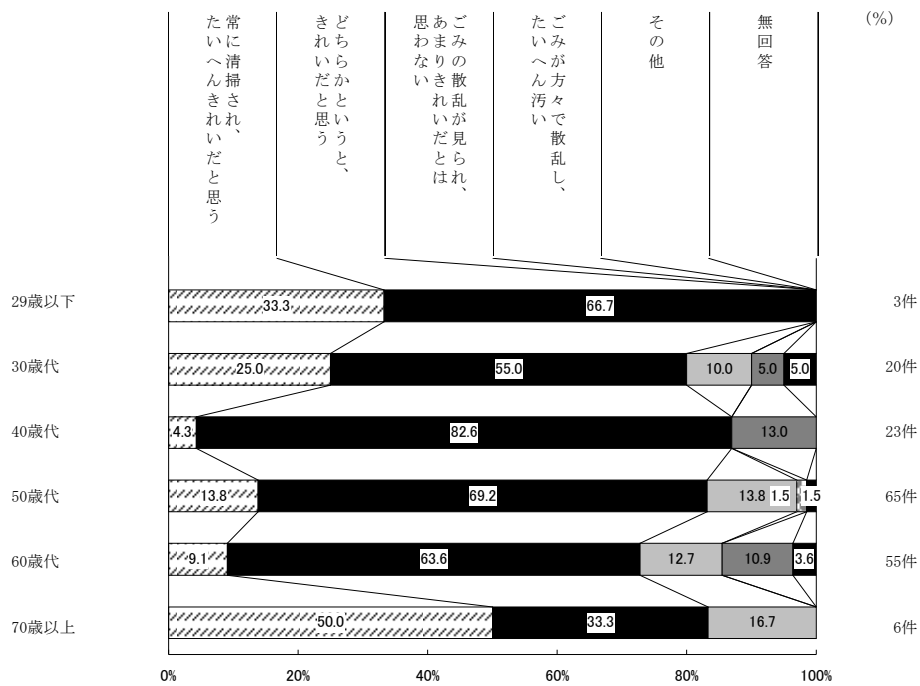


● 地域の環境評価については、『きれいだと思う※1』が80.4%で最も多く、『きれいだと思わない※2』は11.6%となっています。

※1 「常に清掃され、たいへんきれいだと思う」「まあまあ、きれいだと思う」の計

※2 「ごみの散乱が見られ、あまりきれいだとは思わない」「ごみが方々で散乱し、たいへん汚い」の計





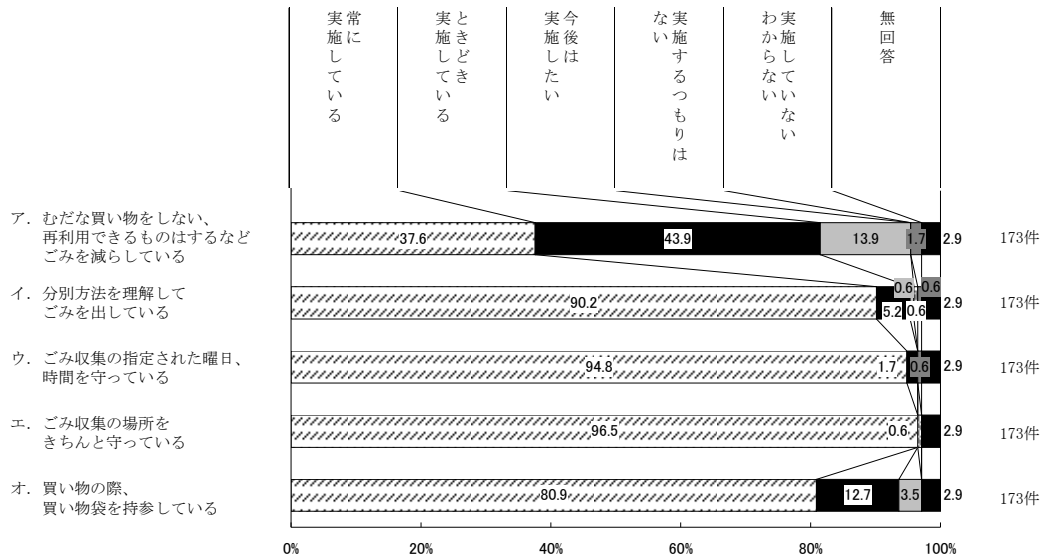
● 年代別でみると、『きれいだと思う※1』はいずれの年代でも7割以上を占めており、特に「29歳以下」は100%となっています。

※1 「常に清掃され、たいへんきれいだと思う」「まあまあ、きれいだと思う」の計

## 7-2 ごみについての取り組み

問 22 あなたの家庭では、ごみについてどのような取り組みをしていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)



- ごみについての取り組み状況をたずねたところ、「ア むだな買い物をしない、再利用するなどごみを減らしている」で「常に実施している」のは37.6%にとどまっていますが、これ以外の項目では「常に実施している」が8割以上となっています。

猿投	全体	実 常 に し て い る	実 時 ど き に し て い る	実 今 後 は し た い	な 実 施 す る つ も り は	わ 実 施 し て い な い	無 回 答
ア. 無駄な買い物をしない、 再利用できるものはするなど ごみを減らしている	14 100.0	50.0	42.9	7.1	-	-	-
イ. 分別方法を理解して ごみを出している	14 100.0	100.0	-	-	-	-	-
ウ. ごみ収集の指定された曜日、 時間を守っている	14 100.0	100.0	-	-	-	-	-
エ. ごみ収集の場所を きちんと守っている	14 100.0	100.0	-	-	-	-	-
オ. 買い物の際、 買い物袋を持参している	14 100.0	92.9	7.1	-	-	-	-

加納町	全体	実 常 に し て い る	実 時 ど き に し て い る	実 今 後 は し た い	な 実 施 す る つ も り は	わ 実 施 し て い な い	無 回 答
ア. 無駄な買い物をしない、 再利用できるものはするなど ごみを減らしている	26 100.0	30.8	46.2	19.2	-	-	3.8
イ. 分別方法を理解して ごみを出している	26 100.0	80.8	7.7	3.8	-	-	7.7
ウ. ごみ収集の指定された曜日、 時間を守っている	26 100.0	92.3	3.8	-	-	-	3.8
エ. ごみ収集の場所を きちんと守っている	26 100.0	96.2	-	-	-	-	3.8
オ. 買い物の際、 買い物袋を持参している	26 100.0	84.6	11.5	-	-	-	3.8

舞水町	全体	実 常 に し て い る	実 時 ど き に し て い る	実 今 後 は し た い	な 実 施 す る つ も り は	わ 実 施 し て い な い	無 回 答
ア. 無駄な買い物をしない、 再利用できるものはするなど ごみを減らしている	17 100.0	29.4	47.1	23.5	-	-	-
イ. 分別方法を理解して ごみを出している	17 100.0	100.0	-	-	-	-	-
ウ. ごみ収集の指定された曜日、 時間を守っている	17 100.0	94.1	5.9	-	-	-	-
エ. ごみ収集の場所を きちんと守っている	17 100.0	100.0	-	-	-	-	-
オ. 買い物の際、 買い物袋を持参している	17 100.0	64.7	29.4	5.9	-	-	-

本徳	全体	実 常 に し て い る	実 時 ど き に し て い る	実 今 後 は し た い	な 実 施 す る つ も り は	わ 実 施 し て い な い	無 回 答
ア. 無駄な買い物をしない、 再利用できるものはするなど ごみを減らしている	8 100.0	25.0	50.0	-	-	12.5	12.5
イ. 分別方法を理解して ごみを出している	8 100.0	75.0	12.5	-	12.5	-	-
ウ. ごみ収集の指定された曜日、 時間を守っている	8 100.0	75.0	-	-	-	12.5	12.5
エ. ごみ収集の場所を きちんと守っている	8 100.0	75.0	-	-	12.5	-	12.5
オ. 買い物の際、 買い物袋を持参している	8 100.0	62.5	12.5	12.5	-	-	12.5

乙部	全体	実 常 に し て い る	実 時 ど き に し て い る	実 今 後 は し た い	な 実 施 す る つ も り は	わ 実 施 し て い な い	無 回 答
ア. 無駄な買い物をしない、 再利用できるものはするなど ごみを減らしている	12 100.0	16.7	50.0	33.3	-	-	-
イ. 分別方法を理解して ごみを出している	12 100.0	75.0	25.0	-	-	-	-
ウ. ごみ収集の指定された曜日、 時間を守っている	12 100.0	100.0	-	-	-	-	-
エ. ごみ収集の場所を きちんと守っている	12 100.0	100.0	-	-	-	-	-
オ. 買い物の際、 買い物袋を持参している	12 100.0	83.3	-	16.7	-	-	-

亀首町	全体	実 常 に し て い る	実 時 ど き に し て い る	実 今 後 は し た い	な 実 施 す る つ も り は	わ 実 施 し て い な い	無 回 答
ア. 無駄な買い物をしない、 再利用できるものはするなど ごみを減らしている	26 100.0	46.2	34.6	7.7	-	3.8	7.7
イ. 分別方法を理解して ごみを出している	26 100.0	88.5	-	-	-	3.8	7.7
ウ. ごみ収集の指定された曜日、 時間を守っている	26 100.0	92.3	-	-	-	-	7.7
エ. ごみ収集の場所を きちんと守っている	26 100.0	92.3	-	-	-	-	7.7
オ. 買い物の際、 買い物袋を持参している	26 100.0	80.8	7.7	3.8	-	-	7.7

さなげ台	全体	実 常 に し て い る	実 時 ど き に し て い る	実 今 後 は し た い	な 実 施 す る つ も り は	わ 実 施 し て い な い	無 回 答
ア. 無駄な買い物をしない、 再利用できるものはするなど ごみを減らしている	39 100.0	41.0	43.6	12.8	-	2.6	-
イ. 分別方法を理解して ごみを出している	39 100.0	92.3	7.7	-	-	-	-
ウ. ごみ収集の指定された曜日、 時間を守っている	39 100.0	100.0	-	-	-	-	-
エ. ごみ収集の場所を きちんと守っている	39 100.0	100.0	-	-	-	-	-
オ. 買い物の際、 買い物袋を持参している	39 100.0	74.4	23.1	2.6	-	-	-

乙部ヶ丘第1	全体	実 常 に し て い る	実 時 ど き に し て い る	実 今 後 は し た い	な 実 施 す る つ も り は	わ 実 施 し て い な い	無 回 答
ア. 無駄な買い物をしない、 再利用できるものはするなど ごみを減らしている	31 100.0	41.9	45.2	9.7	-	-	3.2
イ. 分別方法を理解して ごみを出している	31 100.0	96.8	-	-	-	-	3.2
ウ. ごみ収集の指定された曜日、 時間を守っている	31 100.0	93.5	3.2	-	-	-	3.2
エ. ごみ収集の場所を きちんと守っている	31 100.0	96.8	-	-	-	-	3.2
オ. 買い物の際、 買い物袋を持参している	31 100.0	93.5	3.2	-	-	-	3.2

	全体	実施している	実施している	実施したい	実施するつもりはない	実施していない	無回答
29歳以下							
ア. 無駄な買い物をしない、再利用できるものはするなどごみを減らしている	100.0	33.3	66.7	-	-	-	-
イ. 分別方法を理解してごみを出している	100.0	100.0	-	-	-	-	-
ウ. ごみ収集の指定された曜日、時間を守っている	100.0	100.0	-	-	-	-	-
エ. ごみ収集の場所をきちんと守っている	100.0	100.0	-	-	-	-	-
オ. 買い物の際、買い物袋を持参している	100.0	100.0	-	-	-	-	-

	全体	実施している	実施している	実施したい	実施するつもりはない	実施していない	無回答
30歳代							
ア. 無駄な買い物をしない、再利用できるものはするなどごみを減らしている	20.0	40.0	30.0	25.0	-	-	5.0
イ. 分別方法を理解してごみを出している	20.0	95.0	-	-	-	-	5.0
ウ. ごみ収集の指定された曜日、時間を守っている	20.0	90.0	5.0	-	-	-	5.0
エ. ごみ収集の場所をきちんと守っている	20.0	95.0	-	-	-	-	5.0
オ. 買い物の際、買い物袋を持参している	20.0	85.0	10.0	-	-	-	5.0

	全体	実施している	実施している	実施したい	実施するつもりはない	実施していない	無回答
40歳代							
ア. 無駄な買い物をしない、再利用できるものはするなどごみを減らしている	23.0	17.4	60.9	13.0	-	8.7	-
イ. 分別方法を理解してごみを出している	23.0	87.0	8.7	-	4.3	-	-
ウ. ごみ収集の指定された曜日、時間を守っている	23.0	91.3	4.3	-	-	4.3	-
エ. ごみ収集の場所をきちんと守っている	23.0	95.7	-	-	4.3	-	-
オ. 買い物の際、買い物袋を持参している	23.0	91.3	8.7	-	-	-	-

	全体	実施している	実施している	実施したい	実施するつもりはない	実施していない	無回答
50歳代							
ア. 無駄な買い物をしない、再利用できるものはするなどごみを減らしている	65.0	35.4	46.2	16.9	-	-	1.5
イ. 分別方法を理解してごみを出している	65.0	89.2	7.7	-	-	1.5	1.5
ウ. ごみ収集の指定された曜日、時間を守っている	65.0	98.5	-	-	-	-	1.5
エ. ごみ収集の場所をきちんと守っている	65.0	98.5	-	-	-	-	1.5
オ. 買い物の際、買い物袋を持参している	65.0	73.8	18.5	6.2	-	-	1.5

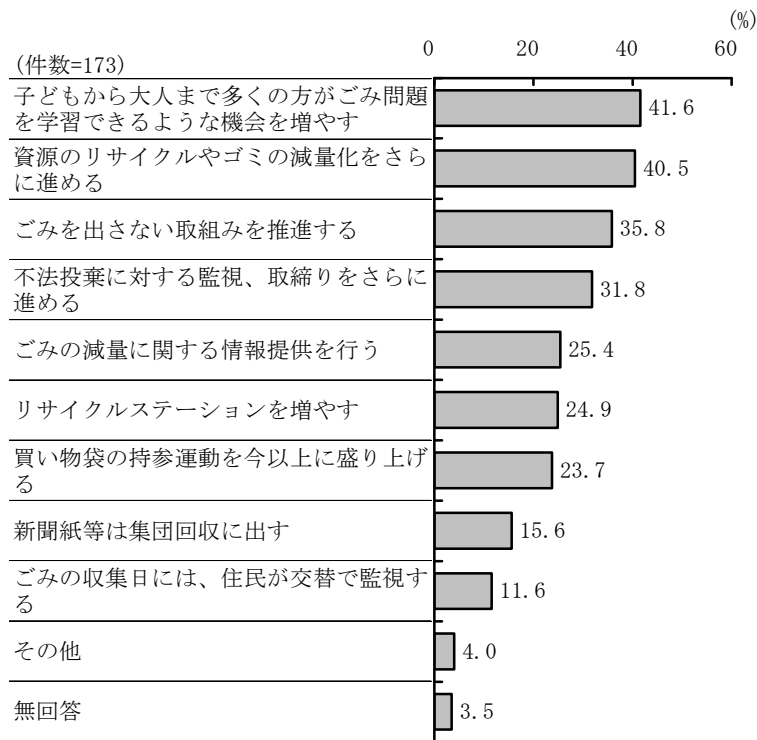
	全体	実施している	実施している	実施したい	実施するつもりはない	実施していない	無回答
60歳代							
ア. 無駄な買い物をしない、再利用できるものはするなどごみを減らしている	55.0	41.8	41.8	9.1	-	1.8	5.5
イ. 分別方法を理解してごみを出している	55.0	90.9	1.8	1.8	-	-	5.5
ウ. ごみ収集の指定された曜日、時間を守っている	55.0	92.7	1.8	-	-	-	5.5
エ. ごみ収集の場所をきちんと守っている	55.0	94.5	-	-	-	-	5.5
オ. 買い物の際、買い物袋を持参している	55.0	80.0	10.9	3.6	-	-	5.5

	全体	実施している	実施している	実施したい	実施するつもりはない	実施していない	無回答
70歳以上							
ア. 無駄な買い物をしない、再利用できるものはするなどごみを減らしている	6.0	100.0	-	-	-	-	-
イ. 分別方法を理解してごみを出している	6.0	100.0	-	-	-	-	-
ウ. ごみ収集の指定された曜日、時間を守っている	6.0	100.0	-	-	-	-	-
エ. ごみ収集の場所をきちんと守っている	6.0	100.0	-	-	-	-	-
オ. 買い物の際、買い物袋を持参している	6.0	100.0	-	-	-	-	-

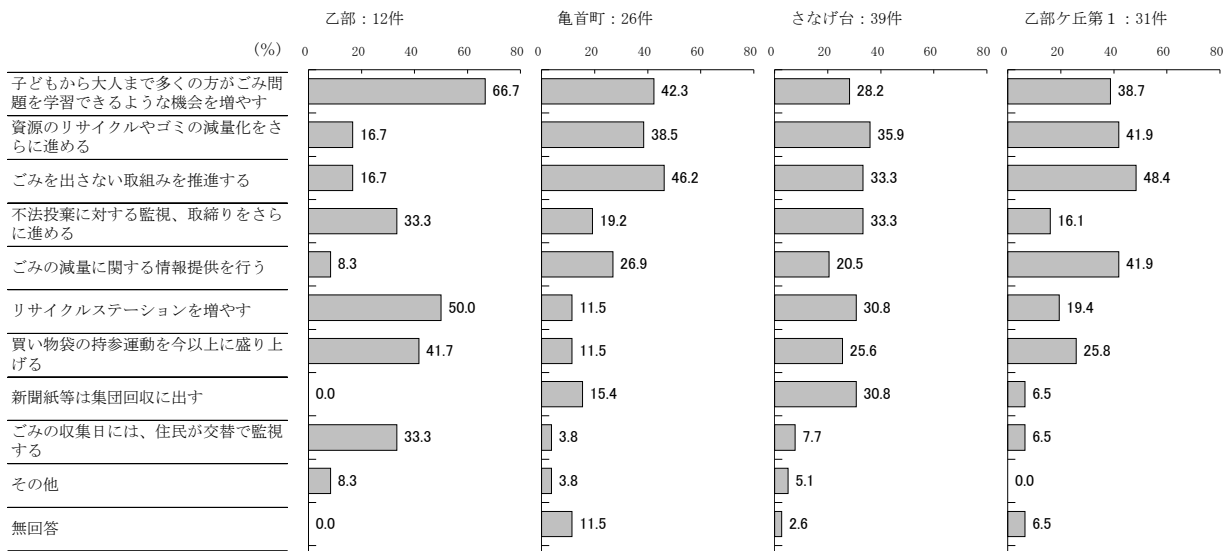
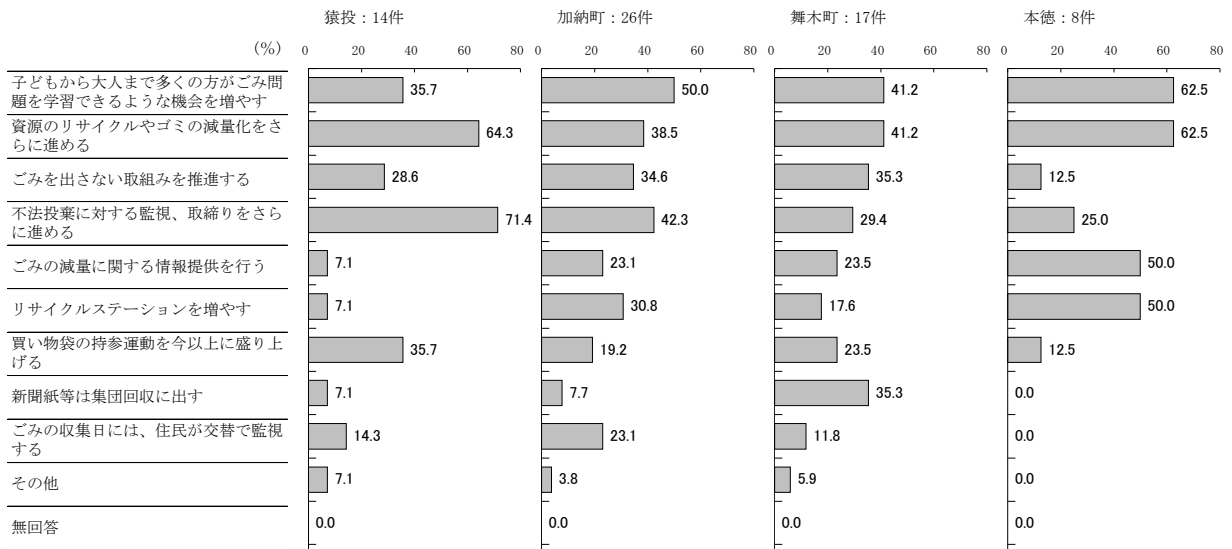
### 7-3 ごみ問題に対する必要な取り組み

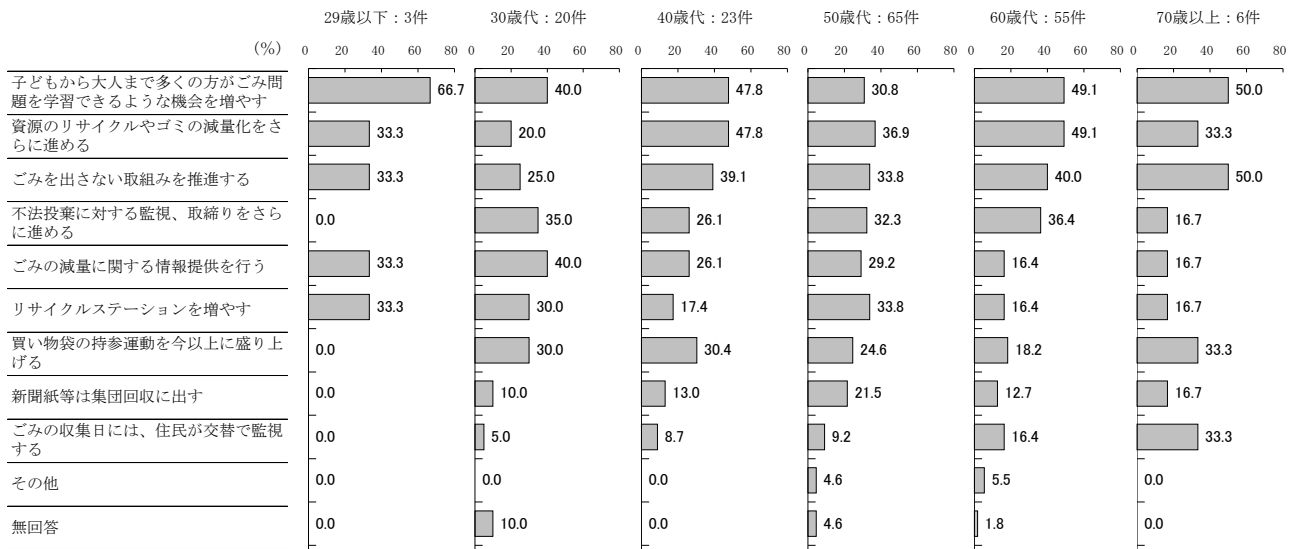
問 23 あなたは、ごみ問題に対して、どのような取り組みが必要だと思いますか。

(○は3つまで)



- ごみ問題に対する必要な取り組みについては、「子どもから大人まで多くの方がごみ問題を学習できるような機会を増やす」が 41.6%で最も多く、次いで「資源のリサイクルやごみの減量化をさらに進める」が 40.5%、「ごみを出さない取り組みを推進する」が 35.8%、「不法投棄に対する監視、取締りをさらに進める」が 31.8%、「ごみの減量に関する情報提供を行う」が 25.4%、「リサイクルステーションを増やす」が 24.9%となっています。





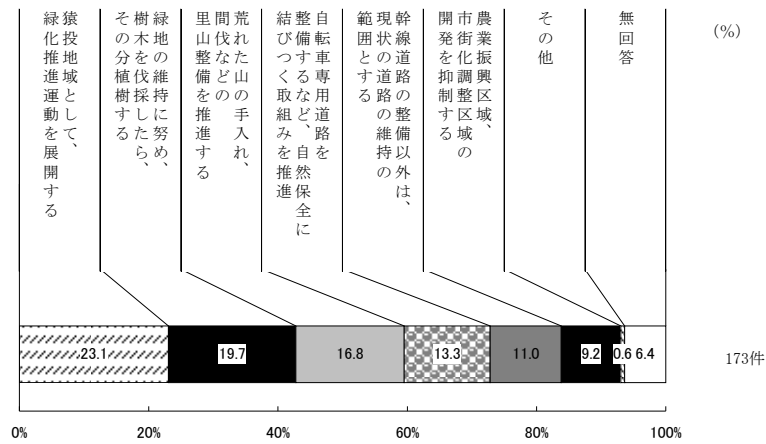
- 年代別でみると、「子どもから大人まで多くの方がごみ問題を学習できるような機会を増やす」は「29歳代」(66.7%)が最も多くなっています。「資源のリサイクルやごみの減量化をさらに進める」は「60歳代」(49.1%)、「40歳代」(47.8%)で多くなっています。「ごみを出さない取組みを推進する」は「70歳以上」(50.0%)で最も多くなっています。

## 8 自然豊かなまちの維持について

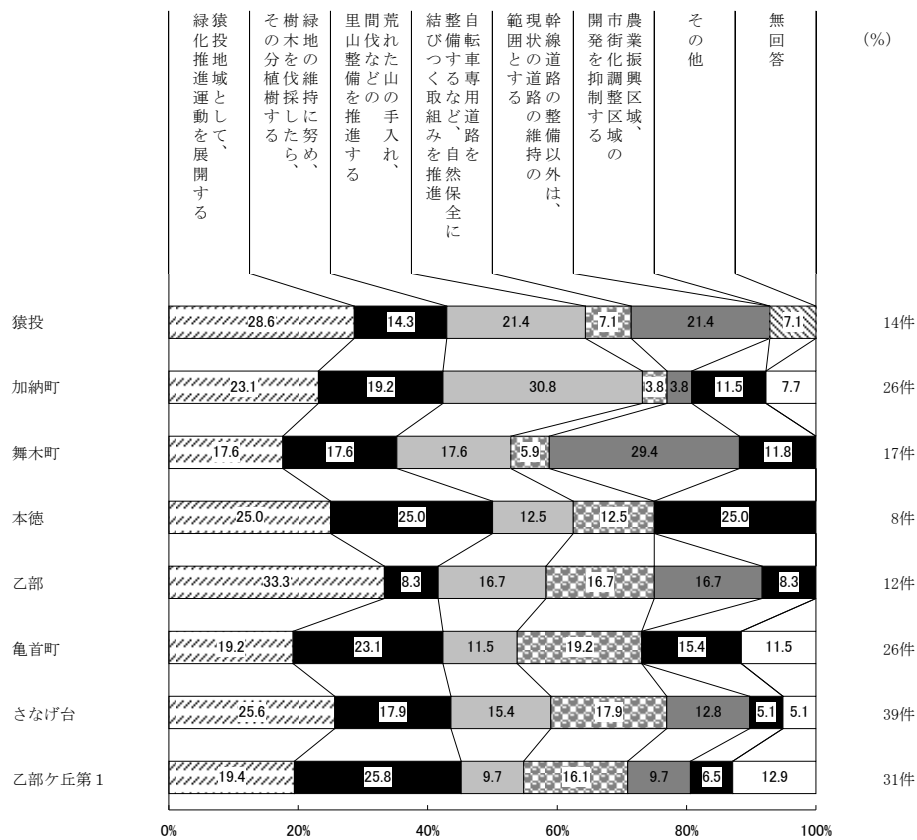
### 8-1 豊かな自然を維持するために必要な取り組み

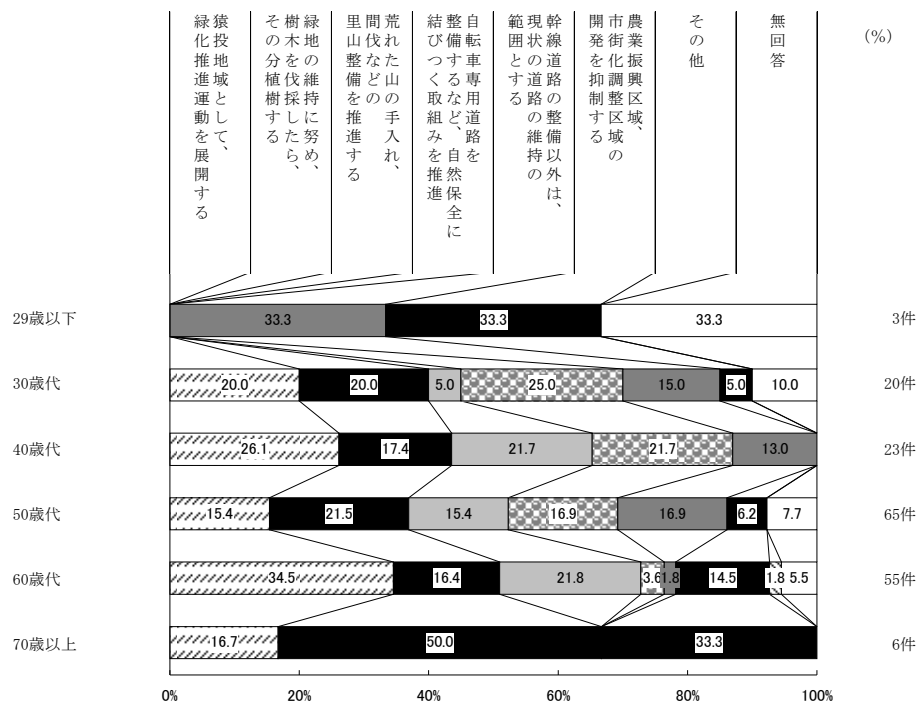
問 24 あなたは、この地域の豊かな自然を維持するために、何が必要と考えますか。

(○は1つだけ)



- 地域の豊かな自然維持のために必要だと思うことについては、「猿投地域として、緑化推進運動を展開する」が23.1%で最も多くなっています。次いで「緑地の維持に努め、樹木を伐採したら、その分植樹する」(19.7%)、「荒れた山の手入れ、間伐などの里山整備を推進する」(16.8%)となっています。





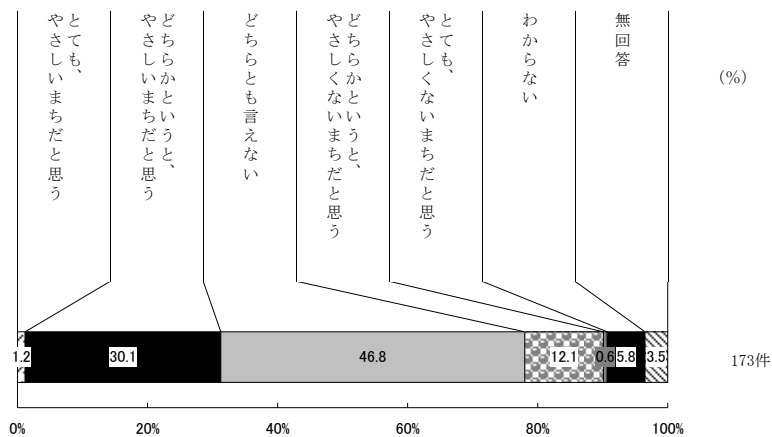
- 年代別で見ると、「猿投地域として、緑化推進運動を展開する」は「60歳代」(34.5%)で最も多くなっています。「緑地の維持に努め、樹木を伐採したら、その分植樹する」は70歳以上(50.0%)で最も多くなっています。

## 9 高齢者にやさしいまちづくりについて

### 9-1 高齢者にやさしいまちであるか

問 25 あなたの住む自治区は、高齢者にやさしいまちだと思いますか。

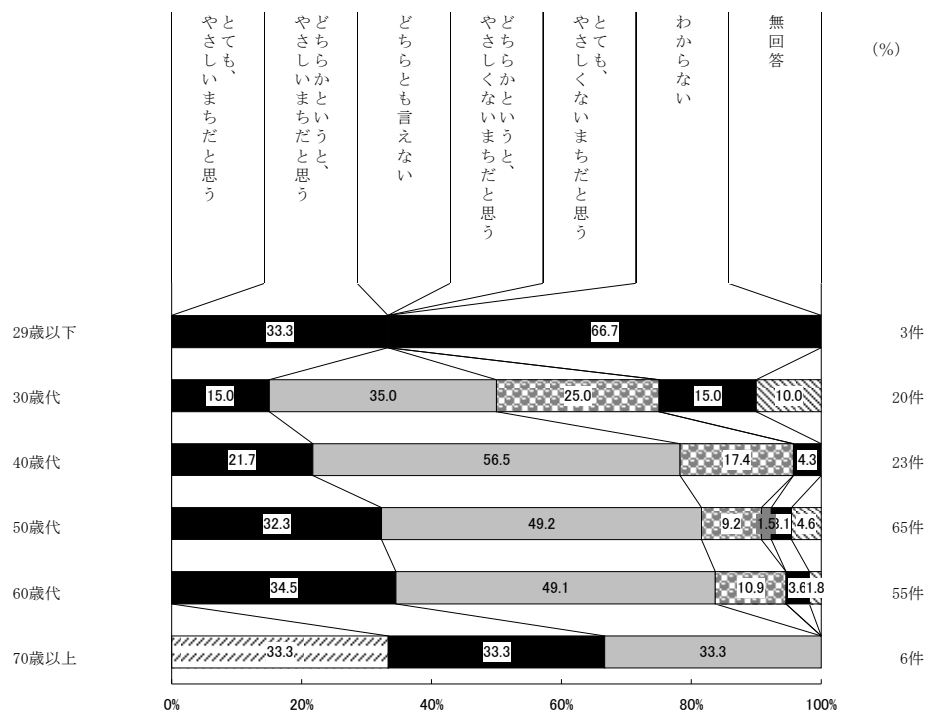
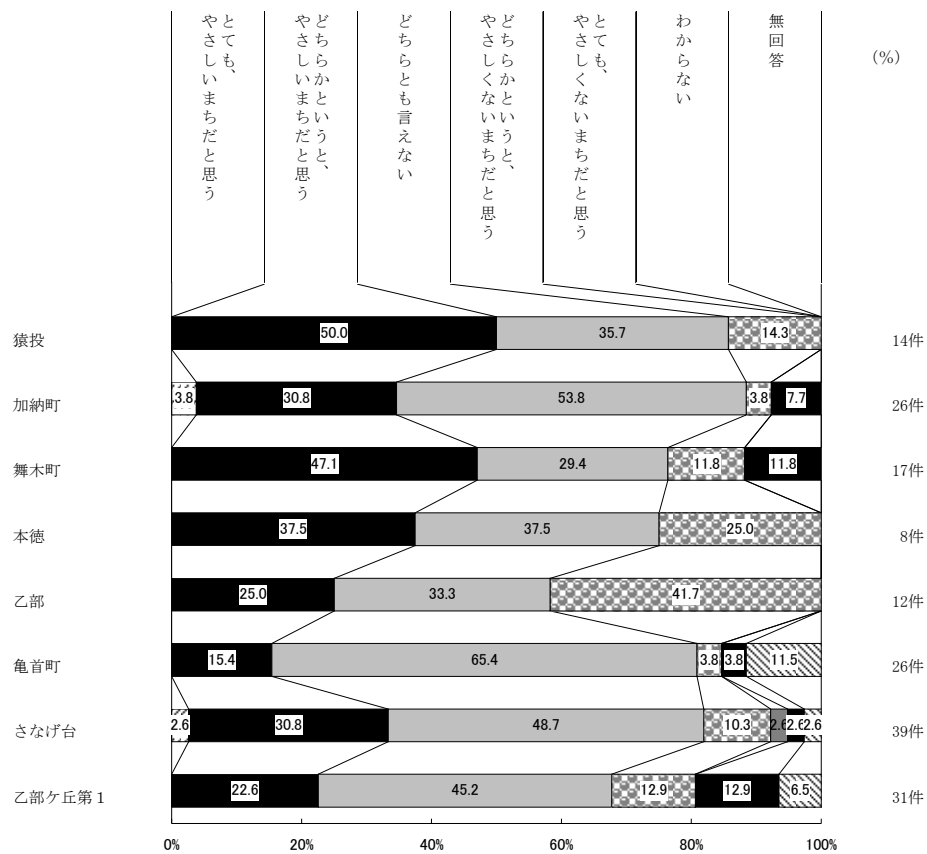
(○は1つだけ)



- 高齢者にやさしいまちであるかについては、『やさしいまちだと思う※1』が 31.3% となっていて、『やさしいまちだと思わない※2』は 12.7% となっています。一方、「どちらとも言えない」は 46.8% となっています。

※1 「とてもやさしいまちだと思う」「どちらかというと、やさしいまちだと思う」の計

※2 「どちらかというと、やさしくないまちだと思う」「とてもやさしくないまちだと思う」の計



● 年代別でみると、『やさしいまちだと思ふ※1』は70歳以上(66.6%)で最も多くなっています。

※1 「とてもやさしいまちだと思ふ」「まあまあやさしいまちだと思ふ」の計

9-2 「やさしい」または「やさしくない」と思う理由(具体的な意見)

問 26 「やさしい」または「やさしくない」と思う理由について、具体的にお書きください。

- 「やさしい」または「やさしくない」と思う理由をたずねたところ、53 件の意見が得られました。以下に主な意見を掲載します。

◆ 「やさしい」と思う理由

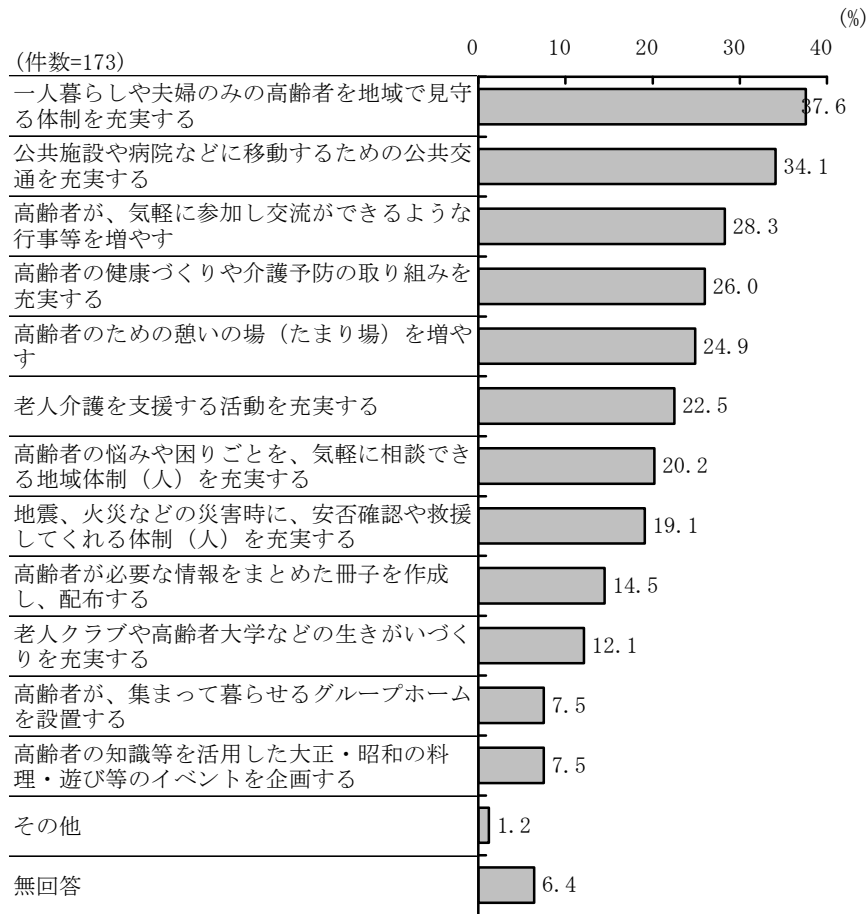
内容	
・ 自治区主催の各種行事に参加者が多く、喜ばれている。若者が高齢者に対し、声掛けをする。	
・ 豊田市は医療面、福祉面が他の市町村より恵まれていると思う。	
・ 地域でのふれあいが有り、運動を通じてコミュニケーションも有る。	
・ 地域コミュニティが確立している。自然な形で声掛けがなされている。	
・ 老人クラブが充実していて励まし、助け合い、有意義な活動をしていると思う。	
・ 色々な行事でも、まず高齢者のことを考えている	
・ 自治区も高齢者が多くなり、3世代で協力しあっている	
・ 高齢者へのイベント、福祉事業が比較的できている	など

◆ 「やさしくない」と思う理由

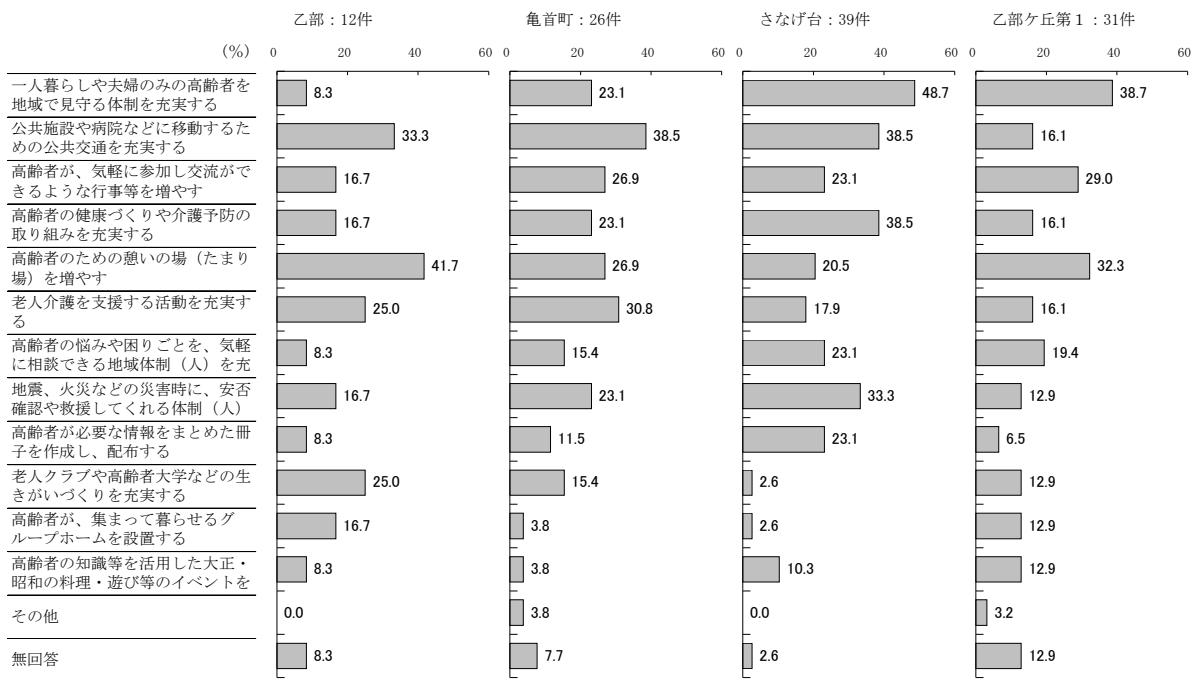
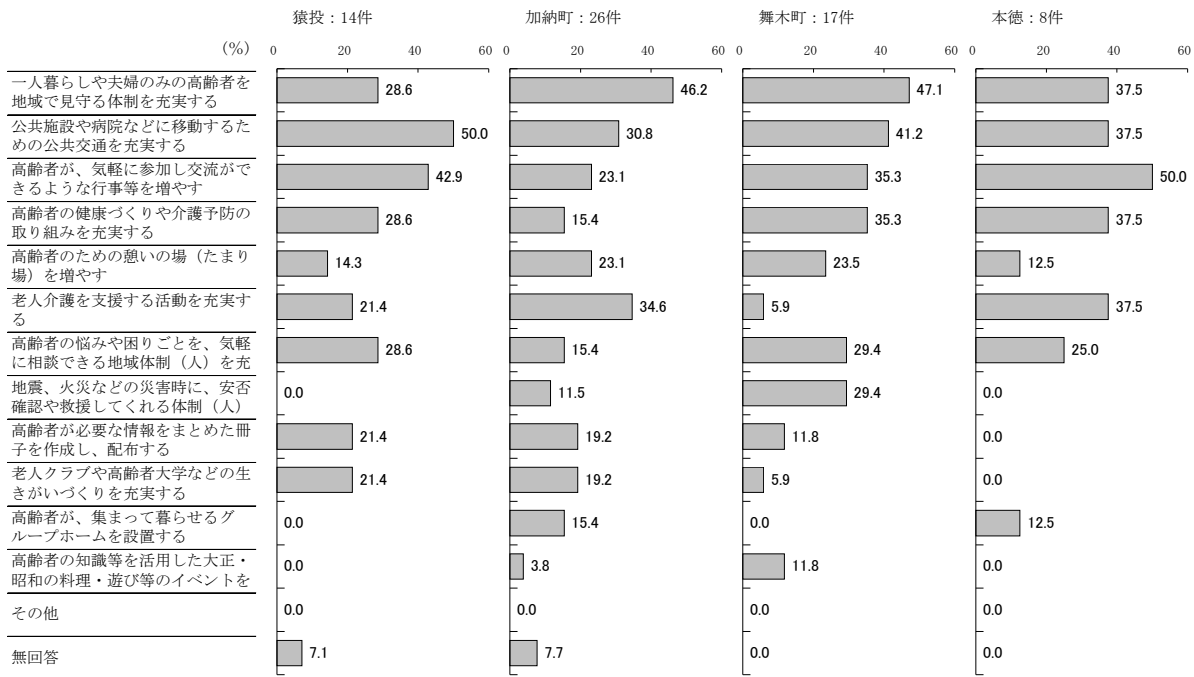
内容	
・ 道が狭く高齢者にとっては歩くことも怖いと思うから。	
・ 交通が不便。	
・ 生活道路と通過道路が一緒になっている。	
・ 必要な場所に「高齢者対等」がない。	
・ 病院に直通バスがない、バス停が遠い。	
・ 高齢者の1人暮らしが増えてきているが、自治活動をどのようにしていったらいいのか話し合いもされない。	など

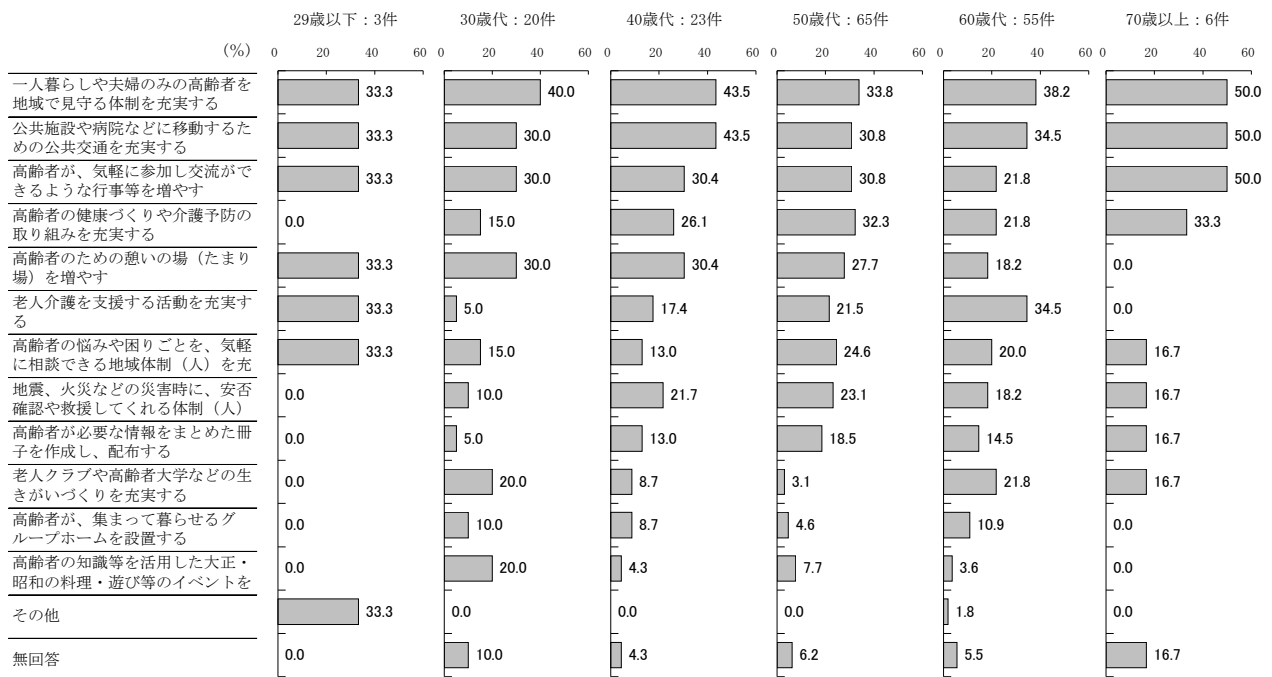
### 9-3 高齢者の安心な暮らしのために必要なこと

問 27 高齢者が安心して暮らしていくためには、猿投地域で、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)



- 高齢者が安心して暮らしていくために必要なことについては、「一人暮らしや夫婦のみの高齢者を地域で見守る体制を充実する」が 37.6%で最も多く、次いで「公共施設や病院などに移動するための公共交通を充実する」が 34.1%、「高齢者が、気軽に参加し交流ができるような行事等を増やす」が 28.3%、「高齢者の健康づくりや介護予防の取り組みを充実する」が 26.0%となっています。





- 年代別でみると、「一人暮らしや夫婦のみの高齢者を地域で見守る体制を充実する」、「公共施設や病院などに移動するための公共交通を充実する」、「高齢者が、気軽に参加し交流ができるような行事等を増やす」では「70歳以上」が50.0%で最も多くなっています。

## 10 猿投地域のまちづくりについて

### 10-1 猿投地域のまちづくりについての意見

猿投地域のまちづくりに関して、ご意見がありましたらお書きください。

- 地域のまちづくりについてたずねたところ、40件の意見が得られました。以下に主な意見を掲載します。

各種の地域活動・コミュニティについて
・わくわく事業は、地域社会づくりのため、継続してください。
・全員参加の行事を増やす
・猿投地域全体で1つの基本をつくり、全員・全体で行われる事業を計画すると良い。
・新興住宅の乙部ヶ丘第1と他地域の交流の温度差が大きい。お互い良い所を持ち合わせた交流をすると良い。 など

道路交通環境について
・行政管理区域外道路（通学路）舗装工事、路肩補修工事でも対応していただきたい。林道等の赤道の付替可能な臨機応変な対応を望む（改革要）。
・県道を通行する車の速度が早く、急カーブでの危険があるためにスピード取締りを旧道または市道・中切金山線にて実施してほしい。
・さなげ台団地内のことですが、路上駐車が多く、なんとかしないと事故が発生する恐れあり。歩道が狭い（ない）自転車で走りにくいため、改善が必要だと思う。
・道交法が改定され、自転車は軽車両、車道を走行。車道が安心して走行できるよう道路の整備を早急に実施してほしい。
・歩道が雑草等で十分な幅が確保していない。学生など通学時かわいそうです。歩道の保全強化。幹線道路にある横断歩道に押しボタン信号を設置してほしい。 など

防犯・防災・交通安全に対する取り組みについて
・交通弱者のための交通手段を優先的に考えてほしい。
・猿投地域として考えれば、猿投に住んでいる人、働きにくる人、勉強にくる人、色々とあると思います。双方共に「猿投はいい所だね」と言える、まちづくりが必要。1番は安全、安心と思います。一人一人が防犯の目を持てば地域として良くなっていく。おはよう、こんにちは、ありがとう、やっぱり挨拶運動からではないでしょうか。
・自治区内の危険な道路に対して、自治区で出来ることではないかと思うので、区民に気になる箇所をアンケートに書いてもらい、それに対し適切、かつ迅速に対応した方が良いと思う。
・子供から高齢者まで安心して暮らせる街づくりをお願いします。安全第一！ など





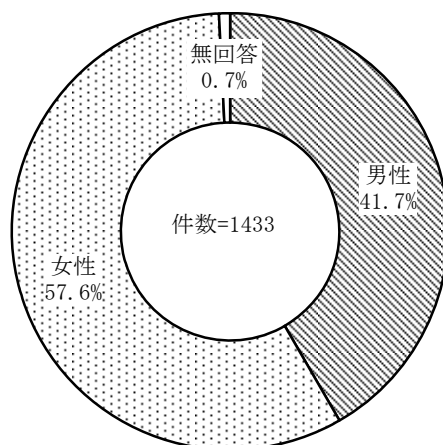
【平成 18 年度分】



# 1 回答者の属性

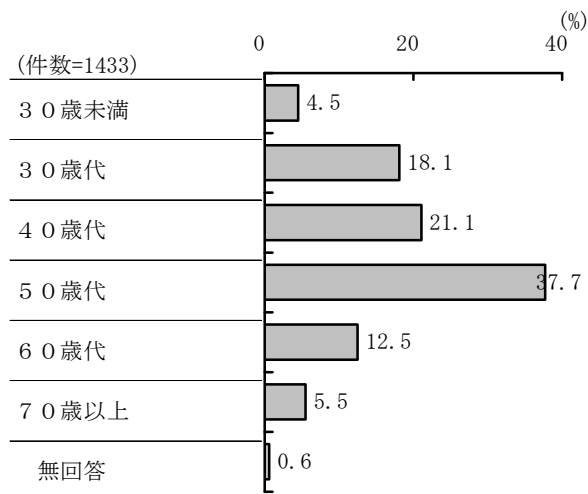
## 1-1 性別

- 調査回答者の性別については、「男性」が41.7%、「女性」が57.6%となっています。



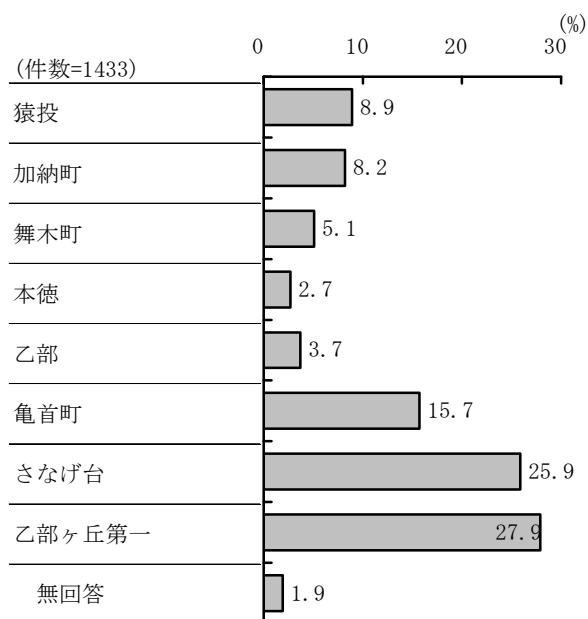
## 1-2 年代

- 調査回答者の年代については、「50 歳代」(37.7%)が最も多く、次いで「40 歳代」(21.1%)、「30 歳代」(18.1%)、「60 歳代」(12.5%)となっており、「30 歳未満」の回答は4.5%と少なくなっています。



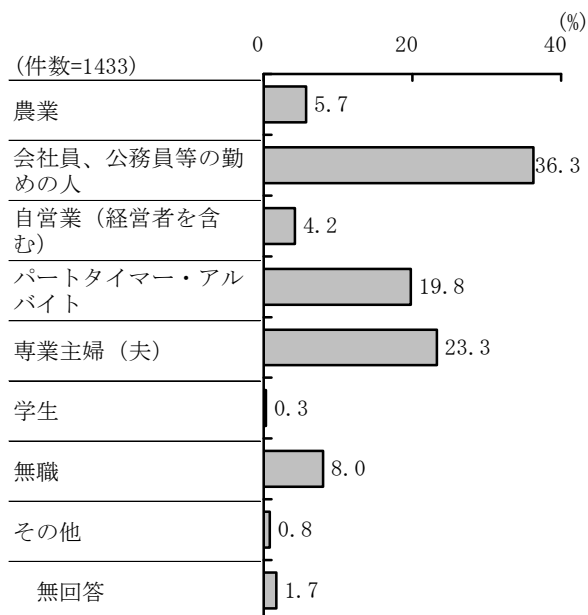
### 1-3 自治区

- 居住している自治区については、「乙部ヶ丘第一」(27.9%)が最も多く、次いで「さなげ台」(25.9%)、「亀首町」(15.7%)、「猿投」(8.9%)、「加納町」(8.2%)と続き、「本徳」が2.7%で最も少なくなっています。



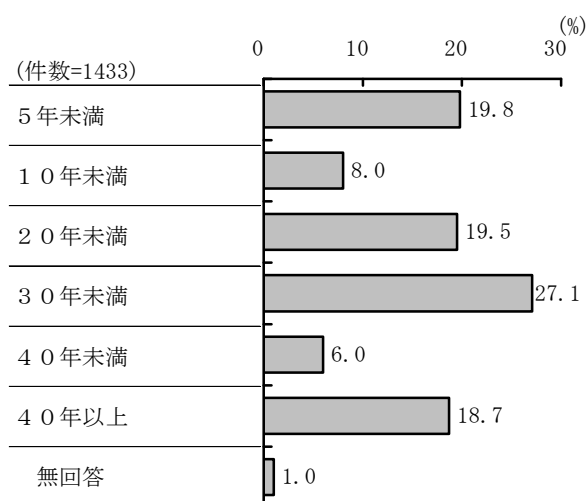
### 1-4 職業

- 職業については、「会社員、公務員等の勤め人」(36.3%)が最も多く、次いで「専業主婦」(23.3%)、「パートタイマー・アルバイト」(19.8%)となっています。



## 1-5 猿投地域での居住年数

- 猿投地域での居住年数については、「30年未満」(27.1%)が最も多く、次いで「5年未満」(19.8%)、「20年未満」(19.5%)、「40年以上」(18.7%)となっています。



## 2 猿投地域の印象について

### 2-1 猿投地域の誇りと思うこと（具体的な意見）

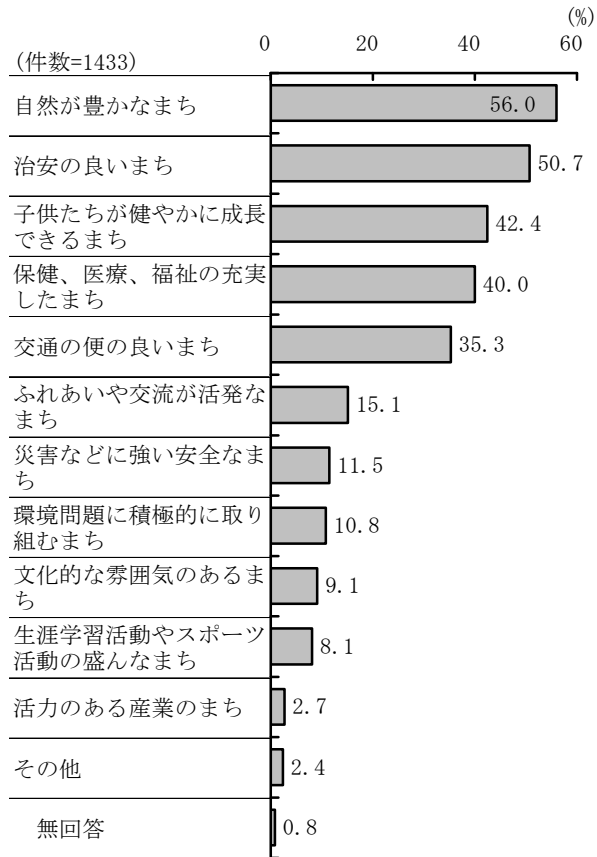
問1 猿投地域の「誇り」と思うことは何ですか（具体的な事柄、名称、場所等）

- 誇りと思うことをたずねたところ、1,467 件の意見が得られました。以下に主な意見を掲載します。

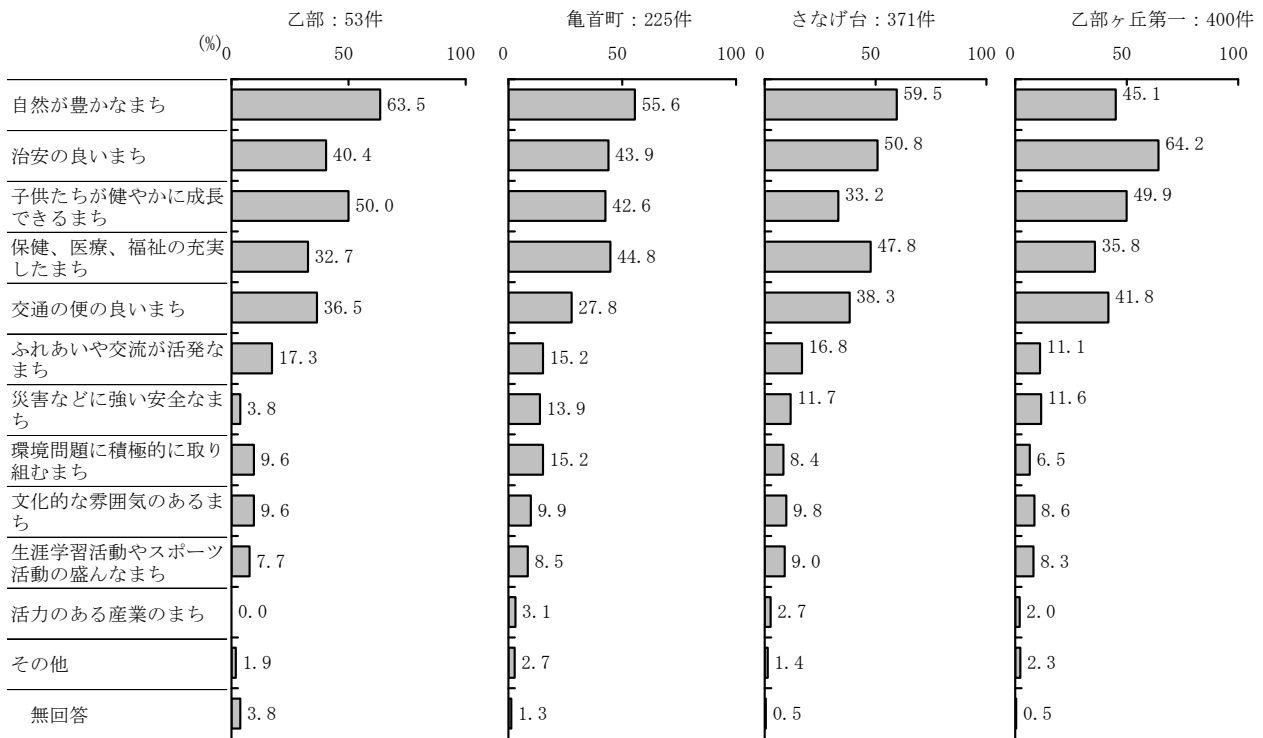
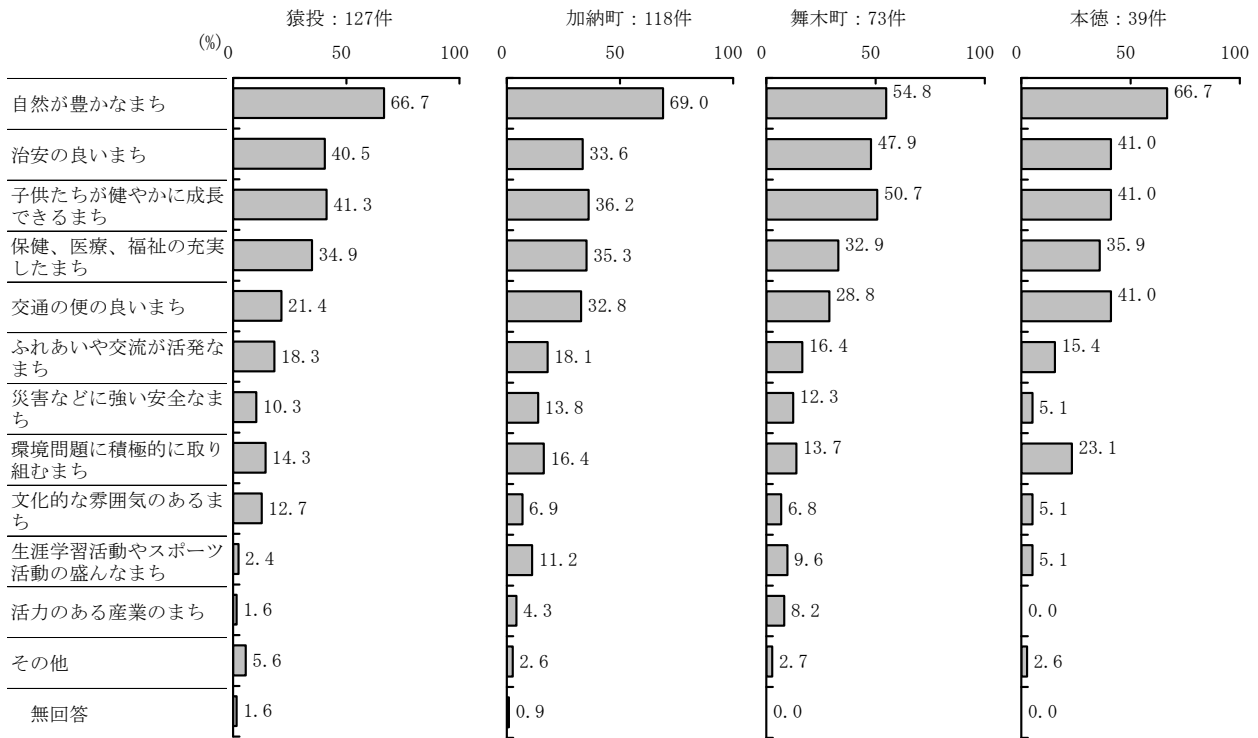
分野	回答数	具体的な回答
自然	620	猿投山周辺の自然、桃源郷
歴史	353	猿投神社
農産物	270	桃、梨、柿
行事	110	棒の手
その他	56	静かで住みやすい、グリーンロード、MAG ロード
観光	39	猿投温泉
人柄	19	子供が素直、人間が優しい

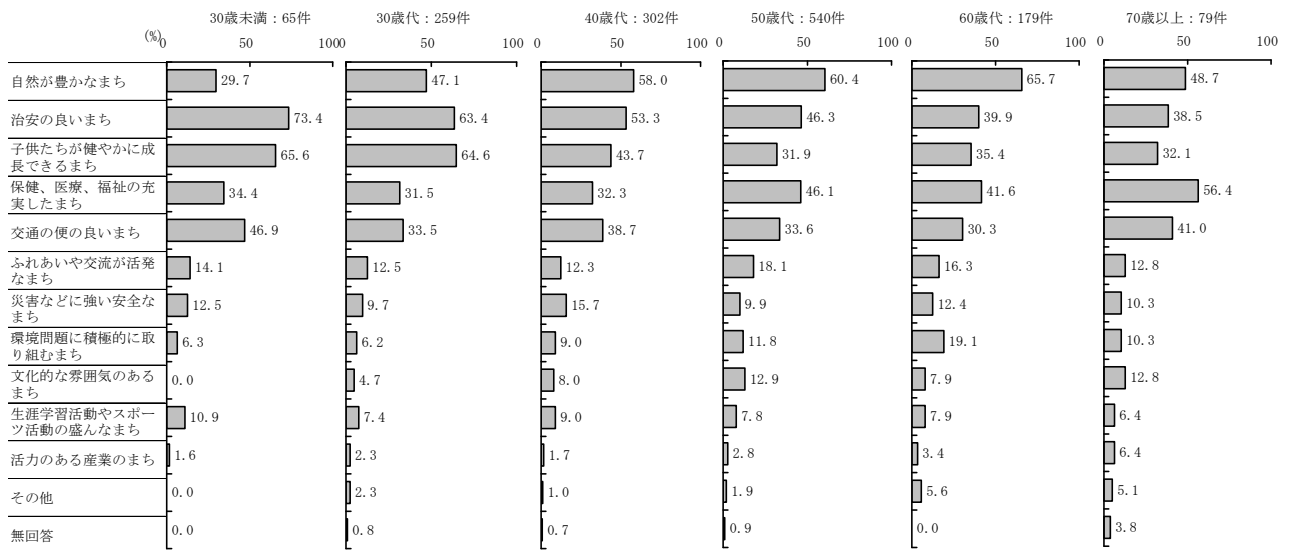
## 2-2 猿投地域の10年後の将来像

問2 あなたは、この地域の10年後の将来像としてどのようなまちを望みますか。(どのようなまちで暮らしたいと思いますか。) (〇は3つまで)



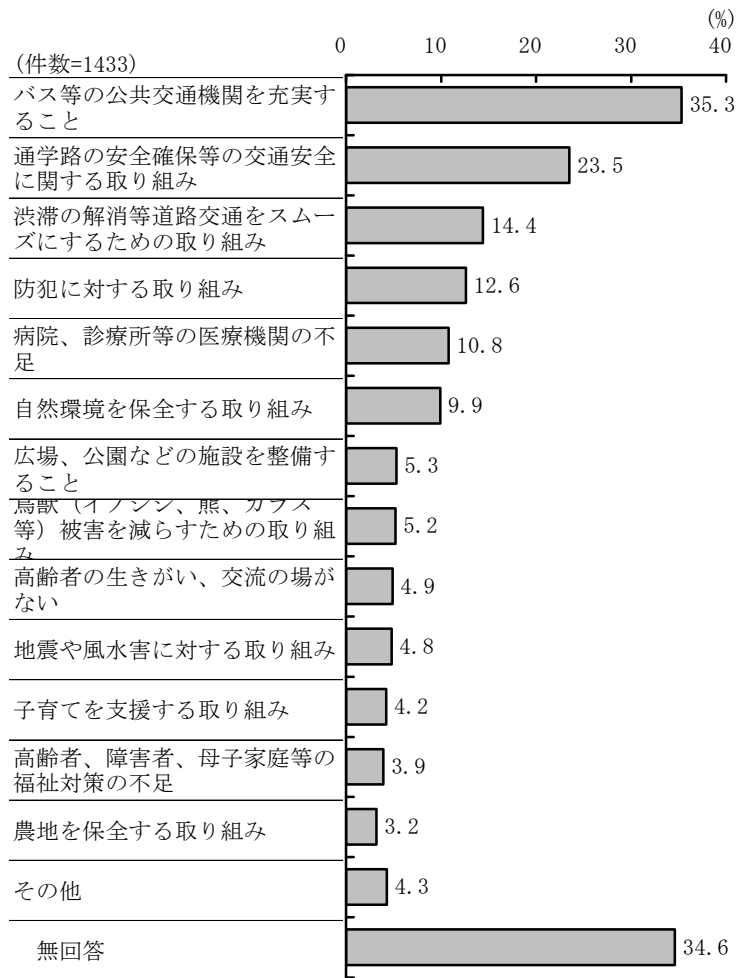
- この地域の10年後にどのような将来像を望んでいるかたずねたところ、「自然が豊かなまち」が56.0%と最も多く、次いで、「治安の良いまち」が50.7%、「子供たちが健やかに成長できるまち」が42.4%、「保健、医療、福祉の充実したまち」が40.0%、「交通の便の良いまち」が35.3%と続いている。





### 2-3 猿投地域の課題、問題点

問3 あなたは、この地域の課題・問題点はどんな事だと思いますか。(〇は3つまで)



- この地域の課題・問題点についてたずねたところ、「バス等の公共交通機関を充実すること」が35.3%と最も多く、次いで「通学路の安全確保等の交通安全に関する取り組み」が23.5%、「渋滞の解消等道路交通をスムーズにするための取り組み」が14.4%、「防犯に対する取り組み」が12.6%、「病院、診療所等の医療機関の不足」が10.8%と続いています。

## 2-4 猿投地域の課題、問題点(具体的な意見)

問3 この地域の課題・問題点として選んだ理由は何ですか。(具体的に気付いた事柄、場所等を記入してください。)

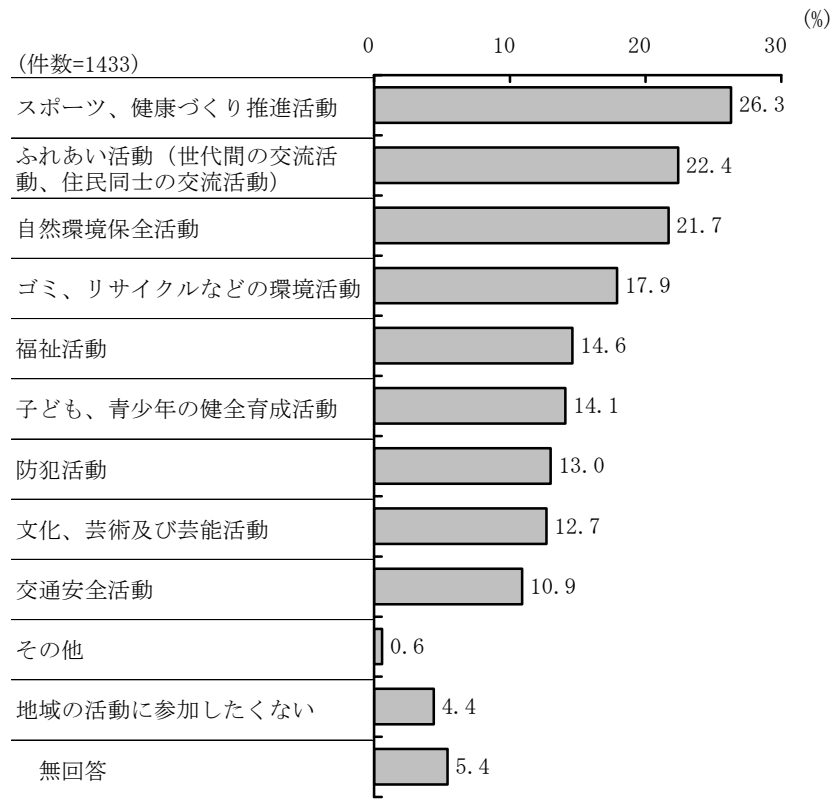
- この地域の課題・問題点として具体的に気づいた事柄、場所等について回答が多かった上位5項目の主な意見を掲載します。

バス等の公共交通機関を充実すること	○バスが少ない。 ○高齢者の交通手段がない。 など
通学路の安全確保等の交通安全に関する取り組み	○猿投中学校までの通学路を安全に。 ○四郷小学校への通学路が危険 など
渋滞の解消等道路交通をスムーズにするための取り組み	○419号線の渋滞。 ○朝夕に渋滞が集中する。 など
防犯に対する取り組み	○防犯灯が少ない。 ○空き巣の増加。 など
病院、診療所等の医療機関の不足	○総合病院が無い。 ○近くに病院が無い。 など

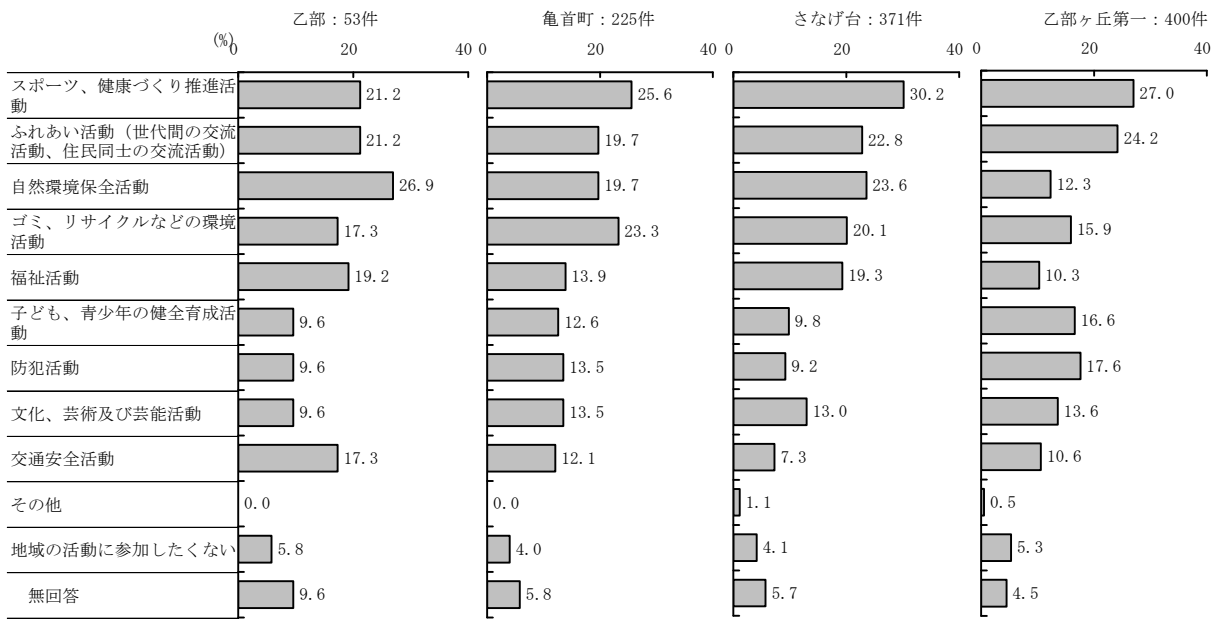
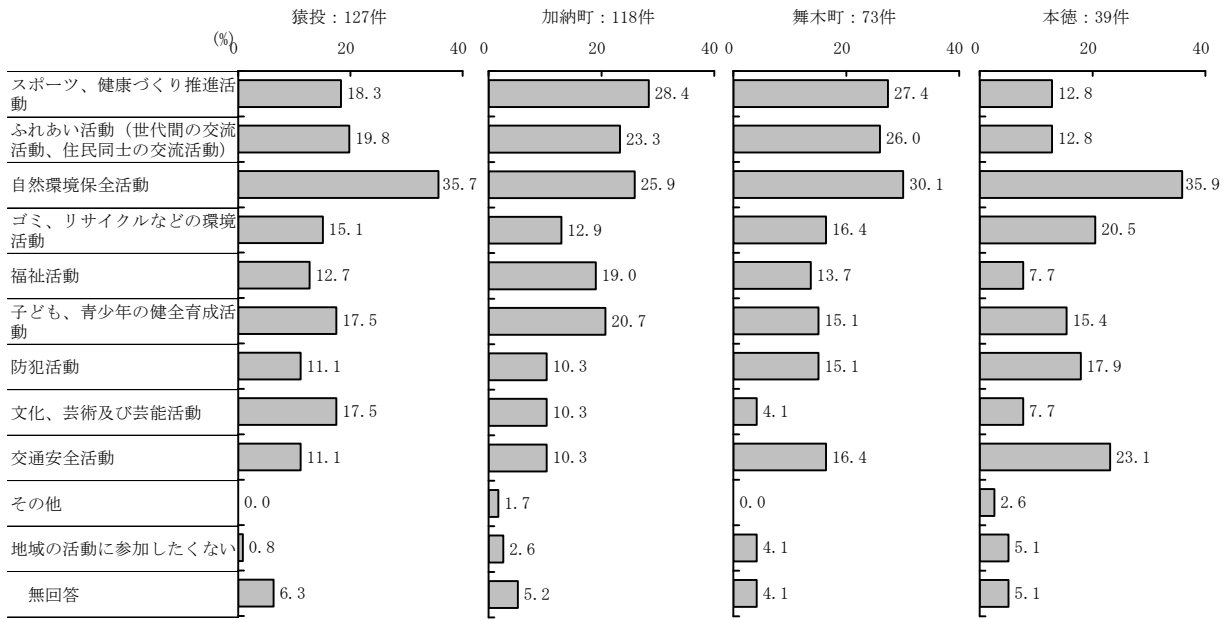
## 2-5 地域活動への参加意向

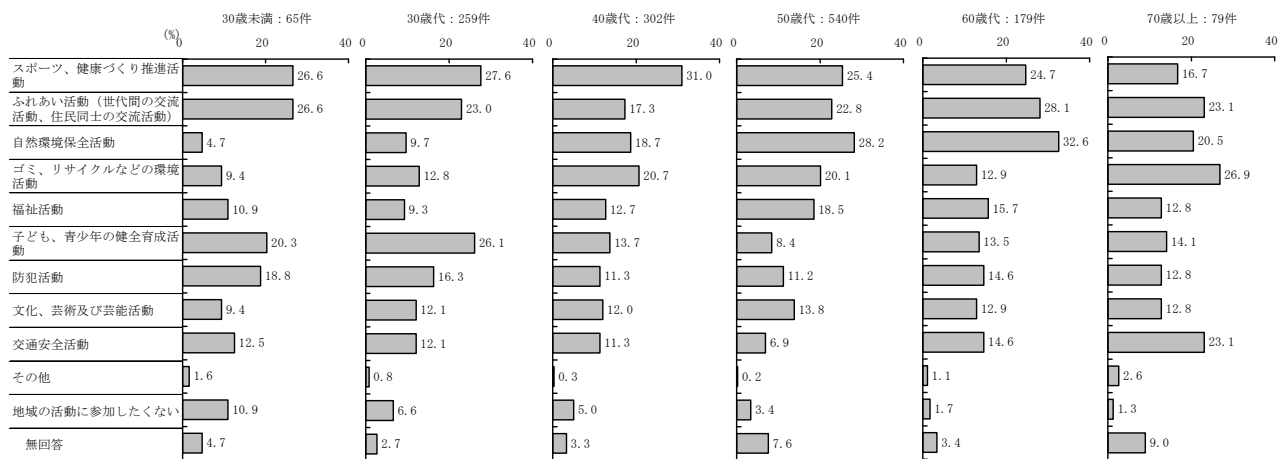
問4 あなたは、地域の活動に参加するとしたら、どんな分野に参加したいですか。

(あてはまるものすべてに○)



- 地域活動への参加意向については、「スポーツ、健康づくり推進活動」が 26.3%で最も多く、次いで「ふれあい活動（世代間の交流活動、住民同士の交流活動）」が 22.4%、「自然環境保全活動」が 21.7%、「ゴミ、リサイクルなどの環境活動」が 17.9%、「福祉活動」が 14.6%、「子ども、青少年の健全育成活動」が 14.1%、「防犯活動」が 13.0%となっています。



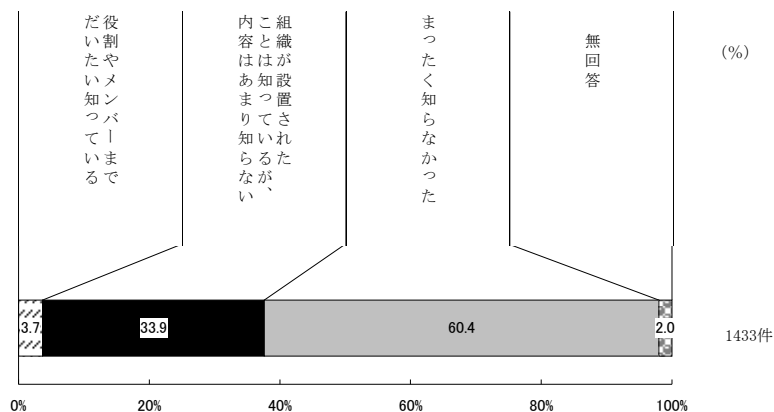


### 3 猿投地域会議について

#### 3-1 猿投地域会議の認知度

問5 あなたは、猿投地域会議についてどの程度知っていますか。

(○は1つだけ)

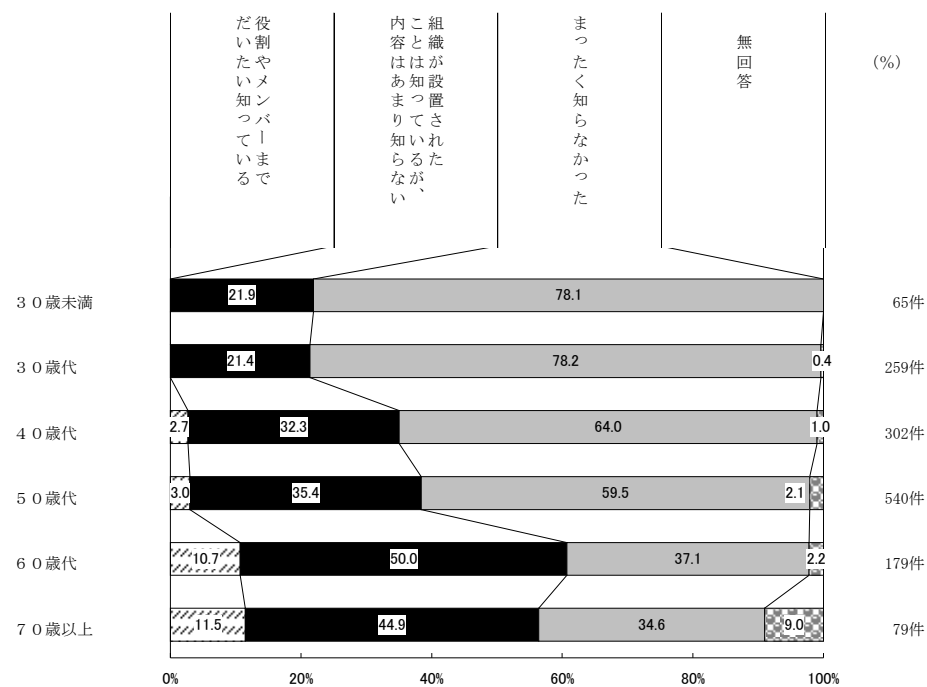
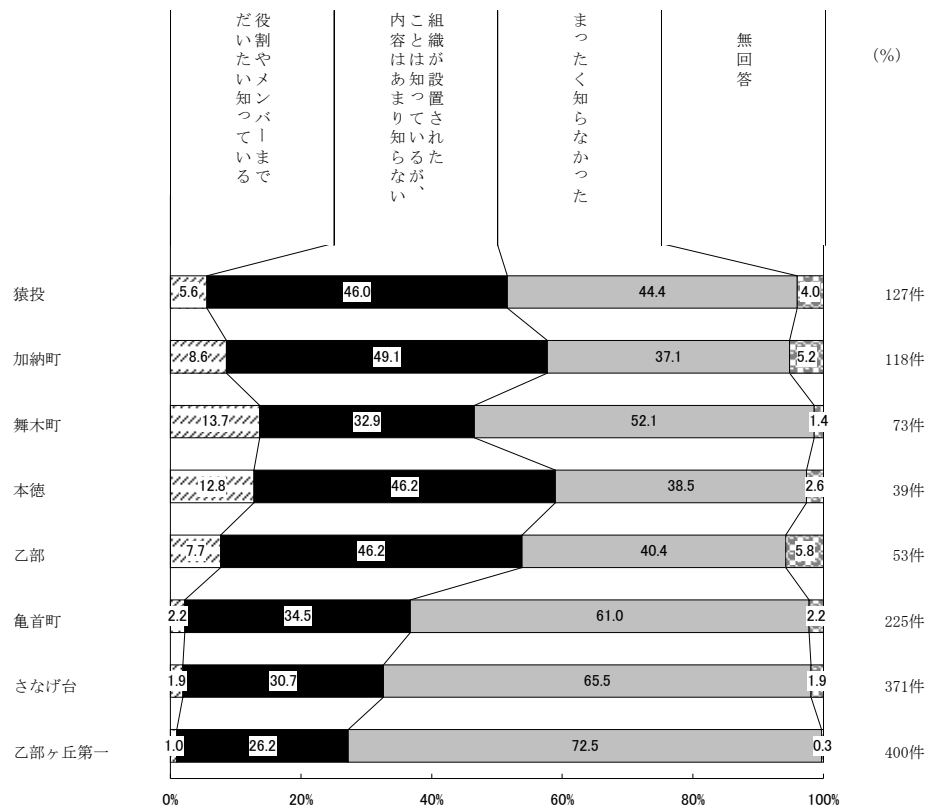


- 「まったく知らなかった」は60.4%と3人中2人は知らないとなっています。知っている人は37.6%（認知度※）で、うち、「役割やメンバーまでだいたい知っている」が3.7%と認知度は非常に低いことがうかがえます。

※「役割やメンバーまでだいたい知っている」「組織が設置されたことは知っているが、内容はあまり知らない」の計

#### 猿投地域会議とは

地域会議の主な役割は、①地域の課題解消に向けて住民参加のもと解決策を検討 ②市長からの諮問に対する審議・答申 ③わくわく事業の審査 ④情報(地域会議だよりなど)の発信です。

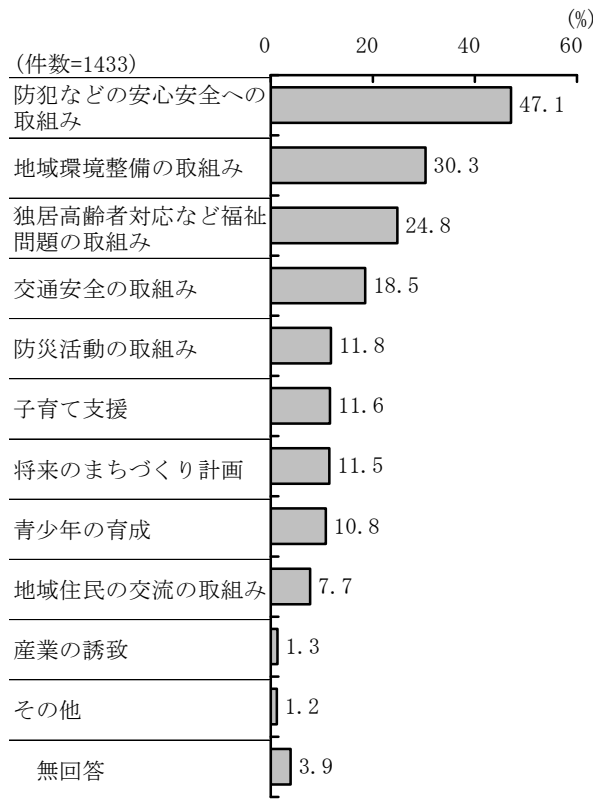


● 年代別で見ると、『猿投地域会議の認知度※』は年代が高くなるほど割合が高く、60歳代で60.7%となっています。

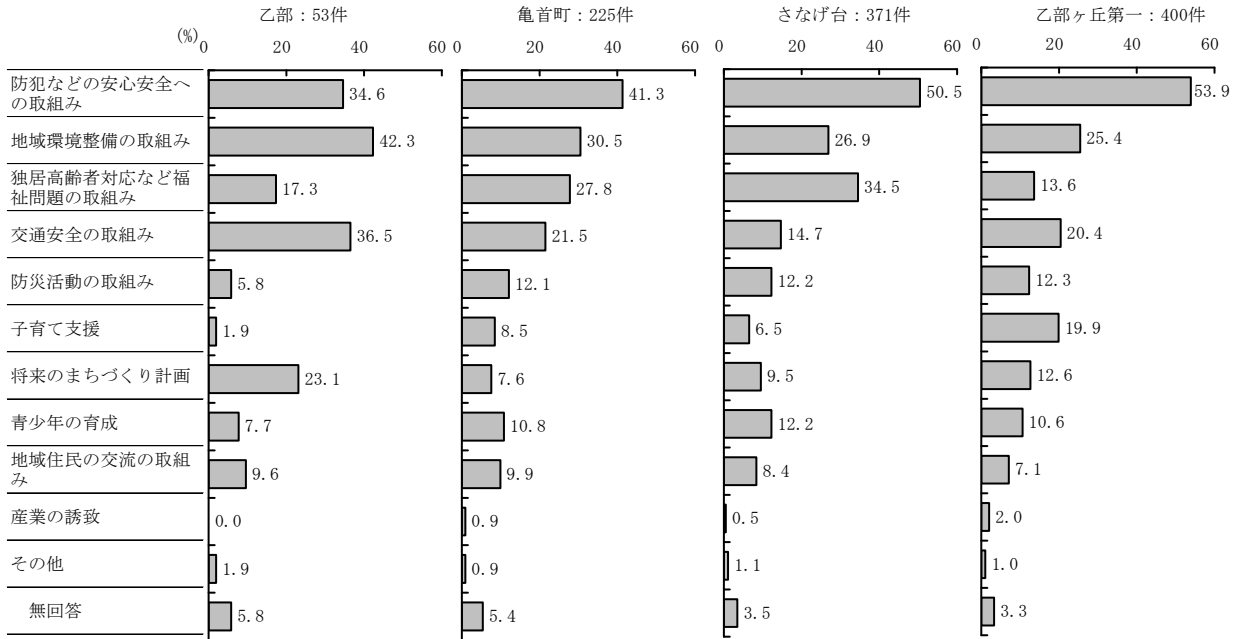
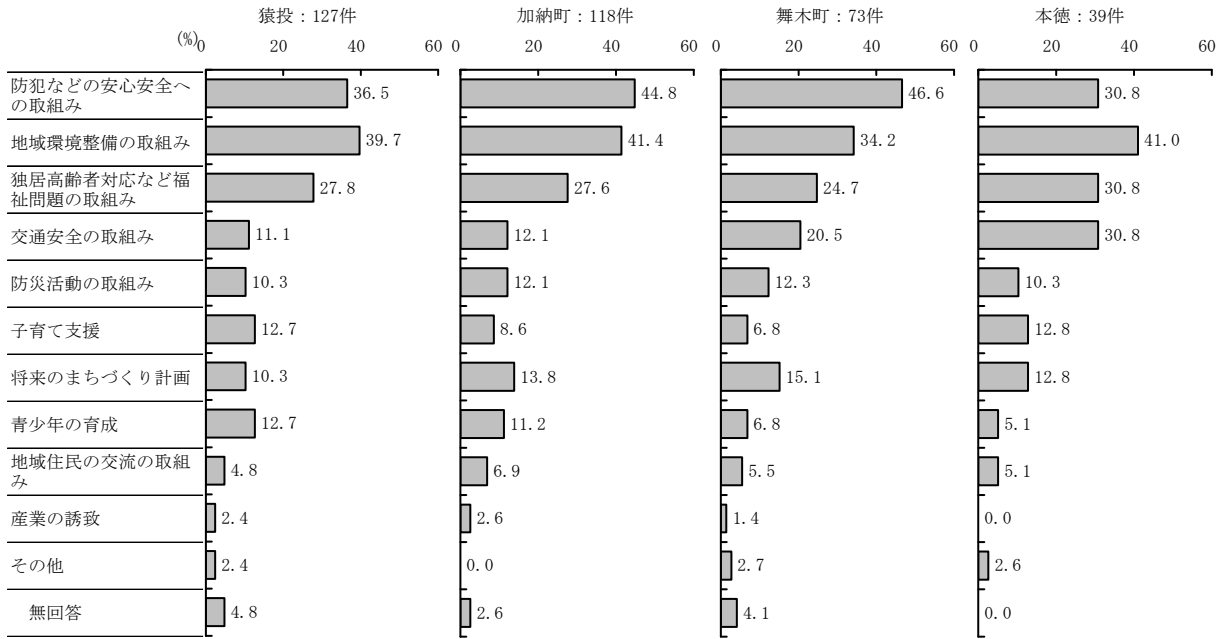
※「役割やメンバーまでだいたい知っている」「組織が設置されたことは知っているが、内容はあまり知らない」の計

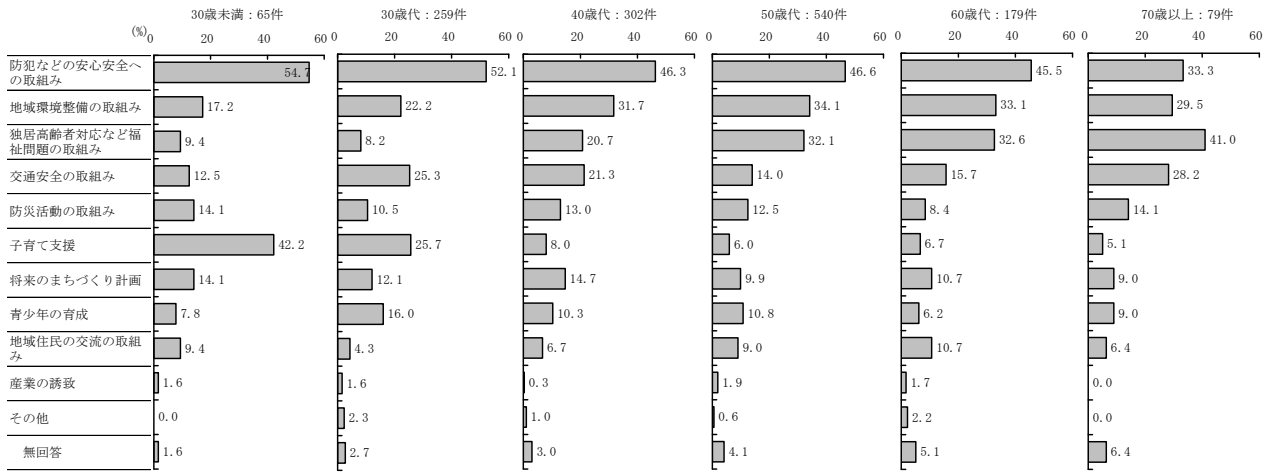
### 3-2 地域の問題点やまちづくりへの取り組み

問6 猿投地域会議は、地域の問題点やまちづくりについて検討していますが、あなたは具体的にどのような取組みを期待しますか。 (〇は2つまで)



- 地域の問題点やまちづくりへの取り組みについてたずねたところ、「防犯などの安心安全への取組み」が 47.1%と最も多く、次いで「地域環境整備の取組み」が 30.3%、「独居高齢者対応など福祉問題の取組み」が 24.8%、「交通安全の取組み」が 18.5%と続いている。

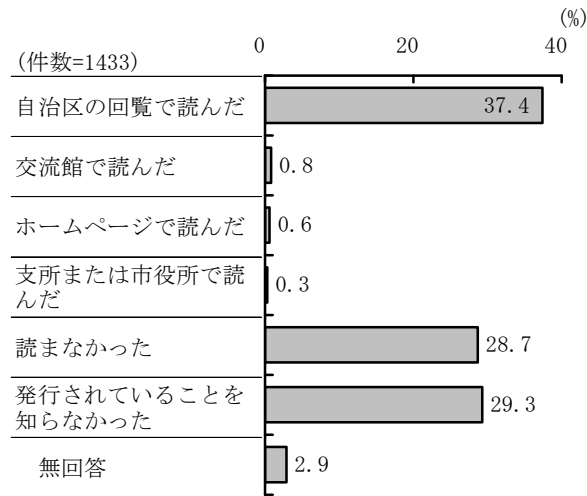




### 3-3 猿投地域会議だよりの認知度

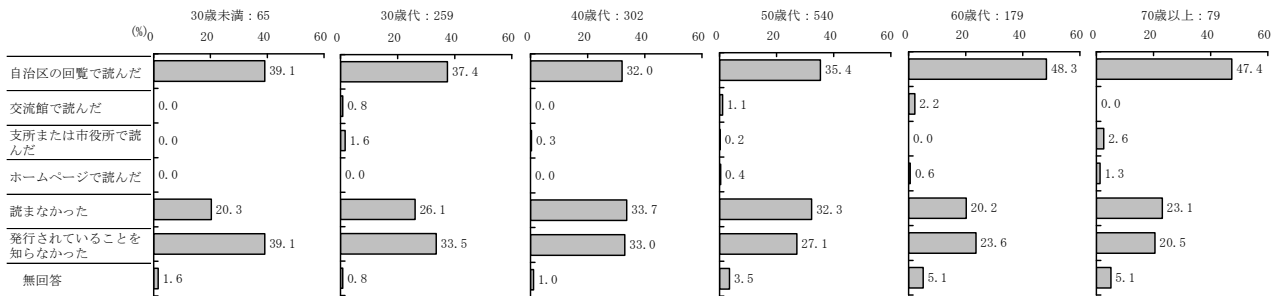
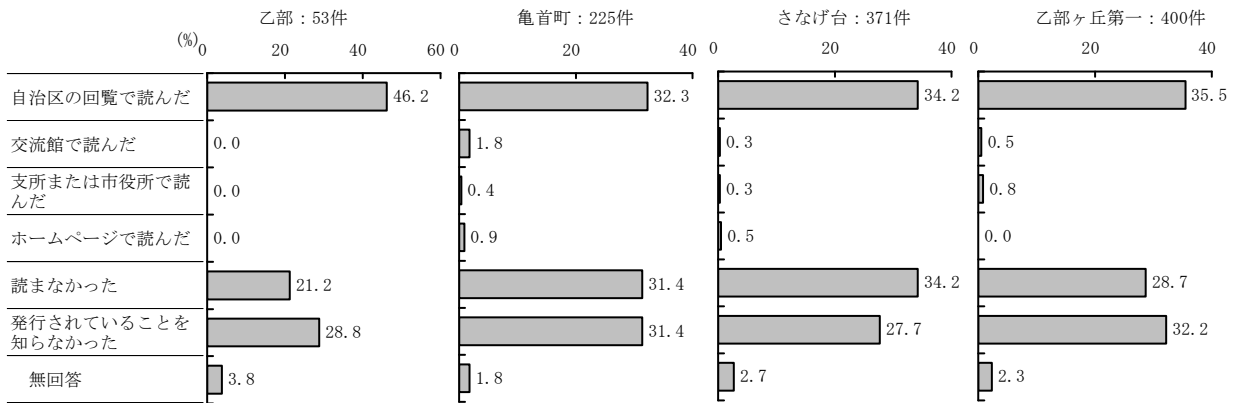
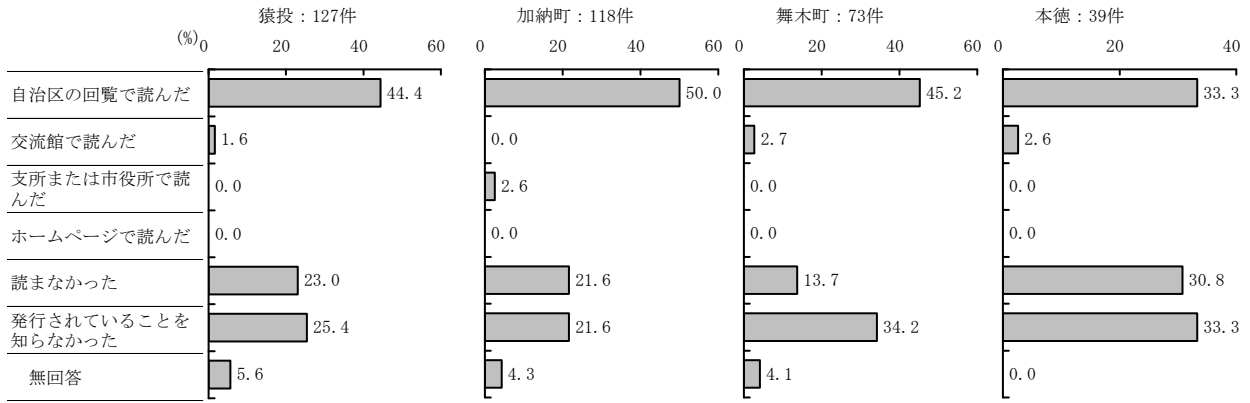
問7 あなたは、猿投地域会議だよりをご覧になりましたか。

(○は1つだけ)



- 『猿投地域会議だよりの認知度※』は、67.8%で、うち、「自治区の回覧で読んだ」が37.4%と最も多くなっており、認知度は比較的高いことがうかがえる。一方、「発行されていることを知らなかった」は29.3%と、3人に1人は知らなかったと答えています。

※ 「発行されていることを知らなかった」、「無回答」以外の計



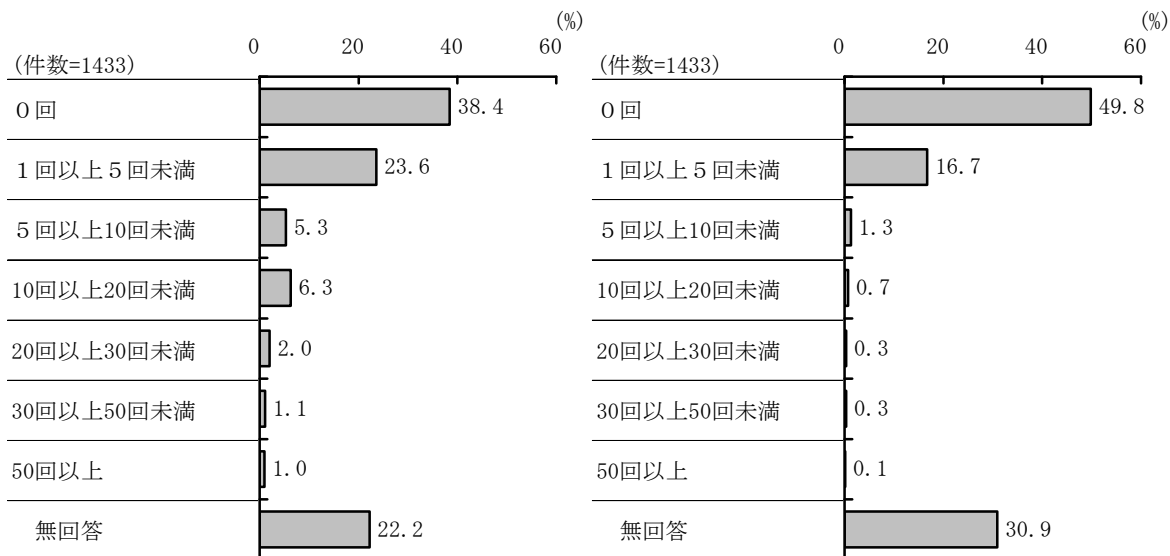
## 4 公共施設利用状況について

### 4-1 猿投地域の公共施設の利用頻度

問8 あなたは、この1年間に猿投地域の公共施設（猿投北交流館及び棒の手ふれあい広場）をどのくらい利用しましたか。

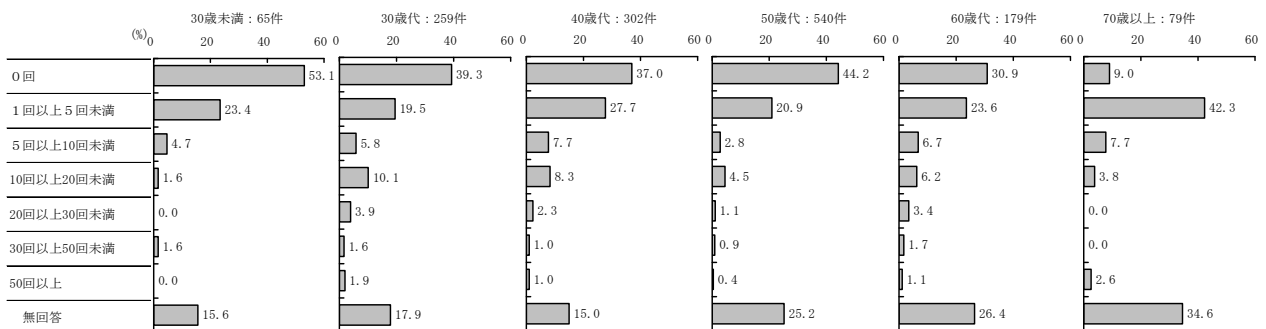
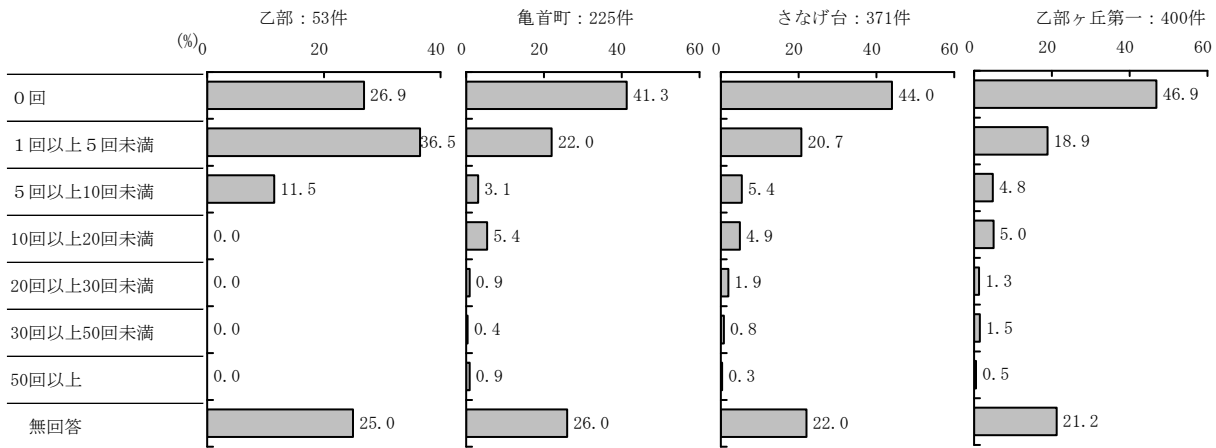
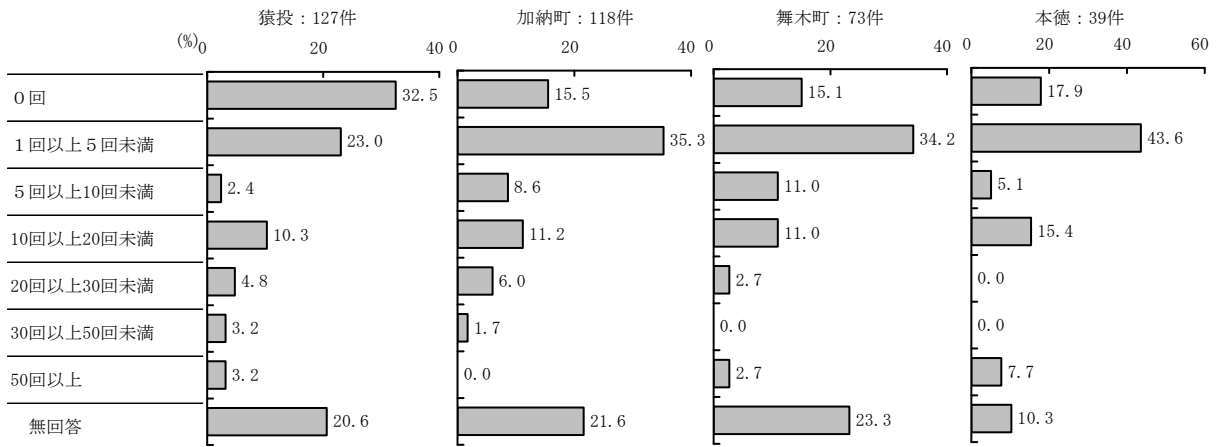
【猿投北交流館】

【棒の手ふれあい広場】

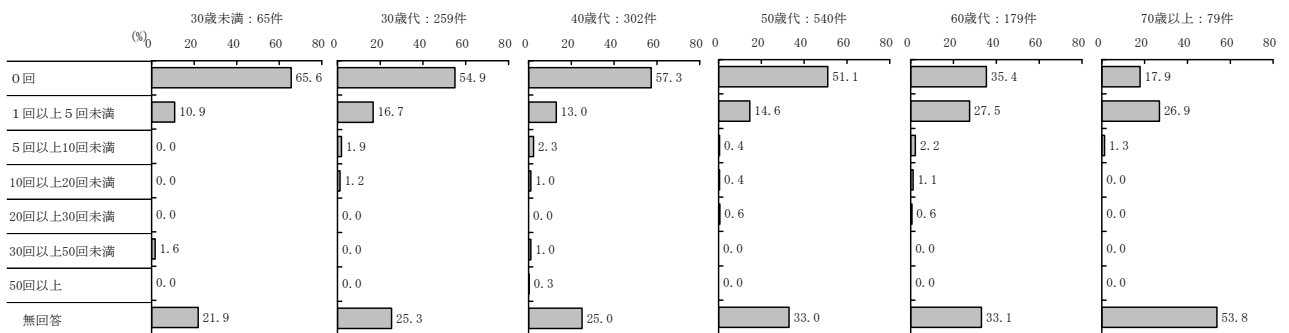
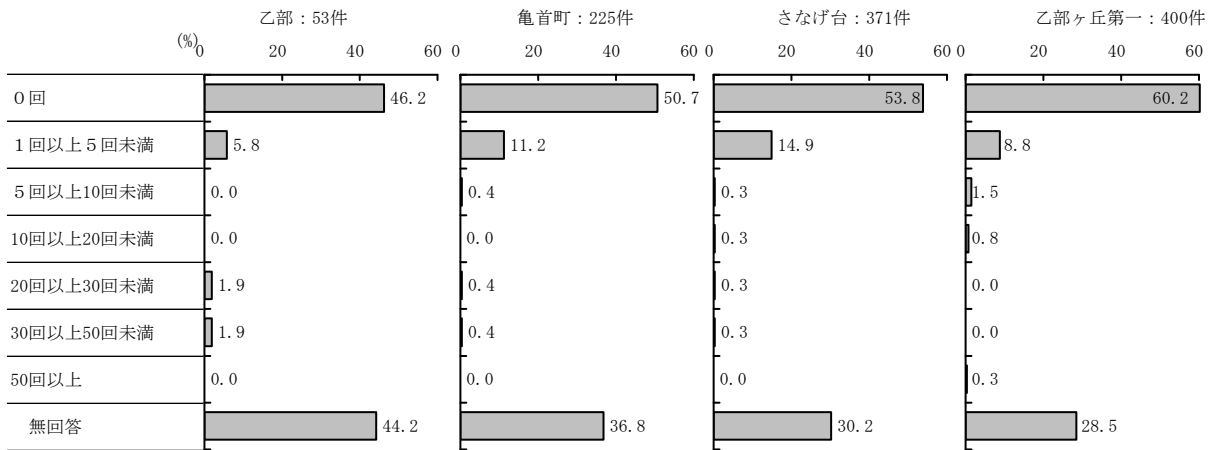
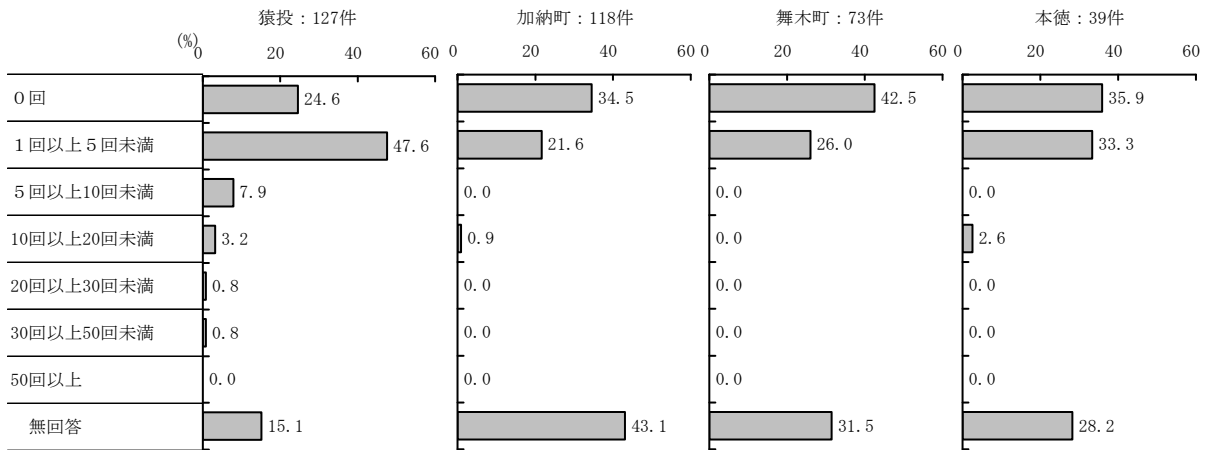


- 公共施設の利用頻度をたずねたところ、【猿投北交流館】では、「0回」が38.4%と最も多く、次いで「1回以上5回未満」が23.6%と続いています。【棒の手ふれあい広場】でも、「0回」が49.8%と最も多く、次いで「1回以上5回未満」が16.7%と続いています。

# 【猿投北交流館】



# 【棒の手ふれあい広場】



## 5 猿投地域のまちづくりについて

### 5-1 猿投地域のまちづくりについての意見

猿投地域のまちづくりに関して、ご意見がありましたらお書きください。

- 地域のまちづくりについてたずねたところ、346 件の意見が得られました。以下に主な意見を掲載します。

環境について
・ 魚、蛍、子供の水遊びができるきれいな川にしてほしい
・ 豊かな自然と温かい交流、若い人達が育つよう
・ 四季折々の自然環境は素晴らしいので利用して町おこしを皆で取り組めるよう意識すればもっと変わってくると思います  など

行事について
・ 伝統行事を大切にしていきたい
・ 地元の人と県外から来た人との間で行事があるといいと思う
・ 地域ごとに各種の行事が継続して行われている  など

交通・道路について
・ 通勤車が多いわりに道路がないので危険
・ 高齢者、学生のために公共交通機関をなんとかしてほしい
・ 通学路のことを先に考えて、交通量の多い所の道路整備をすぐしてほしい
・ 学校への通学手段で困っています。公共交通機関の充実を望む
・ 歩行者のために早くガードレールを取り付けてほしい  など

高齢化問題について
・ 年寄りに優しい地域づくりに取り組んでほしい
・ 病院、福祉対策、バス等の公共交通機関を充実させること
・ 高齢者が楽しく過ごせる町にしてほしい
・ 高齢者でも社会参加できるように、公共交通機関の整備をしてほしい
・ 身近な所で高齢者を介護してくれるシステムを望む  など

地域振興・地場産業について	
・地域会議が今後どのような役割を示すか地域住民に示す必要がある	
・高齢者と子供が元気な地域にするため、交流の場を整備、提供していくことが必要	
・伝統ある猿投と新しい乙部ヶ丘という街を調和させることが課題	
・産業と自然を調和させて設計してほしい（地場産業）	
・団地の人達と地元の人達の交流場所と文化の伝達	
・文化や歴史を尊重しつつ、地域の発展を期待したい	など

都市計画について	
・公共交通機関を充実してほしい、バスの本数も少ない	
・農業と産業、自然のバランスを取り豊かな里づくりができればいいと思う	
・猿投山、桃畑を活用して散策道や交流場を作してほしい	など

防犯・防災について	
・子供の防犯を強化してほしい	
・高齢者が安心して暮らせるよう、防犯のために街灯を増やしてほしい	
・防犯対策をしっかりと、災害に強い町づくりを期待します	など

## 資料編

平成 20 年度調査 アンケート用紙



**◆あなた自身(回答者)のことについてお聞きします。**

問1 あなたの性別は	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 男性</li> <li>2. 女性</li> </ul>
問2 あなたの年齢は	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 29歳以下</li> <li>2. 30歳代</li> <li>3. 40歳代</li> <li>4. 50歳代</li> <li>5. 60歳代</li> <li>6. 70歳以上</li> </ul>
問3 あなたのお住まいの自治区はどこですか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 猿投</li> <li>2. 加納町</li> <li>3. 舞木町</li> <li>4. 本徳</li> <li>5. 乙部</li> <li>6. 亀首町</li> <li>7. さなげ台</li> <li>8. 乙部ヶ丘第1</li> </ul>
問4 猿投地域に住んで何年になりますか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 5年未満</li> <li>2. 5年以上～10年未満</li> <li>3. 10年以上～20年未満</li> <li>4. 20年以上～30年未満</li> <li>5. 30年以上</li> </ul>
問5 あなたの家族構成は	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 一人暮らし</li> <li>2. 夫婦のみ</li> <li>3. 親子（2世代）</li> <li>4. 親・子・孫（3世代）</li> <li>5. その他（具体的に_____）</li> </ul>
問6 あなたの職業は	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 勤め人（フルタイム）</li> <li>2. 自営業・家族従業</li> <li>3. パート・アルバイト</li> <li>4. 家事専従</li> <li>5. 学生</li> <li>6. 無職</li> <li>7. その他（具体的に_____）</li> </ul>
問7 あなたの地域の役職は （重複されている場合は2つ〇を）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 自治区の組長</li> <li>2. 自治区の組長以外の役員（区長、評議員等）</li> <li>3. 地域会議委員</li> <li>4. その他</li> </ul>

**◆猿投地域のまちづくり全般についてお聞きします。**

問8 あなたは、猿投地域会議についてどの程度知っていますか。(○は1つだけ)

1. 役割やメンバーなどだいたい知っている
2. 聞いたことはあるが、団体、内容はあまり知らない
3. まったく知らない
4. その他(具体的に\_\_\_\_\_)

問9 あなたは、「わくわく事業(地域づくり補助事業)」についてどの程度知っていますか。(○は1つだけ)

1. 具体的な団体や活動内容など知っている
2. 聞いたことはあるが、内容はあまり知らない
3. まったく知らない
4. その他(具体的に\_\_\_\_\_)

問10 あなたは、総合的にみて、猿投地域は住みやすい地域だと思いますか。(○は1つだけ)

1. とても住みやすい
2. どちらかという住みやすい
3. 住みやすいとも住みにくいとも言えない
4. どちらかという住みにくい
5. とても住みにくい
6. まったく判断できない(わからない)

問10-1 「住みやすい」または「住みにくい」と思う理由について、具体的にお書きください。

**◆「猿投地域観光交流振興マップ」についてお聞きします。**

問11 猿投地域会議の提言により、今年度猿投の名所、旧跡など地域資源を盛り込んだ観光交流振興マップを作成します。マップの活用方法に何を期待しますか。(○は1つだけ)

1. 地場産業、地域振興の基盤となることを期待する
2. 自然環境保全活動に役立つことを期待する
3. 伝統文化、芸術の継承に役立つことに期待する
4. 不測の事態に備えた医療機関マップが掲載されることを期待する
5. 地域外の方に地域の行事等を紹介する役割を期待する
6. その他(具体的に\_\_\_\_\_)

**◆「バス利用」についてお聞きします。**

問12 猿投地域では、とよたおいでんバスが運行しています。あなたは、「とよたおいでんバス」をどの程度知っていますか。(あてはまるもの全てに○を)

- 1. 私は、よく利用している
- 2. 私は、利用したことがある
- 3. 家族は、利用している
- 4. 家族は、利用したことがある
- 5. 利用したことはないが、路線や運行日などだいたい知っている
- 6. 聞いたことはあるが、路線等内容はあまり知らない
- 7. まったく知らない

問13 猿投地域における将来のバス運行についてどのように思いますか。(○は1つだけ)

- 1. 現状のままでよい
- 2. おいでんバスは縮小してもよい(その理由: \_\_\_\_\_)
- 3. おいでんバスの路線の拡大やバス運行の充実を希望する
- 4. その他(具体的に \_\_\_\_\_)

問14 猿投地域を運行するバスの利用を高めるために、どんな取組みが最も有効だと思いますか。(○は1つだけ)

- 1. 通勤・通学時間帯の運行本数を増やす
- 2. 地域がバスを使った行事を企画する
- 3. 利用の多い時間帯は、定員オーバーにならないような乗車人員のバスにする
- 4. 最終バスの運行時間を遅くまで延ばす( \_\_\_\_\_ 時ころまで)
- 5. バス停を、雨よけ・椅子付きのバス停に整備する
- 6. バス停の位置を民家の密度等と照らし合わせ、利用しやすい位置にあらためる
- 7. 1日利用パスカード、休日割引など利用者にとって便利な仕組みを考える
- 8. その他(具体的に \_\_\_\_\_)

**◆地域の防犯・防災についてお聞きします。**

問15 あなたの住む自治区は、犯罪に対して安全なまちだと思いますか。(○は1つだけ)

- 1. 特に不安もなく、安全なまちだと思う ..... 問16へ
- 2. 時々、犯罪に対して不安を感じる ..... 問15-1へ
- 3. 毎日、とても不安である ..... 問15-1へ
- 4. その他(具体的に \_\_\_\_\_) ..... 問16へ

問15-1 「2・時々、犯罪に対して不安を感じる」「3. 毎日、とても不安である」と回答された方にお聞きします。

あなたは、どんなことに不安を感じていますか。具体的にお書きください。

問16 犯罪を未然に防ぐために、あなたの住む自治区でどのような活動が必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 夜間防犯パトロールを頻繁に行う
2. 見慣れない不審な人や車に注意する
3. 小学生などの登下校時の見守り活動を行う
4. 各家庭の門灯をつけて、夜道を明るくする
5. 近所つきあいを密にし、声掛け運動を行う
6. 被害を防ぐ勉強会、身を守る講習会などを行う
7. 防犯灯を増やし、夜道を明るくする
8. その他(具体的に\_\_\_\_\_)

問17 あなたの家庭は地震等の自然災害が起きたときに、どこに避難すればよいか知っていますか。  
(○は1つだけ)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問18 近い将来、大規模な地震の発生が予想されていますが、あなたの家庭では、地震に備えてどのような準備をされていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族で避難する場所、連絡方法の確認を行っている
2. 自治区の防災訓練などに参加している
3. 懐中電灯やラジオ、非常持ち出し袋を用意している
4. 家具類の固定や転倒防止器具を取り付けている
5. 家屋の耐震工事を行った(計画している)
6. 耐震構造の家を新築(マンション購入)または転居した(予定している)
7. その他(具体的に\_\_\_\_\_)
8. 特に何もしていない

### ◆地域のふれあい活動や福祉関係についてお聞きします。

問19 あなたのお宅では、ご近所のおつきあいをどの程度していますか。(○は1つだけ)

1. 日頃から何でも相談し合うなど積極的にしている
2. 時々、必要なときに話し合っている
3. たまに、立ち話をする程度である
4. 会えば、あいさつをする程度である
5. 近所つきあいはしていない(誰が住んでいるか知らない)
6. その他(具体的に\_\_\_\_\_)

問 20 あなたは、地域の福祉で特に何が重要だと思えますか。(主なもの3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 地域住民がお互いに助け合える仕組みづくりをすること<br>2. 市民の健康づくり活動などに支援すること<br>3. ボランティアやNPOなど市民の自主活動を育成すること<br>4. 福祉に関する体験学習の機会が提供されること<br>5. 身近な福祉サービスに関する情報<br>6. 気軽に相談できる地域相談窓口の設置<br>7. 地域で支援される人、支援する人をつなぐ情報提供<br>8. 地域で集まり福祉活動ができる場所<br>9. その他(具体的に_____)<br>10. 特に何もしなくても、今のままで十分 |
|--|

**◆環境美化、ごみ問題についてお聞きします。**

問 21 あなたの住む自治区は、きれいだと思いますか。(○は1つだけ)

- |   |
|---|
| 1. 常に清掃され、たいへんきれいだと思う<br>2. どちらかという、きれいだと思う<br>3. ごみの散乱が見られ、あまりきれいとは思わない<br>4. ごみが方々で散乱し、たいへん汚い<br>5. その他(具体的に_____ ) |
|---|

問 22 あなたの家庭では、ごみについてどのような取り組みをしていますか。次のア～オについて項目ごとにお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	常に実施している	いる ときどき実施して	今後は実施したい	ない 実施するつもりは	わからぬ 実施していない
ア むだな買物をしない、再利用できるものはするなどごみを減らしている	1	2	3	4	5
イ プラスチック製容器包装、資源、燃やすごみ、金属ごみ、埋めるごみなどに分別方法を理解して出している	1	2	3	4	5
ウ ごみ収集の指定された曜日、時間を守っている	1	2	3	4	5
エ ごみ収集の場所をきちんと守っている	1	2	3	4	5
オ 買い物の際、買物袋等を持参している	1	2	3	4	5

問 23 あなたは、ごみ問題に対して、どのような取り組みが必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

1. 子どもから大人まで多くの方がごみ問題を学習できるような機会を増やす
2. ごみの減量に関する情報提供を行う
3. 買い物袋の持参運動を今以上に盛り上げる
4. 資源のリサイクルやゴミの減量化をさらに進める
5. ごみの収集日には、住民が交替で監視する
6. 新聞紙等は集団回収に出す
7. リサイクルステーションを増やす
8. 不法投棄に対する監視、取締りをさらに進める
9. ごみを出さない（商品包装を簡略化、紙の使用を極力減らすなど）取り組みを推進する
10. その他（具体的に\_\_\_\_\_）

### ◆「自然豊かなまち」の維持についてお聞きします。

問 24 あなたは、この地域の豊かな自然を維持するために、何が必要と考えますか。(〇は1つだけ)

1. 幹線道路の整備以外は、現状の道路の維持の範囲とする
2. 農業振興区域、市街化調整区域の開発を抑制する
3. 緑地の維持に努め、樹木を伐採したら、その分植樹する
4. 猿投地域として、緑化推進運動（花いっぱい運動、樹木植栽運動）を展開する
5. 自転車専用道路を整備するなど、自然保全に結びつく取り組みを推進する
6. 荒れた山の手入れ、間伐などの里山整備を推進する
7. その他（具体的に\_\_\_\_\_）

### ◆高齢者にやさしいまちづくりについてお聞きします。

問 25 あなたの住む自治区は、高齢者にやさしいまちだと思いますか。(〇は1つだけ)

1. とても、やさしいまちだと思う
2. どちらかという、やさしいまちだと思う
3. どちらとも言えない
4. どちらかという、やさしくないまちだと思う
5. とても、やさしくないまちだと思う
6. わからない

問 26 「やさしい」または「やさしくない」と思う理由について、具体的にお書きください。

問 27 高齢者が安心して暮らしていくためには、猿投地域でどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 高齢者のための憩いの場（たまり場）を増やす
2. 高齢者が、気軽に参加し交流ができるような行事等を増やす
3. 老人クラブや高齢者大学などの生きがいづくりを充実する
4. 高齢者の健康づくりや介護予防の取り組みを充実する
5. 一人暮らしや夫婦のみの高齢者を地域で見守る体制を充実する
6. 老人介護を支援する活動を充実する
7. 高齢者が必要な情報（施設や支援制度など）をまとめた冊子を作成し、配布する
8. 高齢者の悩みや困りごとを、気軽に相談できる地域体制（人）を充実する
9. 地震、火災などの災害時に、安否確認や救援してくれる体制（人）を充実する
10. 公共施設や病院などに移動するための公共交通を充実する
11. 高齢者が、集まって暮らせるグループホームを設置する
12. 高齢者の知識等を活用した大正・昭和の料理・遊び等のイベントを企画する
13. その他（具体的に\_\_\_\_\_）

**◆最後に、猿投地域のまちづくりに関して、ご意見がありましたらお書きください。**

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。



## 資料編

平成 18 年度調査 アンケート用紙



# 猿投地域のまちづくりを考えるアンケート調査

**あなたのご意見聞かせてください。**

猿投地域の皆様には、日ごろから自治区活動をはじめ地域の諸活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

2006年4月に発足した猿投地域会議は、地域会議の役割の一つである地域の問題点やまちづくりについて話し合い、地域でできることは何か、住民参加のもとにどのように解決するかを検討し、住みよいまちづくりについて考えています。

区長会は、住民自治の振興のため、「地域文化・生活文化づくり」を進め、「潤いと安らぎのある地域社会づくり」を考えています。

私たちは、安心して幸せな地域づくりのために、この地域の課題・問題及び住民が望む将来像などを把握するため、アンケート調査を実施することにしました。

何かとお忙しいとは思いますが、趣旨をご理解いただき、ぜひアンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

猿投地域会議 会長 森 當

猿投地区区長会 会長 山田 静男

## 回答にあたってのご注意

- 1 このアンケートは、ご家族の中でどなたが記入されても結構です。
- 2 回答は、あてはまる番号を選んで○印で囲むか、具体的に記述してください。
- 3 記入されたアンケート用紙は、無記名のままで結構ですので、回収封筒に入れて、区長さんまたは組長さんが指定した日までに区長さん（組長さんが回収する場合は組長さん）または、下記担当にお渡しください。（FAX可）
- 4 このアンケートについてのお問合せは、下記にお願いします。

豊田市猿投支所地域振興担当内 猿投地域会議事務局(電話45-1211)

(FAX45-4824)

## 猿投地域の印象についておたずねします。

問1 猿投地域の「誇り」と思うことは何ですか  
(具体的な事柄、名称、場所等)

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

問2 あなたは、この地域の10年後の将来像としてどのようなまちを望みますか(どのようなまちで暮らしたいと思いませんか。)  
(〇は3つまで)

1. 自然が豊かなまち
2. 活力のある産業のまち
3. 文化的な雰囲気のあるまち
4. ふれあいや交流が活発なまち
5. 生涯学習活動やスポーツ活動の盛んなまち
6. 子供たちが健やかに成長できるまち
7. 保健、医療、福祉の充実したまち
8. 環境問題に積極的に取り組むまち
9. 交通の便の良いまち
10. 災害などに強い安全なまち
11. 治安の良いまち
12. その他(具体的なご意見があれば下記へ)

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

問3 あなたは、この地域の課題・問題点はどんな事だと思いませんか。(〇は3つまで)

1. 病院、診療所等の医療機関の不足
2. 高齢者の生きがい、交流の場がない
3. 高齢者、障害者、母子家庭等の福祉対策の不足
4. 地震や風水害に対する取り組み
5. 防犯に対する取り組み
6. 子育てを支援する取り組み
7. 農地を保全する取り組み
8. 自然環境を保全する取り組み
9. 渋滞の解消等道路交通をスムーズにするための取り組み
10. 通学路の安全確保等の交通安全に関する取り組み
11. バス等の公共交通機関を充実すること
12. 広場、公園などの施設を整備すること
13. 鳥獣(イノシシ、熊、カラス等)被害を減らすための取り組み
14. その他( )

この地域の課題・問題点として選んだ番号と理由  
( )内に上記番号を記入し、具体的に気付いた事柄、場所等を記入してください。

( ) .....  
.....  
.....  
( ) .....  
.....  
.....  
( ) .....  
.....  
.....

次ページへ

問4 あなたは、地域の活動に参加するとしたら、どんな分野に参加したいですか。

(○は2つまで)

1. 子ども、青少年の健全育成活動
2. 福祉活動
3. ゴミ、リサイクルなどの環境活動
4. 防犯活動
5. 交通安全活動
6. 自然環境保全活動
7. ふれあい活動（世代間の交流活動、住民同士の交流活動）
8. スポーツ、健康づくり推進活動
9. 文化、芸術及び芸能活動
10. その他(具体的な分野をご記入ください)  
.....  
.....
11. 地域の活動に参加したくない。

**猿投地域会議についておたずねします。**

問5 あなたは、平成18年4月に発足した地域会議についてどの程度ご存知ですか。

1. 役割やメンバーまでだいたい知っている。
2. 組織が設置されたことは知っているが、内容はあまり知らない。
3. まったく知らなかった。

問6 猿投地域会議は、地域の問題点やまちづくりについて検討していますが、あなたは具体的にどのような取組みを期待しますか。  
(○は2つまで)

1. 防災活動の取組み
2. 防犯などの安心安全への取組み
3. 交通安全の取組み
4. 地域環境整備の取組み
5. 独居高齢者対応など福祉問題の取組み
6. 青少年の育成
7. 子育て支援

8. 将来のまちづくり計画
9. 地域住民の交流の取組み
10. 産業の誘致
11. その他(具体的に)  
.....  
.....

問7 あなたは、猿投地域会議だよりをご覧になりましたか。

1. 自治区の回覧で読んだ。
2. 交流館で読んだ。
3. 支所または市役所で読んだ。
4. ホームページで読んだ。
5. 読まなかった。
6. 発行されていることを知らなかった。

**猿投地域の公共施設利用状況についておたずねします。**

問8 あなたは、この1年間に猿投地域の公共施設（猿投北交流館及び棒の手ふれあい広場）をどのくらい利用しましたか。

※ 図書返却、交流館ふれあいまつり等の催し物参加も利用に含めます。

1. 猿投北交流館 (年 回)
2. 棒の手ふれあい広場 (年 回)

**あなた自身(回答者)におたずねします。**

問9 あなたの性別は

1. 男
2. 女

問10 あなたの年齢は（記入時現在の満年齢）

1. 30歳未満
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳代
6. 70歳以上

次ページへ

問11 あなたのお住まいの自治区はどこですか。

- |        |           |
|--------|-----------|
| 1. 猿投  | 5. 乙部     |
| 2. 加納町 | 6. 亀首町    |
| 3. 舞木町 | 7. さなげ台   |
| 4. 本徳  | 8. 乙部ヶ丘第一 |

問12 あなたの職業は

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 農業            | 5. 専業主婦(夫) |
| 2. 会社員、公務員等の勤めの人 | 6. 学生      |
| 3. 自営業(経営者を含む)   | 7. 無職      |
| 4. パートタイマー・アルバイト | 8. その他( )  |

問13 あなたは、この地域にお住まいになって何年(通算)になりますか。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 5年未満  | 4. 30年未満 |
| 2. 10年未満 | 5. 40年未満 |
| 3. 20年未満 | 6. 40年以上 |

最後に、今後の猿投地域のまちづくりに関するご意見がありましたらお書きください。

----- ----- ----- -----
----------------------------------

ご協力いただきありがとうございました。

回答は回収封筒に入れて、自治区長(組長さんが回収する場合は組長さん)または猿投支所地域振興担当に提出してください。

## アンケート実施要項

### 1 実施時期

#### ●配布日

平成19年1月以降（各自治区の実情に応じて、区長の定める日に配布）

#### ●最終回収日

平成19年3月31日（各自治区の実情に応じて、区長の定める日に回収）

### 2 配布先

各自治区の全住民

### 3 配布方法

自治区の実情に応じて、区長の指定する方法で配布

### 4 回収方法

(1) 自治区の実情に応じて、区長の指定する方法で回収

（このとき、原則として封筒に入れて提出するものとする。）

(2) 猿投支所に FAX、郵送または直接手渡しにて提出することも可とする。